四 日 市 市 の 上 下 水 道
（令和７年度事業概要）

四日市市上下水道局

市制施行　明治３０年８月１日

（全国で４５番目の市として誕生）

市の木	：	クスノキ	昭和４７（１９７２）年３月選定
市の花	：	サルビア	昭和４７（１９７２）年３月選定
市の鳥	：	ユリカモメ	平成１７（２００５）年２月選定

四日市市民憲章

昭和５７（１９８２）年８月１日制定

私たちの四日市は、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望むすばらしい自然に恵まれ、古くから「市」が開かれたまちとして、また、東海道の宿場として栄えてきました。この自然と歴史のうえに近代産業が開花し、世界に広がる港とともに、明日に向かって躍進する都市です。

私たちは、四日市市民であることに誇りと責任を持ち、豊かな未来と住みよい郷土を築くため、次のことを誓います。

１．自然を愛し緑と水のきれいなまちをつくります。

１．やさしい心のかよい合う温かいまちをつくります。

１．きまりを守り楽しく明るいまちをつくります。

１．伝統を生かし文化の香りたかいまちをつくります。

１．産業を育て活気あふれるまちをつくります。

○交通安全都市宣言	昭和３７（１９６２）年　３月１２日
○暴力追放都市宣言	昭和５８（１９８３）年１２月２１日
○非核平和都市宣言	昭和６０（１９８５）年　３月２５日
○人権尊重都市宣言	平成　４（１９９２）年１２月２２日
○快適環境都市宣言	平成　７（１９９５）年　９月２６日
○男女共同参画都市宣言	平成１５（２００３）年１２月１９日

四日市市の概要

四日市市は三重県の北東部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域で、行政面積約２０６㎢、人口約３１万人の三重県最大の都市であります。

また、古くから「四日の市」に象徴される商業の町として、あるいは東海道五十三次の４３番目の宿場町として繁栄し、陸海交通の要衝でもありました。明治時代に入ると先覚者の偉業によって港の修築が行われ、伊勢湾で最初の開港場として、国内貿易はもとより海外への門戸が開かれました。

そして、萬古焼（窯業)、菜種油等の地場産業のほか、紡績、ガラス、化学、電気等の近代産業が次々に立地し、市勢は大きく発展しました。特に昭和３０年代には旧海軍燃料廠跡地の活用を契機に、わが国最初の石油化学コンビナートが形成され、先人達の英知とたゆまない努力により、中部圏を代表する産業都市へと着実に成長してきました。

また、この発展の過程で発生した大気汚染などの公害問題も、官民一体となった懸命の努力により、昭和５１年には硫黄酸化物の環境基準を達成するなど着実に改善されてきました。

自然環境については、天然記念物に指定されているイヌナシ、アイナシをはじめ、多様な相がみられるなど豊かな自然に恵まれています。本市では、平成９年８月１日に市制１００周年を、また平成１１年８月４日に四日市港の開港１００周年を経て、新しい時代に対応すべく「人と文化と自然を育む活気あふれる港まち四日市」を目標の都市像として、新たな１００年の歩みを始めました。

◎ **四日市市の姿**（令和７年度末）

(1)面積　　２０６．５０ ㎢

(2)人口　　３０４，７３６ 人

世帯数　１４７，８１７ 世帯

２．０６ 人／世帯

(3)市の財政規模（令和６年度末）

一般会計・特別会計・財産区を合わせた

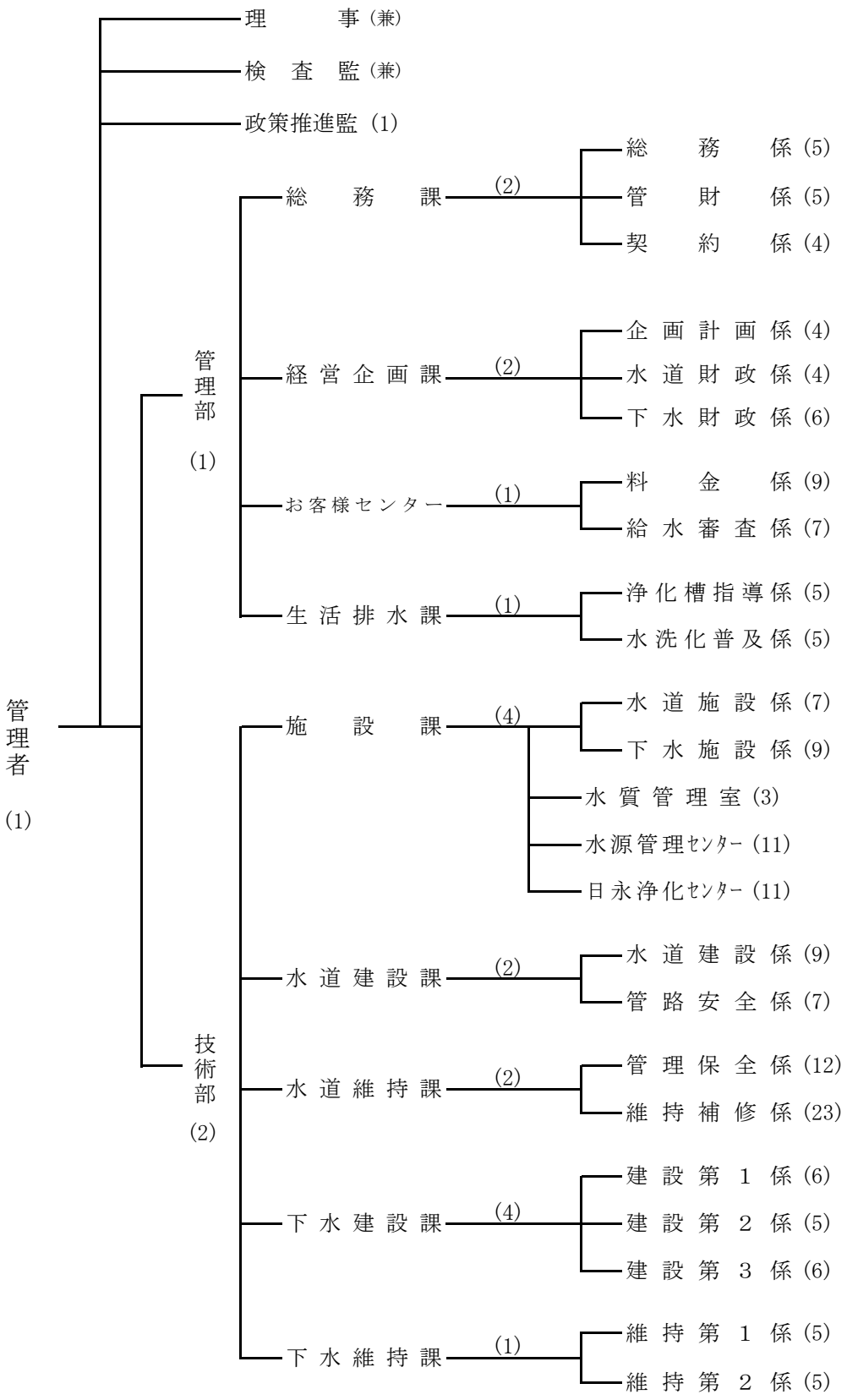
決算総額　歳入　　２，３６８億円

歳出　　２，２８５億円



上 下 水 道 局 機 構 図

令和８年４月１日現在（ ）は人数



管理者1人、政策推進監1人、管理部62人、技術部133人、　合計197人

上 下 水 道 局 事 務 分 掌 概 要

令和７年度

部	課	係	事務分掌概要
管理部	総務課	総務係	◎例規の制定改廃・告示、公印管守、文書管理、人事・給与、福利厚生・労働安全衛生、広報広聴、職員研修、災害対策等
		管財係	◎財産の取得・管理・処分・使用許可、水路の使用許可・加工許可、不動産登記、庁舎管理
		契約係	◎入札・契約・調達、公用車管理等
	経営企画課	企画計画係	◎経営計画・企画、統計調査、計画決定及び認可申請、都市下水路の指定、総合治水対策事業計画、水道水源保護施策等
		水道財政係	◎水道事業に係る財政計画・資金計画・予算・決算・出納・企業債・業務状況及び事業統計等
		下水財政係	◎下水道事業・農業集落排水事業に係る財政計画・資金計画・予算・決算・出納・企業債・業務状況及び事業統計等
	お客様センター	料金係	◎水道料金・下水道使用料等の賦課・調定・収納・還付・滞納・欠損処分、水道使用の開始・中止、量水器の点検、水道使用の計量、水道料金の滞納・給水停止、水道料金・下水道使用料の減免等
		給水審査係	◎給水装置事業者の指定、給水装置工事の審査・監督・検査、貯水槽水道施設の調査指導、開発区域内給水計画等
	生活排水課	浄化槽指導係	◎浄化槽の設置・指導（保守点検・清掃・法定検査）、浄化槽保守点検業者の登録・指導、合併浄化槽の助成・普及促進等
		水洗化普及係	◎水洗化の普及促進、排水設備の設置・指導（設計・工事施行）、排水設備工事業者の指定、下水道事業受益者負担金・コミニティ・プラント事業費分担金の賦課・調定等
技術部	施設課	水道施設係	◎水道施設の修繕・建設改良・新設に係る電気機械設備工事の設計施行等
		下水施設係	◎浄化センター・ポンプ場等の修繕・建設改良・新設に係る電気機械設備工事の設計施行、浄化センター・ポンプ場の運転管理・維持修繕等
		水質管理室	◎水質検査・管理、検査用薬品管理、水質検査依頼等
		水源管理センター	◎水源施設の運転・維持管理、修繕工事の設計施行、薬品・油脂の管理保管等
		日永浄化センター	◎浄化センター・ポンプ場の作業計画・運転管理・水質・電気機械設備工事の設計施行・汚水処理作業・維持修繕等
	水道建設課	水道建設係	◎水道施設の建設改良・新設に係る土木工事等の設計施行、工事積算基準、開発区域内配水計画等
		管路安全係	◎管路等の整備計画、水道施設の建設改良・新設に係る土木工事等の設計施行、鉛給水管解消事業等
	水道維持課	管理保全係	◎配水細管に係る建設改良更新工事・修繕維持管理に係る工事・受託関連配水細管改良工事・道路等関連移設工事の設計施行、洗管作業計画、水道工事用資材・関連工法の調査研究、消火栓等
		維持補修係	◎水道管の維持管理・修繕、漏水防止調査、修繕受付、道路等関連給水管移設工事、水道管現場立会い、残留塩素・水圧測定等
	下水建設課	建設 第1係・第2係・第3係	◎公共下水道・都市下水路等の建設改良に係る土木工事等の設計施行等
	下水維持課	維持 第１係・第２係	◎公共下水道、市街化区域内の排水路、農業集落排水施設管路の維持管理、下水道台帳等

目　　次

水　道　事　業 …… 1

はじめに …… 3

第１章　事業の沿革 …… 5
１．沿革 …… 6
２．水道のあゆみ年表 …… １３
３．創設事業拡張事業及び計画の内容 …… １８
４．水道事業の推移状況 …… １９

第２章　業務統計 …… ２１
１．水道料金表 …… ２２
２．配水量分析表 …… ２３
３．配水量有収水量及び有収率の推移 …… ２４
４．配水量及び有収水量の月別状況図 …… ２５
５．原水の構成割合 …… ２６
６．原水構成の推移 …… ２６
７．系統別配水量の構成割合 …… ２７
８．系統別配水量構成の推移 …… ２７
９．県営水道受水内訳 …… ２８
10．用途別有収水量 …… ２９
11．用途別給水収益 …… ３０
12．地区別の戸数人口有収水量 …… ３１
13．用途口径別の給水戸数栓数 …… ３２
14．導送配水管布設延長 …… ３３
15．水質検査実施数 …… ３４
16．給水栓(各配水区域の代表地点)の水質検査結果 …… ３５

第３章　財務 …… ３９
１．比較損益計算書 …… ４０
２．比較貸借対照表 …… ４１
３．事業費用分析表 …… ４３
４．比較資本的収支計算書 …… ４４
５．企業債の概況 …… ４４

６．財務分析表 ･･ ４５
７．経営分析表 ･･ ４６

第４章　施設 ･･ ４７
１．水道施設概要図 ･･ ４８
２．水源施設 ･･ ４９
３．水源地別取水井戸内訳 ･･････････････････････････････････ ４９
４．配水池施設表 ･･ ５８

第５章　防災 ･･ ５９
１．飲料水の調達、供給活動 ････････････････････････････････ ６０
２．緊急時取水予定場所一覧表 ･･････････････････････････････ ６１
３．非常用資機材一覧表 ････････････････････････････････････ ６１
４．緊急遮断弁及び応急給水施設表 ･･････････････････････････ ６２
５．耐震型緊急用貯水槽施設表 ･･････････････････････････････ ６２
６．応急給水施設配置図 ････････････････････････････････････ ６３
７．予備動力 ･･ ６４

下　水　道　事　業 ･･ ６５

はじめに ･･ ６７

第１編　公共下水道事業 ････････････････････････････････････ ６９
第１章　公共下水道事業の概要 ･･････････････････････････････ ７１
１．公共下水道の沿革 ･･････････････････････････････････････ ７２
２．公共下水道のあゆみ年表 ････････････････････････････････ ７３
３．普及状況 ･･ ７６
４．下水道事業の推移状況 ･･････････････････････････････････ ７７
５．事業費及び財源の推移 ･･････････････････････････････････ ７８
６．維持管理費及び下水道使用料の推移 ･･････････････････････ ７９
７．計画の概要 ･･ ８０
（１）四日市鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画 ･･････････････ ８０
（２）流域下水道計画 ･･････････････････････････････････････ ８３
（３）公共下水道計画 ･･････････････････････････････････････ ８４

第２章　業務統計 ･･ ８５
１．整備状況 ･･ ８６

２．受益者負担金制度 ……………………………………… ８８
３．下水道使用料 ……………………………………… ８９
４．用途別有収水量 ……………………………………… ９０
５．用途別下水道使用料 ……………………………………… ９１
６．水洗便所改造資金融資あっせん利子助成制度 ……………… ９２
７．私道内への共同排水管設置費補助制度 ……………………… ９２
８．共同住宅排水管設置費補助制度 ……………………………… ９３
９．水洗化工事積立奨励金（らくらく水洗化積立） …………… ９３
10．非課税世帯接続促進補助金 ……………………………… ９３

第３章　財務 ……………………………………… ９５
１．比較損益計算書 ……………………………………… ９６
２．比較貸借対照表 ……………………………………… ９７
３．事業費用分析表 ……………………………………… ９９
４．比較資本的収支計算書 ……………………………… １００
５．企業債の概況 ……………………………………… １００
６．財務分析表 ……………………………………… １０１

第４章　施設 ……………………………………… １０３
１．下水道施設一覧表 ……………………………………… １０４
２．浄化センター処理能力 ……………………………… １０６
３．ポンプ場一覧表 ……………………………………… １０７

第２編　コミニティプラント事業 ……………………………… １２１
１．コミニティプラント事業の概要 ……………………………… １２２
２．普及状況 ……………………………………… １２３
３．コミニティプラント使用料 ……………………………… １２３
４．使用料調定額 ……………………………………… １２３
５．コミニティプラント処理施設 ……………………………… １２３

第３編　合併処理浄化槽設置整備事業 ……………………… １２５
第１章　合併処理浄化槽設置整備事業の概要 ………………… １２７
１．事業の変遷 ……………………………………… １２８
２．合併処理浄化槽設置補助金額 ……………………………… １２９
３．近年の補助基数補助事業費 ……………………………… １２９

第２章　保健所政令市移行に伴う業務 ……………………… １３１
１．浄化槽保守点検業者登録業務 ……………………………… １３２

２．合併処理浄化槽水質浄化促進業務 …………………………… １３２

農　業　集　落　排　水　事　業 …………………………… １３３

はじめに …………………………………………………… １３５

第１章　農業集落排水事業 ………………………………… １３７
１．農業集落排水事業の概要 ………………………………… １３８
２．農業集落排水事業のあゆみ ……………………………… １３８
３．普及状況 ………………………………………………… １３９
４．集落排水施設使用料 ……………………………………… １３９
５．使用料調定額 ……………………………………………… １３９
６．農業集落排水処理施設 …………………………………… １４０
７．農業集落排水事業整備状況 ……………………………… １４１

第２章　財務 ………………………………………………… １４３
１．比較損益計算書 …………………………………………… １４５
２．比較貸借対照表 …………………………………………… １４６
３．事業費用分析表 …………………………………………… １４７
４．比較資本的収支計算書 …………………………………… １４８
５．企業債の概況 ……………………………………………… １４８
６．財務分析表 ………………………………………………… １４９

参　考　資　料 ……………………………………………… １５１

締結協定一覧 ………………………………………………… １５３
概要図 ………………………………………………………… 巻末
四日市市下水道計画図
配水エリア図

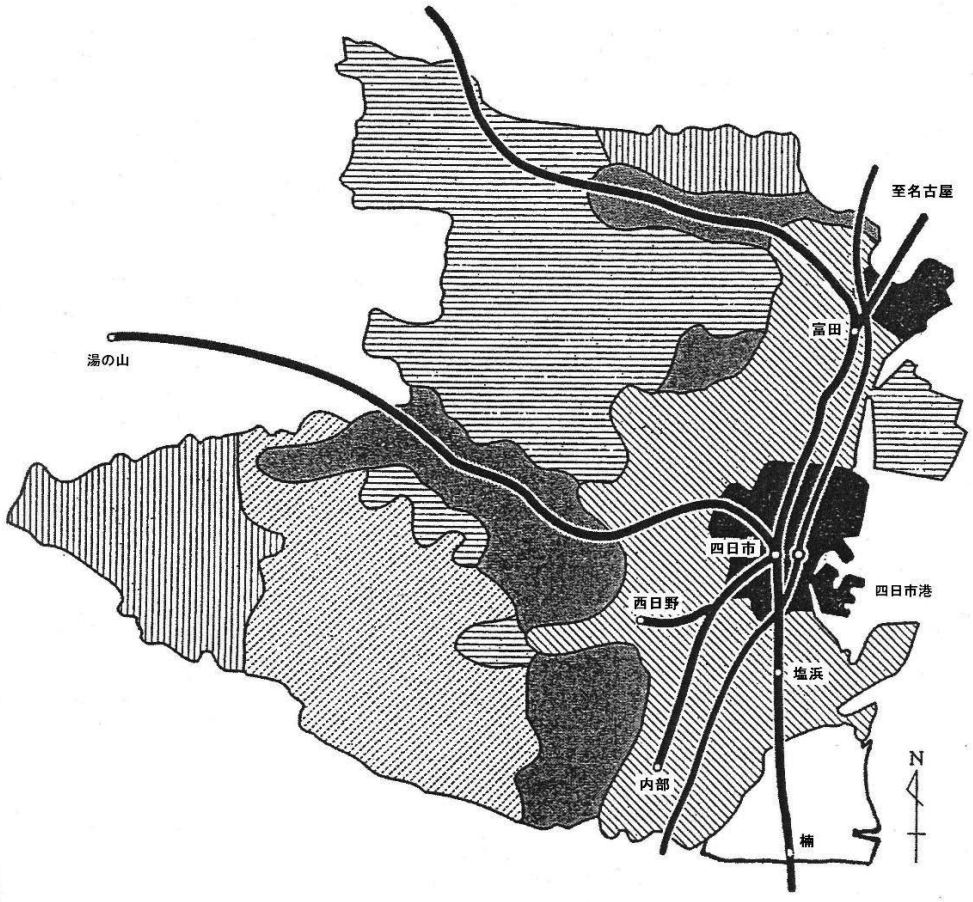
水　道　事　業

はじめに

四日市市の上水道は、昭和3年に創設されて以来、今日まで市の中心部から郊外方面へと市勢の発展にも併せ、給水区域を拡大してきました。

一方、上水道区域から離れた郊外地には昭和33年から42年にかけて簡易水道(13ヶ所)を設置してきました。

やがて、この簡易水道も順次、上水道に統合し、経営の一体化を進めながら、さらに未給水区域の解消に努めた結果、昭和62年4月、本市の全域が上水道区域となりました。



拡張事業開始前の給水区域
第 1 期拡張事業で拡大された給水区域（昭和 24 年～33 年）
第 2 期拡張事業で拡大された給水区域（昭和 35 年～45 年）
第 3 期拡張事業、第 1 次～第 3 次変更で拡大された給水区域（昭和 44 年～54 年）
第 3 期拡張事業、第 4 次変更で拡大された給水区域（昭和 54 年～57 年）
第 3 期拡張事業、第 6 次変更で拡大された給水区域（昭和 60 年～63 年）
楠町との合併により、四日市市の管轄となった給水区域（平成 17 年～）

第１章　事業の沿革

1. 沿　革

創 設 ま で

四日市市は、港湾産業都市として発展してきましたが、上水道の起源についてもその特色を表していて、四日市港の歩みの中で本市上水道の創設をみることができます。

四日市港は、伊勢湾内では最初の開港場として、明治32年に指定を受け、外国船舶も寄港するようになりました。すでに、明治30年頃から船舶に水を供給することを業とする者もおりましたが、入港船舶に対する給水要求に十分にこたえられるものではなかったようです。その後、明治41年から明治末期にかけて、米国航路、さらに欧州など諸国間の航路が開設されたのに伴って、大型船舶の入港が年々増加し、港湾設備の増強、とりわけ船舶への給水施設の整備が急務となりました。

大正8年に“四日市給水株式会社”が設立され、三重村大字生桑(今の四日市市生桑町)に生桑水源地が建設されました。このようにしてできた水道施設も当時はほとんど船舶の給水のみに限られ、そのころの市民は、ほとんどが井戸水に頼っていたのですが、特に臨海部などでは水質が悪く、飲料に適するものはわずかであったようです。そこで昭和2年、衛生的見地から市において水道布設の議論がもちあがり、昭和3年7月、四日市給水株式会社の施設を買収して、市上水道の誕生を見るに至ったのであります。

創　　設

市上水道誕生と同時に給水が開始されましたが、施設の規模が小さいため、わずか280戸に給水できる程度でした。そこで施設の増強を図るため、計画給水人口 50, 000 人、1人1日最大給水量 139 ℓ、1日最大給水量 6,950 ㎥を目標とする工事を昭和4年10月に起し、総工費 1,578,021 円 72 銭で昭和7年3月に完成しました。

一方、三重郡富洲原町(昭和16年2月、四日市市に合併)においても、小規模ながら四日市市とほとんど時期を同じくする昭和3年6月～昭和4年4月、大矢知村に水源地を建設して上水道を布設しました。これは、計画給水人口 15,000 人、1人1日最大給水量 167ℓ、1日最大給水量 2,505 ㎥で、総工費は 245,000 円でした。

その後、富洲原町の合併によって、四日市市の上水道は生桑、大矢知の2水源により給水されることとなりました。しかし、昭和14年頃から生桑水源地の湧水量が減少したため、昭和18年7月、工費 24,000 円で原水補足応急工事に着工、翌19年2月に完成しました。ところが、同年12月の東南海大地震、翌20年6月の戦災によって多大の被害を受け、なかでも戦災による被害は、実に当時の給水戸数 7,700 戸のうち73％が被災するという大きなものでした。

昭和21年末、ようやく一応の復旧工事を完了しましたが、すでに戦災前から諸施設の老朽化がめだち、昭和24年には第1期拡張事業に着手しました。また、同年8月には当時東海財務局の管理下に

あった旧海軍燃料廠の山ノ手地区水道施設の無償貸与を受けました。

第　1　期　拡　張　事　業　（昭和23年度～昭和32年度）

昭和24年5月、厚生省の許可を受け、施設の改良と給水区域拡大のための第1期拡張事業に着手、昭和31年5月には、一部計画を変更して既設水源の改良、河原田水源地の新設、そして平地部のほとんど全域にわたる配水管の布設を行い、昭和33年3月に同事業を完成しました。この事業の内容は、計画給水人口 104,000 人、1人1日最大給水量 250ℓ、1日最大給水量 26,000 ㎥、配水管（口径 75 ㎜以上）の延長は 176.4 ㎞でした。

※ 昭和27年8月に「地方公営企業法」が公布され、同年10月から施行されたのに伴い、当水道事業は昭和33年4月にこの法を適用して、名称を建設部水道課から水道局へと改称、同年6月に市役所内から現在の堀木町へ庁舎を移転しました。

第　2　期　拡　張　事　業　（昭和35年度～昭和44年度）

第1期拡張事業は完成しましたが、石油コンビナートの立地など市勢の飛躍的な伸展と市民生活の向上は水需要が激増するところとなりました。このため、昭和35年には計画給水人口 160,000 人、1人1日最大給水量 300ℓ、1日最大給水量 48,000 ㎥、目標年次昭和37年度の事業計画をたて、35年4月に着工しましたが、翌36年12月にはこの一部変更を行い、計画給水人口 191,000 人、1人1日最大給水量 390ℓ、1日最大給水量 74,500 ㎥、目標年次昭和43年とし、41年度完成を目指して事業を進めました。

ところが、再度計画を上回る給水人口と水需要が見込まれる情勢となりましたので、計画年次の繰上げ実施が必要となり、昭和40年12月に将来計画の実施時期などを考慮のうえ、昭和45年度を目標として第3次変更許可を申請しました。そして、計画給水人口 241,500 人、1人1日最大給水量 410ℓ、1日最大給水量 99,000 ㎥とし事業を推進しましたが、42年度から着手された東名阪国道の建設によって、三滝西水源系の取水場の当初予定地を一部変更する必要が生じ、これらの調査などの関係から工期を1か年延伸し、昭和44年度をもって全工事を完了しました。

第　3　期　拡　張　事　業　（昭和44年度～昭和63年度）

＜ 当 初 計 画 ＞

水の需要は、発展する市勢に伴って、年々上昇の一途をたどり、第2期拡張事業の目標年次である昭和45年には計画どおり限度に達することは必至とみられました。また、46年以降の水源対象と見込んでいた三重用水からの受水は、55年以降に延伸となる可能性が高く、さらに現有水源の能力を増強することも河川規模、あるいは農業用水利権などの関係から困難であると見込まれました。

このような現状から、昭和45年から50年までの5年間における水源手当を行うことが必要とされたため、これの対策として第3期拡張計画を樹立しました。

当初計画の内容は、計画給水人口 258,200 人、1人1日最大給水量 520ℓ、1日最大給水量

134,200 ㎥、目標年次昭和50年度とし、員弁郡東員町地内の員弁川と市内の朝明川周辺の地下水から日量 35,000 ㎥を新規開発しようとするものでした。そして、同時に市内配水管の拡大整備を行うとともに、市域南西部の小山田、水沢及び四郷地区一部の簡易水道区域を除く地域を、すべて上水道区域に編入しました。

＜ 第 1 次 変 更 計 画 ＞

第3期拡張事業は、第2期拡張事業の最終年次と一部並行し昭和44年度から着工しましたが、その後、諸般の情勢により水源の位置及び取水量の変更を行い、昭和46年3月31日付をもって許可を受けました。

この変更計画の内容は、員弁水源の取水量を日量 30,000 ㎥から 24,000 ㎥に縮小し、不足量の 6,000 ㎥は小牧水源の新設によって補うものでありますが、送水施設、浄水施設、配水施設などは当初計画どおりで変更はありませんでした。

＜ 第 2 次 変 更 計 画 ＞

前述のように、第1次変更計画は水源の位置と取水量のみを対象としたものでしたが、三重県企業庁による“北勢水道用水供給事業”の具体化に伴う受水量の確定、及び45年にまとめられた四日市市総合開発計画に基づく人口の修正結果などから、水源施設以外の当初計画内容についても変更を行う必要が生じました。

また、一方では、市内河川の汚染が進み、特に、鈴鹿川・朝明川の伏流水を取水している既設の河原田、大矢知の両水源では、水質の悪化とともに取水能力の減衰をもきたしていました。

このため、両水源に浄水設備を新設し、能力の回復を図る必要がありました。

以上のような諸要素により、現行の計画内容の一部変更を行い、昭和47年1月20日に第2次変更計画が認可されました。

＜ 第 3 次 変 更 計 画 ＞

第2次変更計画によって認可されていた員弁郡東員町の員弁水源3井の取水井から日量 24,000 ㎥を取水する計画でありましたが、東員町土地改良区の農業用水及び東員町の上水道水源が近接しているため、取水に伴う影響を考慮して3井のうち1井を員弁川右岸長深地内に移して取水を行うよう現行計画の内容を一部変更いたしました。この第3次変更計画については、昭和48年3月31日に認可されました。

＜ 第 4 次 変 更 計 画 ＞

第3期拡張工事は、昭和44年に着工以来、急増する水需要に対処し、水源の開発、給水区域の拡大及び配水管網の整備等を鋭意行ってきましたが、オイルショック以後、やや長期化した不況、景気低迷により、民間企業などの大口需要、営業用水等の伸び悩みにより、給水人口の修正見直しを行うとともに、市内に散住する老朽化した簡易水道を上水道に編入し、給水区域の拡大を図るため、第4次変更計画を策定しました。この第4次変更計画については、昭和54年1月29日に認可されま

した。

＜ 第５次変更計画 ＞

第4次変更計画の骨子である給水区域拡大事業は、昭和54年度から着工し、昭和57年4月には水沢簡易水道を除く市内のすべての簡易水道が上水道に統合され、給水区域が拡大されました。しかしながら、第2次オイルショックなどによる経済の低成長、省資源ムードの定着、天候不順等により、水需要は伸び悩みの傾向になりました。そこで、給水量及び給水人口を修正するとともに、昭和63年度まで事業年度を延伸し、赤水防止対策、水源施設の整備、配水管網の整備拡充等、市民サービスの向上と安定給水を目的とした第5次変更計画を策定しました。

この第5次変更計画は、昭和57年4月21日に認可されました。

＜ 第６次変更計画 ＞

第4次変更計画において、水沢簡易水道を除くすべての簡易水道が上水道に統合されましたが、水沢簡易水道は料金格差問題等で地元住民から簡易水道存続の強い要望が出され、第5次変更計画においても上水道に統合されませんでした。しかしながら、既存施設の能力が限界に達している状況から、施設の増強、維持管理面で、これ以上は組合による健全な運営が困難となり、市上水道への統合を要請する陳情が出され、水沢地区が上水道区域に編入されました。これにより、上水道創設以来の目標であった市全域（一部高地区を除く）が給水区域となりました。そして、第5次変更計画に引続き赤水、漏水防止対策としての老朽管の布設替を積極的に推進し、あわせて各水源施設の集中遠方監視体制の整備を行い、維持管理面の合理化を図る第6次変更計画を策定しました。

この第6次変更計画は、昭和60年3月15日に認可されました。

第　４　期　拡　張　事　業　（平成元年度～平成11年度）

＜ 当初計画 ＞

第3期拡張事業の推進により、上水道創設以来の目標であった市全域（一部を除く）が給水区域となりました。

こうしたときに、市では21世紀を展望し、目標とすべき理想の都市像を定めた新しい総合計画基本構想（平成元年度～12年度目標）を策定しました。

そこで本市上水道もこれを受けて、計画給水人口 304,000 人、計画1日最大給水量 191,300 ㎥/日とし、新規水源（三重用水事業を水源とする広域水道用水供給事業からの受水 41,800 ㎥/日）の開発を行うと共に自己水源能力の見直しを図ることとしました。併せて臨海部埋め立てにより市域面積が拡大された区域（天ヵ須賀新町）及び、一部高地区を給水区域外としていた14地区の全域を給水区域へ編入しました。そして、給水量の増加に伴う配水池の増設及び配水管網の整備を行うとともに、既設自己水源の水質は、PH値が低い（酸性）ので、三滝・三滝西・内部・朝明・小牧の各水源地に水質調整施設（アルカリ剤注入設備）を設けて水質改善を図ることにしました。

さらに、赤水防止対策及び漏水防止対策の一環として老朽管の布設替え、震災時の生活用水確保のための諸施設の整備及び各水源設備の増補改良も行うため、第4期拡張事業計画を策定しました。

この第4期拡張計画は、平成元年2月20日に認可されました。

＜ 第 1 次 変 更 計 画 ＞

第4期拡張計画の推進に努めてきましたが、上水道をとりまく、自然的社会的諸条件の変化に対応するため、計画給水人口 305,000 人、計画1日最大給水量 191,900 ㎥に変更することとしました。

そして、自己水源の見直しを図り、より質の高い水を安定的に供給するため、新規自己水源の開発（中上取水場の建設）、朝明水源系の除鉄・マンガン設備の設置、さらには直結給水区域拡大を視野に入れた配水池築造を骨子とする第1次変更計画を策定しました。

この第1次変更計画は平成6年3月28日に認可されました。

第 1 期 水 道 施 設 整 備 計 画（平成12年度～平成21年度）

＜ 当 初 計 画 ＞

四日市市の「新総合計画」が、2010年を展望して策定されたことを受けて、目標年度平成12年度であった第4期拡張事業を平成11年度で終結させ、平成12年度を初年度とし、平成22年度を目標年度とする第1期水道施設整備計画を策定しました。

計画の骨子は、目標年度における計画給水人口 310,000 人、計画1日最大給水量 192,000 ㎥と推計して平尾取水場の開発、長良川河口堰系県水受水及び関連施設の整備拡充、さらに老朽施設の更新と基幹水道施設等の耐震化を行うものです。

なお、すでに市全域の給水区域化を達成していること、また高普及時代に即応した水道施設の整備を進めていくことになることから、計画名称は「拡張事業」を改めて「水道施設整備計画」としました。この第1期水道施設整備計画は、平成11年8月26日に認可されました。

＜ 合 併 に よ る 届 出 計 画 ＞

平成17年2月7日の三重郡楠町との合併に伴い、上水道事業については水質の安全と安定供給を基本として統合を図り、計画給水人口 322,000 人、計画1日最大給水量 191,800 ㎥としました。

第 2 期 水 道 施 設 整 備 計 画（平成22年度～平成30年度）

＜ 当 初 計 画 ＞

平成21年8月に「四日市市水道ビジョン」を策定したことにより、目標年度平成22年度であった第1期水道施設整備計画を21年度で終結させ、平成22年度を初年度とし、平成30年度を目標年度とする第2期水道施設整備計画を策定しました。

計画の骨子は、目標年度における計画給水人口 312,600 人、計画1日最大給水量 150,500 ㎥と推計して、本市が策定している四日市市水道ビジョンの基本理念である「“貴重な水”と“信頼の絆”

を未来に」の実現に向けて、これまで進めてきた経年施設の更新と、基幹施設の耐震化を継承します。さらに、新たな課題として　水質悪化が懸念される朝明水源地への高度浄水処理設備の導入、危機管理対策では、渇水や災害などに強い管路システムへの再構築を目指した配水区域のブロック化検討、安心・快適な水供給の観点から、水質管理面で水安全計画の策定や連続水質監視システムの導入を図るなど、ゆとりある水道施設整備を基調に、安全でおいしい水の安定供給に万全を期し、信頼される水道を目指すこととしています。なお、この第2期水道施設整備計画は、平成22年3月19日に認可されました。

第 3 期 水 道 施 設 整 備 計 画（令和元年度～令和 10 年度）

＜ 当 初 計 画 ＞

第2期水道施設整備計画が平成30年度に終結するなかで、本市は、今後これまで整備した水道施設の老朽化が進行し、更新費用が増大するとともに、少子化による人口の減少時代の到来や東日本大震災の経験を踏まえた災害への対応により、これまで経験したことのない厳しい経営環境を迎えます。

このような状況のなか、平成31年2月に「四日市市水道ビジョン2019」を策定し、あわせて令和元年度を初年度とし令和10年度を目標年度とする第3期水道施設整備計画も策定しました。

この計画の骨子では、目標年度における計画給水人口 312,000 人、計画1日最大給水量 128,000 ㎥と推計し、四日市市水道ビジョン 2019 の基本理念である「“貴重な水”と“信頼の絆”を未来に」の実現に向けて、これまで進めてきた基幹施設の耐震化、経年管路・施設の更新、水源の確保、配水管網の整備を継承します。これらにより、安全で良質な水道水を将来にわたって安定的に確保し、お客さまから信頼される水道を目指すこととしています。

（水道事業認可 ： 第3期水道施設整備事業）

神田取水場でクリプトスポリジウム等の指標菌が検出され、小牧水源地に紫外線処理施設を導入するため、計画給水人口 312,000 人、計画1日最大給水量 124,000 ㎥と推計し、令和 4 年 1 月 19 日付けで認可を受けました。

＜事業概要＞

内容		浄水方法の変更 取水地点の変更
認可年月日		令和4年1月19日
着工年月日		令和4年 4月 1日
竣工年月日		令和9年3月31日
計画給水人口（人）		312,000
1人1日最大給水量（ﾘｯﾄﾙ）		397
1人1日平均給水量（ﾘｯﾄﾙ）		343
1日最大給水量（m^3／日）		124,000
1日平均給水量（m^3／日）		107,000
事業費（千円）		3,166,500
目標年度		令和12年度
水源別 施設能力 （m^3／日）	三滝水源	17,040
	内部水源	14,640
	朝明水源	13,680
	三滝西水源	18,760
	員弁水源	19,800
	小牧水源	7,440
	北中勢水道用水受水	（木曽川用水系） 36,200
		（三重用水系） 41,800
		（長良川河口堰系） 2,200
	合計	171,560
配水池容量（m^3）		112,335

2. 水道のあゆみ年表

年　月	水　道　の　あ　ゆ　み
（大正）	
8年　2月	四日市給水株式会社設立（船舶給水が目的、水道施設竣工 大正11年）
12年　1月	四日市給水株式会社、配水管沿線の民家約280戸に給水開始
15年　4月	四日市市、上水道の調査・設計に着手
（昭和）	
3年　7月	四日市市の上水道が誕生（四日市給水株式会社の施設を買収）
3年　11月	四日市市臨時水道部を生桑水源地内に設置（計画給水人口50,000人、施設増強の工事に着手、昭和7年に竣工）
4年　3月	四日市市上水道使用条例施行
4年　4月	富洲原町上水道施設が竣工、給水開始（計画給水人口15,000人）
7年　4月	施設増強竣工により臨時水道部を解散、市役所内に水道課を設置
14年　8月	生桑水源の湧水量減少により1日10時間の制限給水
15年	海軍燃料廠山ノ手水源完成、燃料廠と官舎約700戸に給水開始
16年　2月	町合併に伴い富洲原町上水道施設を市が継承
19年　12月	東南海地震で配水管等の被害を受ける
20年　6月	第二次大戦空襲で市内の給水装置8割強が破損 1日5時間給水
21年　2月	給水装置工事を業者（公認請負工事人）に代行
23年　10月	第1期拡張事業に着手（計画給水人口120,000人）
24年　8月	旧海軍燃料廠水道施設の無償貸与受ける（日永・塩浜方面へ給水）
24年	市民待望の1日24時間給水実現
27年　8月	地方公営企業法公布
30年	給水装置にビニル管採用
31年　5月	第1期拡張事業変更計画認可（大矢知水源拡充、河原田水源新設）
32年　6月	水道法公布
32年　10月	料金計算にバロース会計機導入、集金業務を委託
33年　4月	建設部水道課が四日市市水道局と改称、地方公営企業法を全面適用
33年　4月	小林簡易水道（小林町）事業開始
33年　6月	水道局庁舎、市役所内から現在地（堀木一丁目）へ移転
34年　4月	桜簡易水道（桜町北）小山田簡易水道（小山田町）事業開始
34年　9月	伊勢湾台風被害に水道局緊急対策本部を設置し対応
35年　4月	第2期拡張事業に着手（計画給水人口160,000人、三滝水源着工）
35年　4月	山之一色簡易水道（山之一色町）鹿間簡易水道（鹿間町）事業開始
36年　4月	内部簡易水道（南小松町・北小松町・貝家町・波木町）事業開始
36年　7月	内部水源地、建設着工
36年　12月	第2期拡張事業第1次変更認可（計画給水人口191,000人、三滝水源の増強、朝明水源及び内部水源の新設）

年	月	水　　道　　の　　あ　　ゆ　　み
38 年	4 月	北山簡易水道(北山町・西大鐘町)高花平簡易水道(高花平団地・六名町)事業開始
38 年	12 月	第2期拡張事業第2次変更許可(朝明水源の位置変更)
39 年	4 月	野田簡易水道(水沢野田町)神明簡易水道(堂ケ山町・和無田町)事業開始
39 年	4 月	漏水防止、計画的作業に着手
39 年	12 月	朝明水源地、建設着工
40 年	4 月	水道料金改定実施(平均改定率33.33%)
40 年	4 月	小西簡易水道(小山町・西山町)山城簡易水道(山城町・札場町・上海老町大沢)事業開始
40 年	12 月	第2期拡張事業第3次変更認可(計画給水人口241,500人、朝明水源及び内部水源の増強、三滝西水源の新設)
41 年	4 月	内部簡易水道、上水道に統合
41 年	11 月	料金の口座振替制採用
42 年	4 月	水沢簡易水道(水沢地区・水沢野田町除く全域)事業開始
42 年	4 月	高花平簡易水道、上水道に統合
43 年	3 月	水道局現庁舎竣工(木造から鉄筋コンクリート造)
43 年	5 月	メータ検針業務を一部委託
43 年	6 月	三滝西水源地、建設着工
44 年	3 月	第3期拡張事業認可(計画給水人口258,200人)
44 年	4 月	料金計算事務、電子計算委託化(日本電子計算KK名古屋支店)
45 年	9 月	員弁水源、建設着工
46 年	3 月	第3期拡張事業第1次変更認可(小牧水源新設)
46 年	4 月	桜簡易水道を上水道に統合、小牧水源地の建設着工
47 年	1 月	第3期拡張事業第2次変更認可(県営北勢水道用水の受水計画)
47 年	6 月	水道料金改定実施(平均改定率67.5%　逓増型一部採用、休止料廃止)
47 年	7 月	山城簡易水道、上水道に統合
48 年	3 月	第3期拡張事業第3次変更認可(員弁水源の取水井位置変更)
48 年	4 月	老朽管布設替工事に取組む
48 年	10 月	北山簡易水道、上水道に統合
49 年	6 月	神田取水場取水開始
49 年	7 月	集中豪雨で市内河川決壊、配水管被害を受ける
50 年	4 月	山之一色簡易水道、上水道に統合
50 年	4 月	長深取水場取水開始
51 年	4 月	水道料金改定実施(平均改定率70.38%、口径別料金体系採用)
51 年	4 月	伝票式会計制度採用
52 年	11 月	野田簡易水道が水沢簡易水道に統合
53 年	6 月	県営北勢水道用水(木曽川総合用水系)受水開始
54 年	1 月	第3期拡張事業第4次変更認可(三滝西水源、員弁水源増強)
55 年	4 月	水道料金改定実施(平均改定率45.08%)

年　月	水　道　の　あ　ゆ　み
56 年　10 月	小林・小山田・小西 各簡易水道、上水道に統合
57 年　4 月	鹿間簡易水道と神明簡易水道、上水道に統合
57 年　4 月	第3期拡張事業第5次変更認可（計画給水人口272,000人、朝明水源増強、老朽管布設替工事）
58 年　3 月	南部水源管理センター管理棟竣工
58 年　9 月	南部水源集中管理システム完成
58 年　9 月	水道事業用無線装置導入
59 年　1 月	水道料金改定実施（平均改定率27.94％）
59 年　12 月	北部水源管理センター管理棟竣工
60 年　3 月	第3期拡張事業第6次変更認可（計画給水人口275,700人、水沢簡易水道の上水道化）
61 年　4 月	北部水源集中管理システム完成
61 年　4 月	地震対策事業（3ヵ年計画）に着手
62 年　4 月	水沢簡易水道を上水道に統合、市全域の上水道区域化達成
63 年　4 月	水道料金徴収事務、隔月制度採用
63 年　4 月	管工事積算システム運用開始
（平成）	
元 年　2 月	第4期拡張事業認可（計画給水人口304,000人、県営北勢水道用水の受水計画、三重用水系の受水計画地震対策施設整備工事）
元 年　3 月	消費税施行に伴う料金改定議決（改定率3％、施行は「規則による施行日」とし先送り）
元 年　4 月	料金の前納制廃止
元 年　4 月	小規模3階建築の直圧・直結給水方式採用
元 年　9 月	口座振替収納MT交換方式実施
元 年　10 月	デジタル電子交換機、ダイヤルイン方式採用
2 年　8 月	水道局専用汎用コンピュータ設置
2 年　8 月	異常猛暑（給水対策本部）（H2．8．9～H2．8．23）
3 年　1 月	水道料金改定実施（平均改定率22.23％）
3 年　2 月	水道料金システム運用開始
3 年　4 月	県営北勢水道用水（三重用水系）受水開始
4 年　4 月	企業会計システム運用開始
5 年　2 月	新水質試験室完成
5 年　4 月	開栓手数料廃止
6 年　3 月	第4期拡張事業第1次変更認可（計画給水人口305,000人、員弁水源系中上取水場の開発計画）
6 年　4 月	水道料金改定実施（平均改定率21.01％）
6 年　4 月	水道料金消費税転嫁（3％）
6 年　8 月	異常渇水（給水対策本部設置）（H6．8．10～H6．9．30）
7 年　1 月	阪神大震災給水支援、復旧支援

年	月	水　　道　　の　　あ　　ゆ　　み
7 年	4 月	4階建物への直圧・直結給水方式採用
8 年	4 月	中上取水場取水開始
8 年	4 月	ホストコンピュータ入替
9 年	3 月	朝明配水池地震等応急給水拠点を整備
9 年	4 月	水道料金消費税(5%)6月から実施
10 年	3 月	山ノ手配水池及び高岡配水池地震等応急給水拠点を整備
10 年	4 月	水道料金改定実施(平均改定率23.0%)
10 年	8 月	コンビニエンスストア・郵便局の収納取扱開始
10 年	10 月	5階建物への直圧・直結給水方式採用
10 年	12 月	集金制の廃止
11 年	3 月	一生吹配水池及びあがた配水池地震等応急給水拠点を整備
11 年	4 月	地図情報システム運用開始
11 年	4 月	南・北水源管理センターの一元化
11 年	8 月	第1期水道施設整備事業認可(計画給水人口310,000人、平尾取水場開発、長良川河口堰系県水受水及び関連施設整備拡充、老朽施設の更新と耐震化)
12 年	10 月	ハンディーターミナル検針実施
13 年	3 月	水沢北谷配水池竣工
14 年	10 月	ホストコンピュータ入替、料金課　収納業務一部民間委託
15 年	4 月	メータ取替業務一部民間委託
16 年	6 月	検針業務全部法人委託
17 年	2 月	三重郡楠町と合併(2月7日)
17 年	4 月	水道局と下水道部が組織統合し、四日市市上下水道局となる
17 年	6 月	500mlペットボトル入り飲料水「泗水の里」製作、販売
17 年	6 月	四日市市水道水源保護条例制定
17 年	10 月	水道料金値下げ実施
18 年	1 月	四日市市水道水源保護条例施行
19 年	4 月	高岡配水池小水力発電所稼動
21 年	8 月	四日市市水道ビジョン策定
22 年	3 月	第2期水道施設整備事業認可(計画給水人口312,600人、朝明水源地に高度浄水処理設備の導入計画、老朽施設の更新と耐震化)
22 年	4 月	管路情報システム運用開始
23 年	3 月	東日本大震災　宮城県松島町給水支援
23 年	4 月	県営北中勢水道用水(長良川水系)受水開始
23 年	9 月	朝明水源地に紫外線処理施設を導入
25 年	5 月	水沢北谷配水池地震等応急給水拠点を整備
26 年	4 月	水道料金消費税(8%)実施

年　月	水　道　の　あ　ゆ　み
27 年　6 月	クレジットカード収納開始
28 年　12 月	防災備蓄缶「泗水の里」製作、販売
30 年　4 日	朝明水源地に除マンガン施設を導入
31 年　2 月	四日市市水道ビジョン2019策定
31 年　2 月	第3期水道施設整備計画策定（計画給水人口312,000人、老朽施設の更新と耐震化）
（令和）	
元 年　7 月	四日市市水道事業経営戦略策定
元 年　8 月	応急給水栓配備開始
元 年　10 月	水道料金消費税（10％）実施
2 年　4 月	「泗水の里」国際品質評価機関モンドセレクション2020最高金賞受賞
2 年　6 月	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する緊急支援策として、水道基本料金の半年間（6月～11月）無料化を実施
4 年　1 月	第3期水道施設整備事業認可（計画給水人口312,000人、小牧水源地に高度浄水処理設備の導入、小牧1号井の取水地点の変更）
6 年　1 月	能登半島地震　七尾市給水支援

3. 水道事業認可の概要

		創設			第1期拡張事業		第２期拡張事業				第３期拡張事業							第4期拡張事業		第1期水道施設整備事業		第2期水道施設整備事業	第3期水道施設整備事業
		四日市市上水道	富洲原町上水道	山ノ手地区軍用水道	当初	変更	当初	変更	第２次変更	第３次変更	当初	第１次変更	第２次変更	第３次変更	第４次変更	第５次変更	第６次変更	当初	第１次変更	当初	合併届出	当初	当初
許可年月日		S3.10.22	S3.5.29		S24.5.17	S31.5.29	S35.1.13	S36.12.18	S38.12.27	S40.12.16	S44.3.8	S46.3.31	S47.1.20	S48.3.31	S54.1.29	S57.4.21	S60.3.15	H1.2.20	H6.3.28	H11.8.26	H17.2.3	H22.3.12	R4.1.19
着工年月日		S4.10.3	S3.6.27		S23.10.	S23.10.	S35.4.1	S35.4.1	S35.4.1	S35.4.1	S44.4.1	S44.4.1	S44.4.1	S44.4.1	S44.4.1	S44.4.1	S44.4.1	H1.4.1	H6.4.1	H12.4.1	H17.2.7	H22.4.1	R4.4.1
竣工年月日		S7.3.31	S4.4.30		S30.3.31	S33.3.31	S38.3.31	S42.3.31	S42.3.31	S45.3.31	S51.3.31	S51.3.31	S54.3.31	S55.3.31	S58.3.31	H1.3.31	H1.3.31	H13.3.31	H13.3.31	H23.3.31	H23.3.31	H31.3.31	R9.3.31
計画給水人口（人）		50,000	15,000		120,000	104,000	160,000	191,000	191,000	241,500	258,200	258,200	239,500	239,500	257,200	272,000	275,700	304,000	305,000	310,000	322,000	312,600	312,000
1人1日最大給水量（ℓ）		139.0	167.0		200.0	250.0	300.0	390.0	390.0	410.0	520.0	520.0	650.0	650.0	618.0	592.0	590.0	629.0	629.0	619.4	595.5	482.0	397
1人1日平均給水量（ℓ）		97.4	125.0		150.0	170.0	231.0	275.0	275.0	307.7	364.0	364.0	455.0	455.0	460.0	444.0	443.0	485.0	491.0	490.8	470.8	396.0	343
1日最大給水量（㎥）		6,950	2,505		24,000	26,000	48,000	74,500	74,500	99,000	134,200	134,200	155,675	155,675	158,900	161,000	162,700	191,300	191,900	192,000	191,800	150,500	124,000
1日平均給水量（㎥）		4,870	1,875		18,000	17,700	37,000	52,525	52,500	74,300	94,000	94,000	108,972	108,972	118,259	120,706	122,000	147,300	149,640	152,141	151,643	123,900	107,000
事業費（千円）		1,578	245		77,000	271,000	380,000	1,270,000	1,270,000	2,252,114	1,980,000	2,040,000	5,988,000	7,853,000	9,192,000	15,300,000	16,439,500	15,600,000	21,930,000	17,100,000	11,000,000	15,442,100	3,166,500
目標年次							S39	S43	S43	S45	S50	S50	S55	S55	S57	S63	S63	H12	H12	H22	H22	H30	R12
給水開始		S3.7.14	S16.2.併合	S24.8.併合																			
水源別施設能力 ㎥/日	生桑水源	6,950			17,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	休止	休止	廃止			
	大矢知水源		2,505		3,000	9,000	19,000	9,000	9,000	9,000	14,200	14,200	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	3,000	420	休止	休止	廃止
	山ノ手水源					3,500	3,500	3,500	3,500	3,500													廃止
	茂福水源				4,000																		
	河原田水源					11,000	11,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	6,000	6,000	休止	休止	休止	休止	廃止				
	三滝水源						13,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	18,000	18,000	19,510	19,510	21,990	17,040
	内部水源							12,000	12,000	15,000	18,500	18,500	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	18,800	21,300	21,690	20,910	16,880	14,640
	朝明水源							18,000	18,000	29,500	29,500	29,500	21,000	21,000	21,000	25,000	25,000	21,500	21,500	13,860	13,860	12,300	13,680
	三滝西水源									10,000	10,000	10,000	14,000	14,000	18,000	18,000	18,000	16,300	16,300	19,810	18,170	13,990	18,760
	員弁水源										30,000	24,000	24,000	24,000	28,000	28,000	28,000	24,100	28,600	27,540	27,540	28,950	19,800
	小牧水源											6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	9,000	8,700	8,700	3,970	3,850	7,360	7,440
	県営用水受水（木曽川系）												33,400	33,400	33,400	33,400	33,400	33,400	33,400	33,400	36,200	36,200	36,200
	県営用水受水（三重用水系）																	41,800	41,800	41,800	41,800	41,800	41,800
	県営用水受水（長良川系）																			10,000	13,000	2,200	2,200
	計	6,950	2,505		24,000	26,500	49,500	74,500	74,500	99,000	134,200	134,200	157,400	157,400	159,400	163,400	166,400	191,600	192,600	192,000	194,840	181,670	171,560
配水池容量（㎥）		3,000	900	2,500	12,400	6,400	6,400	26,100	26,100	37,100	57,100	57,100	66,100	66,100	81,600	83,600	84,830	108,270	108,570	116,570	121,070	112,335	112,335

４．水 道 事 業 の 推 移 状 況

項目＼年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
行政区域内戸数	戸	144,879	146,455	147,817
行政区域内人口	人	306,634	305,599	304,736
給水戸数	戸	157,382	159,079	160,270
給水人口	人	306,597	305,562	304,700
普及率	%	99.99	99.99	99.99
配水量	㎥	38,239,342	38,311,256	38,257,712
1日最大配水量	㎥	113,371	115,239	112,836
1日平均配水量	㎥	104,479	104,962	104,816
1人1日最大配水量	ℓ	370	377	370
1人1日平均配水量	ℓ	341	344	344
有収水量	㎥	34,296,883	34,130,408	33,896,772
有収率	%	89.69	89.09	88.60
給水装置工事新設申請件数	件	1,620	1,439	1,202
職員数（管理者除く、再任用職員・フルタイム会計年度任用職員を含む）	人	110	110	111

第２章　業務統計

1. 水道料金表

四日市市の水道料金表

（令和元年10月改定　消費税及び地方消費税10%）　　（1か月につき）　＜税込＞

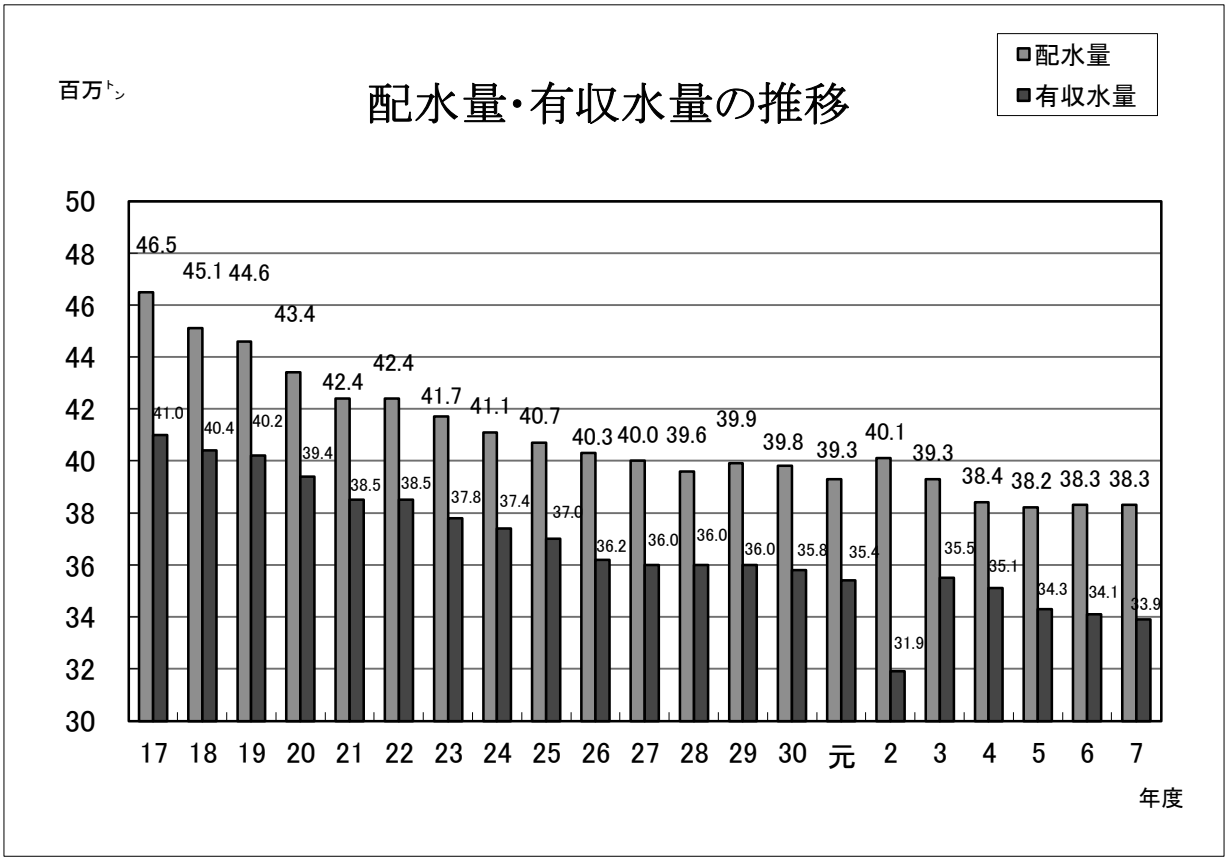
用途＼料金		基本 水量	基本 料金	従量料金（1㎥につき）					
一般用	口径 13㎜	5㎥	946.00円	6～10㎥	11～20㎥	21～30㎥	31～50㎥	51～100㎥	101㎥以上
	〃 20㎜	5㎥	1,496.00円						
	〃 25㎜	5㎥	1,925.00円	22.00円	135.30円	167.20円	232.10円	295.90円	361.90円
	〃 40㎜	－	5,049.00円	1～50㎥まで				51～100㎥まで	101㎥以上
	〃 50㎜	－	10,098.00円						
	〃 75㎜	－	23,760.00円						
	〃 100㎜	－	44,880.00円	281.60円				326.70円	361.90円
	〃 150㎜	－	110,990.00円						
公衆浴場用		200㎥	11,550.00円	201㎥～400㎥まで　37.40円			401㎥以上　74.80円		
臨時用		5㎥	3,685.00円	6㎥以上　721.60円					
船舶用		－	33,550.00円	1㎥以上　295.90円					

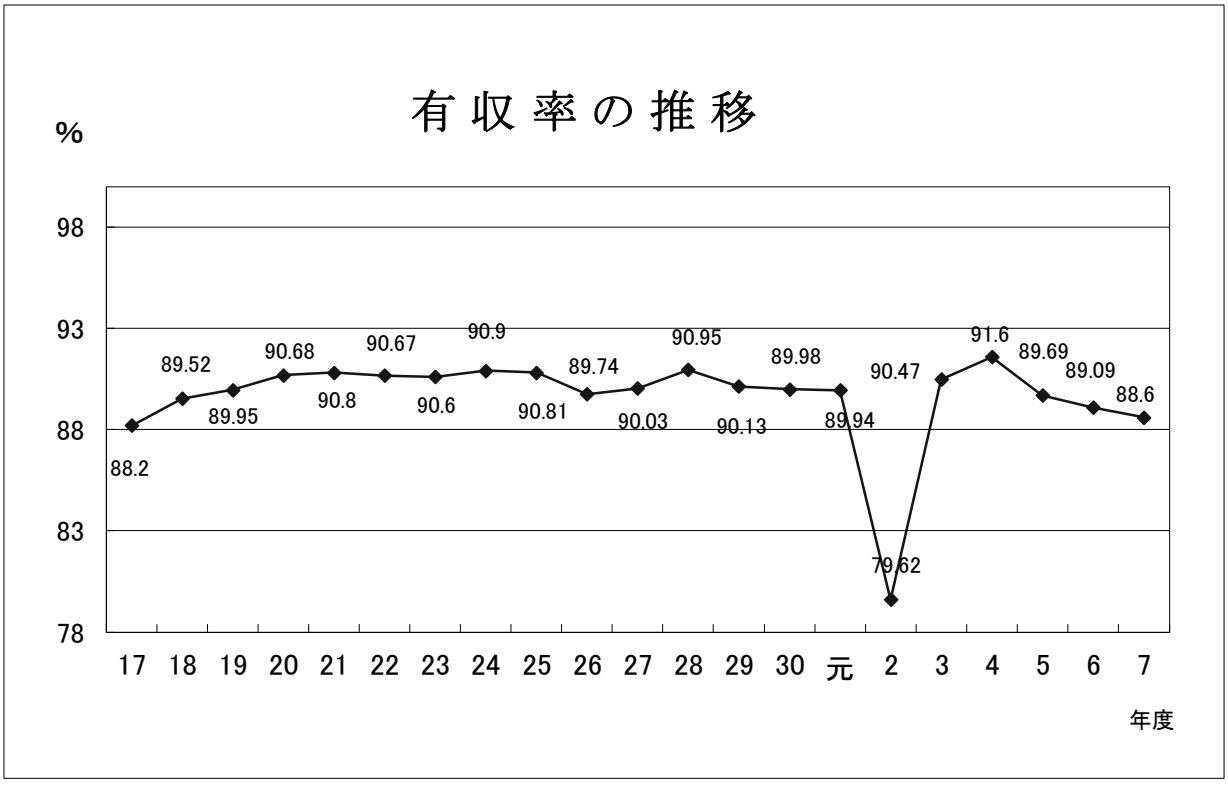
料金の金額に１円未満の端数が生じたときは、切り捨てとします。

2. 配水量分析表

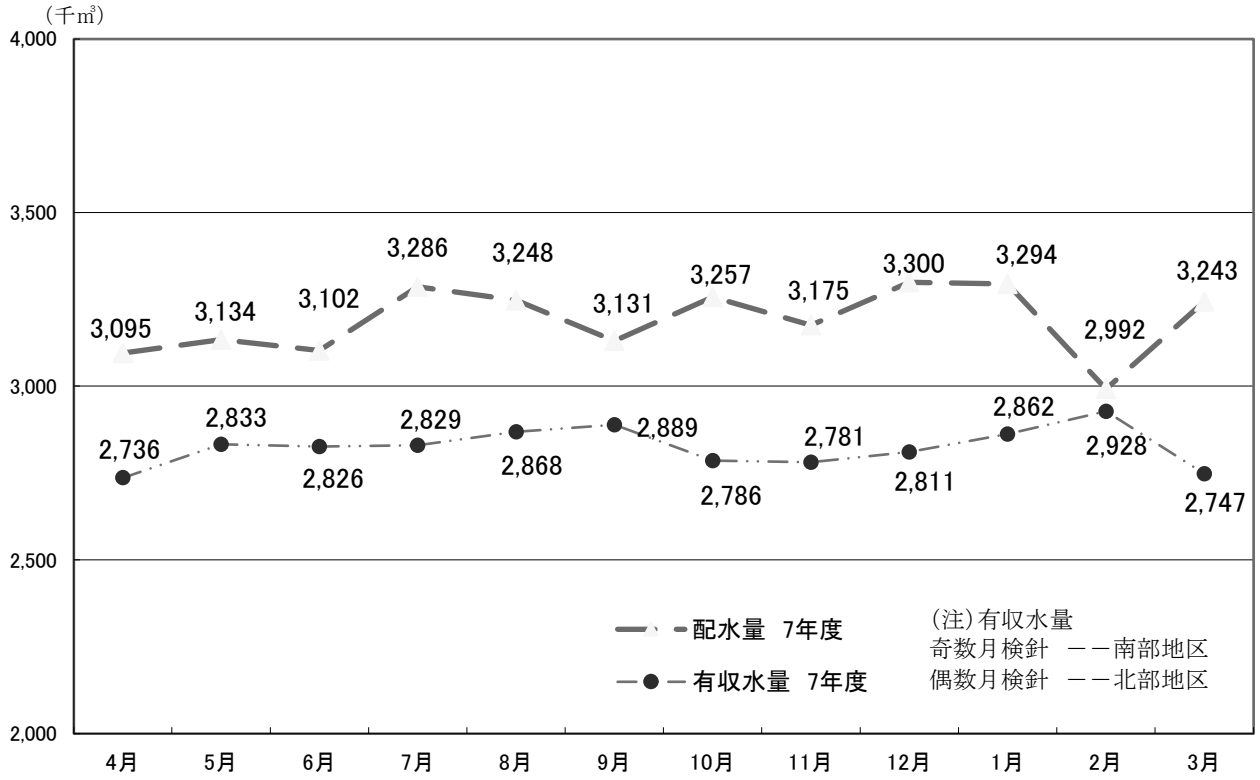
区分 / 項目			令和5年度	令和6年度	令和7年度	構成比(%)
配水量（A）			38,239,342 ㎥	38,311,256 ㎥	38,257,712 ㎥	100.00
有効水量	有収水量（C）		34,296,883 ㎥	34,130,408 ㎥	33,896,772 ㎥	88.60
	無収水量	消防火災用	1,170 ㎥	788 ㎥	894 ㎥	0.01
		配水管洗浄用	654,482 ㎥	662,010 ㎥	666,771 ㎥	1.74
		メータ不感水量	382,393 ㎥	383,113 ㎥	382,577 ㎥	1.00
		小計（D）	1,038,045 ㎥	1,045,911 ㎥	1,050,242 ㎥	2.75
	合計（B）		35,334,928 ㎥	35,176,319 ㎥	34,947,014 ㎥	91.35
無効水量（A－B）			2,904,414 ㎥	3,134,937 ㎥	3,310,698 ㎥	8.65
有効率（B／A）			92.40 %	91.82 %	91.35 %	
有収率（C／A）			89.69 %	89.09 %	88.60 %	

3.　配水量･有収水量及び有収率の推移





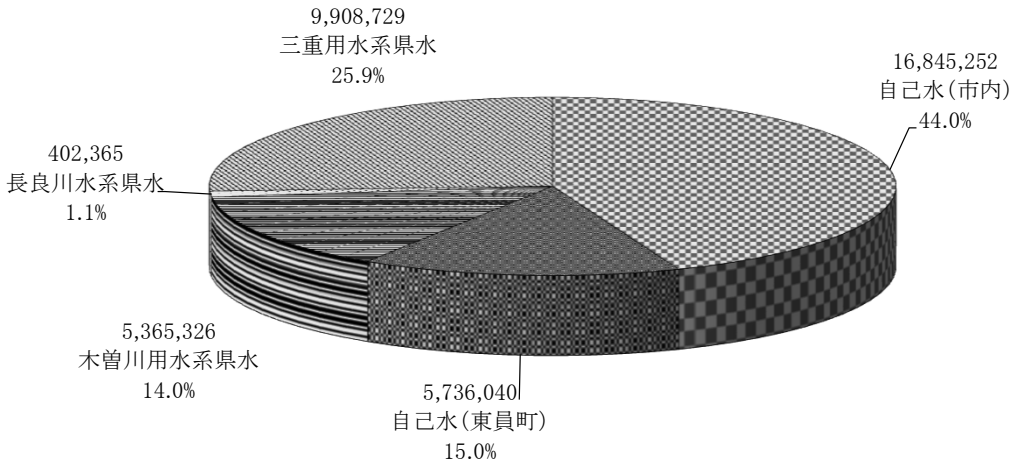
4. 配水量及び有収水量の月別状況図



5. 原水の構成割合

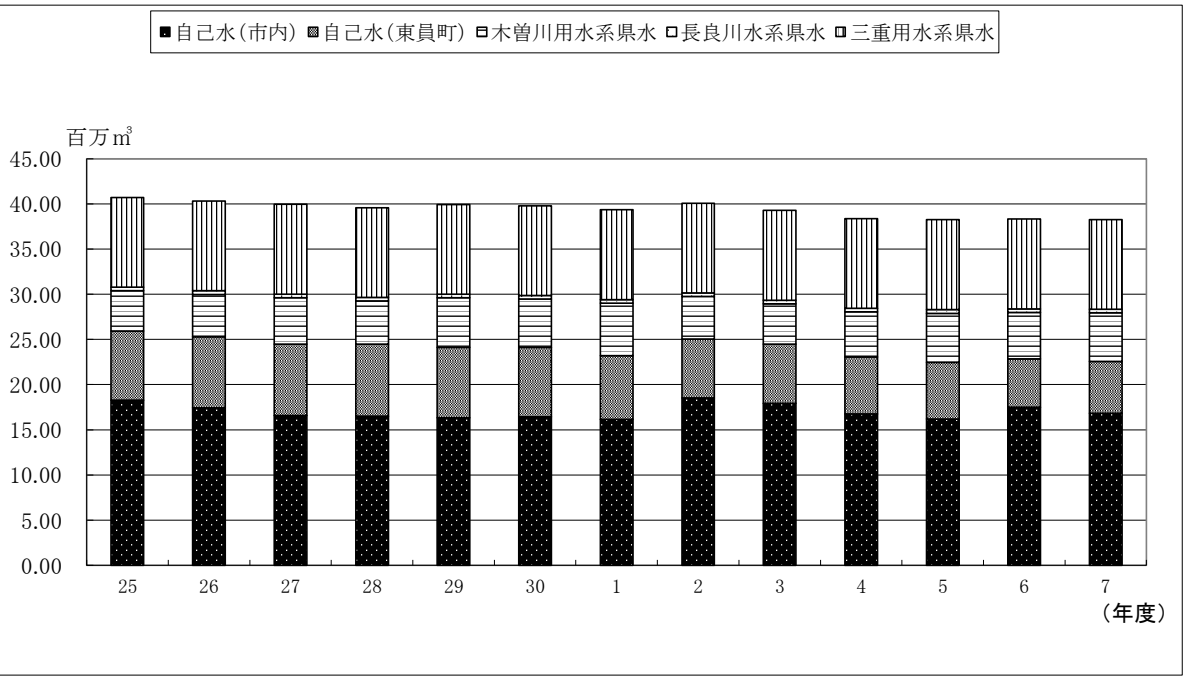
7年度

【単位m³】



自己水計	22,581,292 m³	59.0%			
県水計	15,676,420 m³	41.0%	総配水量	38,257,712	m³

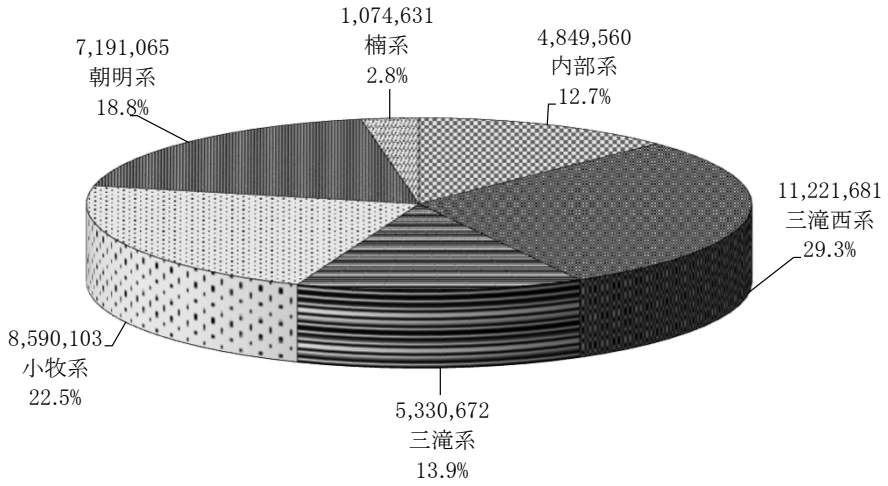
6. 原水構成の推移



7. 系統別配水量の構成割合

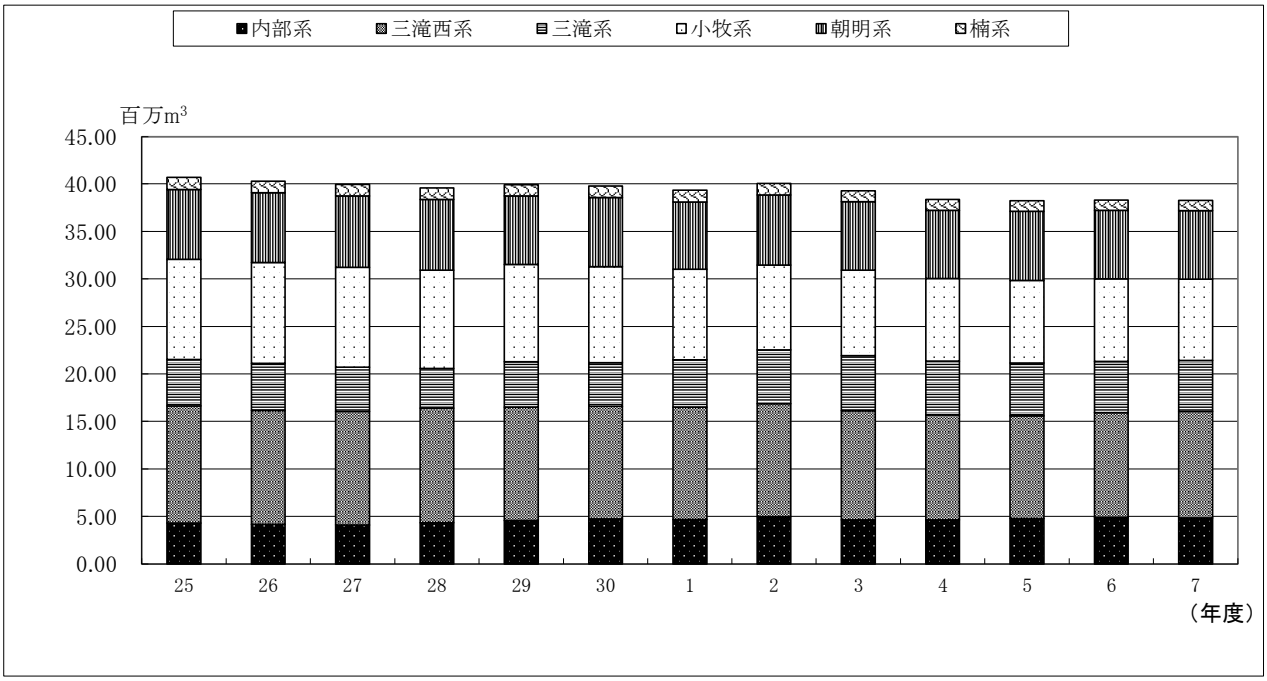
7年度

【単位m³】



総配水量　　38,257,712　　m^3

8. 系統別配水量構成の推移



9. 県営水道受水内訳

令和 7 年度 (単位:m3)

水源 / 月	木曽川用水系					長良川水系			三重用水系				県水受水
	朝明分水 (朝明配水池)	生桑分水 (生桑配水池)	山村分水 (山村配水池)	楠分水 (楠配水池)	計	北谷分水 (北谷配水池)	楠分水 (楠配水池)	計	谷町分水 (谷町配水池)	高岡分水 (高岡・北谷配水池)	桜分水 (鈴鹿山麓リサーチパーク)	計	総計
4	340,800	2,120	23,746	81,149	447,815	22,742	10,500	33,242	31,752	798,910	2,208	832,870	1,313,927
5	322,560	2,300	24,155	80,232	429,247	23,677	10,850	34,527	33,859	822,720	2,157	858,736	1,322,510
6	337,210	2,160	23,496	78,095	440,961	22,944	10,500	33,444	34,300	801,060	2,081	837,441	1,311,846
7	356,830	2,650	30,285	85,855	475,620	23,698	10,850	34,548	40,152	834,210	1,703	876,065	1,386,233
8	347,610	2,120	30,271	79,113	459,114	23,611	10,850	34,461	40,254	823,080	1,549	864,883	1,358,458
9	347,910	2,190	28,639	74,991	453,730	22,601	10,500	33,101	38,654	807,310	1,409	847,373	1,334,204
10	320,550	2,120	27,798	77,771	428,239	23,554	10,850	34,404	41,043	791,200	1,425	833,668	1,296,311
11	320,650	2,200	24,007	78,149	425,006	22,683	10,500	33,183	37,907	765,470	1,343	804,720	1,262,909
12	345,230	2,120	24,766	80,584	452,700	23,399	10,850	34,249	38,940	778,170	1,250	818,360	1,305,309
1	355,890	2,120	24,788	78,230	461,028	23,534	10,850	34,384	38,052	751,820	1,260	791,132	1,286,544
2	335,110	2,120	22,135	73,210	432,575	21,229	9,800	31,029	34,381	686,750	1,220	722,351	1,185,955
3	352,870	2,650	24,269	79,502	459,291	20,943	10,850	31,793	37,878	781,910	1,342	821,130	1,312,214
計	4,083,220	26,870	308,355	946,881	5,365,326	274,615	127,750	402,365	447,172	9,442,610	18,947	9,908,729	15,676,420
日平均	11,187	74	845	2,594	14,700	752	350	1,102	1,225	25,870	52	27,147	42,949
最大日	11月6日	5月7日	7月12日	7月11日		3月31日	4月1日		7月9日	7月3日	5月30日		
最大量	17,690	710	1,090	3,573		985	350		1,475	27,930	113		

10. 用途別有収水量

用途＼年度		令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		有収水量（㎥）	構成比（%）	対前年度比（%）	有収水量（㎥）	構成比（%）	対前年度比（%）	有収水量（㎥）	構成比（%）	対前年度比（%）
一般用	口径25㎜以下	29,278,083	85.74	97.58	29,078,218	85.63	99.32	28,826,376	85.59	99.13
	口径40㎜以上	4,960,490	14.10	97.67	4,993,568	14.20	100.67	5,022,014	14.28	100.57
	一般用小計	34,238,573	99.84	97.59	34,071,786	99.83	99.51	33,848,390	99.87	99.34
公衆浴場用		15,759	0.04	65.62	13,587	0.04	86.22	10,756	0.03	79.16
臨時用		930	0.00	159.25	640	0.00	68.82	924	0.00	144.38
船舶用		41,621	0.12	112.81	44,395	0.13	106.66	36,702	0.10	82.67
合計		34,296,883	100.00	97.59	34,130,408	100.00	99.51	33,896,772	100.00	99.32

11. 用途別給水収益

年度 / 用途		令和5年度 給水収益(円)	令和5年度 構成比(%)	令和5年度 対前年度比(%)	令和6年度 給水収益(円)	令和6年度 構成比(%)	令和6年度 対前年度比(%)	令和7年度 給水収益(円)	令和7年度 構成比(%)	令和7年度 対前年度比(%)
一般用	口径25㎜以下	5,077,318,654	72.84	97.89	5,058,280,605	72.83	99.63	5,024,066,866	72.87	99.32
一般用	口径40㎜以上	1,872,550,944	26.87	98.09	1,897,912,569	26.87	101.35	1,905,731,529	26.87	100.41
一般用	一般用小計	6,949,869,598	99.71	97.94	6,956,193,174	99.70	100.09	6,929,798,395	99.74	99.62
公衆浴場用		898,472	0.01	71.40	792,938	0.01	88.25	610,352	0.01	76.97
臨時用		754,090	0.01	142.84	549,457	0.01	72.86	786,017	0.01	143.05
船舶用		18,757,175	0.27	108.06	19,577,993	0.28	104.38	16,899,052	0.24	86.32
合計		6,970,279,335	100.00	97.97	6,977,113,562	100.00	100.10	6,948,093,816	100.00	99.58

12. 地区別の戸数・人口・有収水量

令和7年度末現在

区分 / 地区	行政(給水)区域内		給水		未給水		普及率	有収水量
	戸数(戸) (世帯数)	人口(人) (A)	給水戸数 (戸)	給水人口 (人)(B)	戸数 (戸)	人口 (人)	% B／A	(㎥)
中部	14,044	23,867	18,112	23,867			100.00%	3,592,998
富洲原	4,065	8,201	4,447	8,201			100.00%	1,019,234
富田	6,144	12,538	6,950	12,538			100.00%	1,349,874
羽津	8,782	18,092	9,845	18,090	1	2	99.99%	2,302,561
常磐	14,519	28,055	16,366	28,055			100.00%	2,895,104
日永	9,151	18,474	10,202	18,474			100.00%	2,289,611
四郷	11,143	22,437	11,201	22,437			100.00%	2,139,412
内部	7,896	18,175	8,077	18,175			100.00%	1,873,846
塩浜	3,218	5,708	3,792	5,708			100.00%	1,030,952
小山田	1,962	4,069	1,651	4,069			100.00%	452,854
川島	4,919	11,261	4,791	11,243	9	18	99.84%	1,077,456
神前	3,059	6,743	3,096	6,743			100.00%	693,924
桜	6,138	13,887	5,878	13,886	1	1	99.99%	1,382,954
三重	9,943	21,603	10,181	21,596	1	7	99.97%	2,177,885
県	2,834	6,624	2,763	6,621	2	3	99.95%	836,642
八郷	5,590	12,331	6,065	12,331			100.00%	1,256,391
下野	3,949	8,490	4,058	8,489	1	1	99.99%	812,403
大矢知	10,120	21,779	11,045	21,779			100.00%	2,022,190
河原田	2,424	5,001	2,821	5,001			100.00%	656,436
水沢	1,183	2,789	1,051	2,788	1	1	99.96%	328,504
保々	2,713	6,288	2,609	6,286	1	2	99.97%	677,385
海蔵	6,281	13,104	6,787	13,103	1	1	99.99%	1,336,560
橋北	2,712	5,098	3,188	5,098			100.00%	623,239
楠	5,028	10,122	5,294	10,122			100.00%	1,068,357
計	147,817	304,736	160,270	304,700	18	36	99.99%	33,896,772

13. 用途・口径別の給水戸数・栓数

令和7年度末現在　　（上段　単位:戸 ）
（下段　単位:栓 ）

用途＼口径		13㎜	20㎜	25㎜	40㎜	50㎜	75㎜	100㎜	150㎜	合計 戸数 栓数	合計 構成比 %
一般用	口径25㎜以下	35,402	119,669	3,607						158,678	98.99
		30,501	102,772	3,410	580	133	6	1	1	137,404	98.84
	口径40㎜以上				1,036	351	131	44	7	1,569	0.98
					1,036	351	131	44	7	1,569	1.13
公衆浴場用				1	1					2	0.01
				1	1					2	0.01
臨時用			4	3						7	0.01
			4	3						7	0.01
船舶用								12	2	14	0.01
								12	2	14	0.01
合計		35,402	119,673	3,611	1,037	351	131	56	9	160,270	100.00
		30,501	102,776	3,414	1,617	484	137	57	10	138,996	100.00
休止栓数		13,468	9,845	707	209	55	20	22	4	24,330	

14. 導・送・配水管布設延長

（単位：m）

口径＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
800mm	1,023.68	1,023.68	1,023.68
600mm	41,738.59	41,236.52	40,991.40
500mm	44,848.80	44,904.88	44,898.66
450mm	426.28	426.28	426.28
400mm	93,655.79	93,701.89	93,564.70
350mm	1,379.85	1,379.85	1,346.71
300mm	44,093.42	44,065.90	43,401.41
250mm	70,927.63	71,274.46	71,652.71
200mm	173,318.73	173,287.99	173,343.53
150mm	185,593.99	186,411.29	186,543.68
125mm	95.15	95.15	100.91
100mm	722,323.29	721,887.80	722,736.25
75mm	43,682.40	43,681.46	43,731.30
50mm	691,545.67	696,802.81	698,217.30
40mm	25,906.55	25,957.87	25,533.59
25mm以下	15,201.25	14,832.48	14,567.81
計	2,155,761.07	2,160,970.31	2,162,079.92

15. 水質検査実施数

分類	採水地点等	水質基準項目関係	水質管理目標設定項目関係	その他の項目関係	計
法定検査	給水栓	5,688	―	―	5,688
管理検査	給水栓	―	2,122	792	2,914
	配水池	1,980	405	240	2,625
	水源地	692	738	88	1,518
	井戸	3,132	472	714	4,318
	河川	―	―	744	744
依頼検査	苦情・相談	682	29	29	740
	漏水関係	―	―	1,840	1,840
その他の検査(工事・精度管理等)		1,301	203	71	1,575
計		13,475	3,969	4,518	21,962

16. 給水栓(各配水区域の代表地点)の水質検査結果(その1)

水質基準項目	基準値	富洲園公園(朝明配水池)			橋北地区市民センター(あがた配水池)		
		最 大	最 小	平 均	最 大	最 小	平 均
水温(℃)		29.5	10.5	19.6	29.5	13.1	20.3
一般細菌(1mL中)	100個以下	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	<1.0	<1.0	<1.0	1.3	<1.0	<1.0
フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.13	0.10	0.12	0.11	0.10	0.10
ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.01	0.01
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.12	<0.06	0.07	0.10	<0.06	<0.06
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.016	0.003	0.008	0.002	<0.001	<0.001
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
臭素酸	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.020	0.006	0.012	0.004	<0.001	0.001
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.008	0.004	0.006	<0.002	<0.002	<0.002
ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.004	0.002	0.003	0.001	<0.001	<0.001
ブロモホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.04	0.01	0.03	<0.01	<0.01	<0.01
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	10.5	6.7	7.9	8.2	7.4	7.8
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン	200mg/L以下	8.5	5.7	6.7	12.5	5.5	7.7
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	32	27	31	67	60	64
蒸発残留物	500mg/L以下	86	55	69	127	102	112
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.000003	<0.000001	0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.8	0.5	0.6	0.2	0.2	0.2
pH値	5.8以上8.6以下	7.4	7.0	7.2	7.0	6.8	6.8
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
残留塩素 (施行規則)	0.1mg/L以上	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4

＊ 水質検査結果の表中の『<』については、『未満』を示す。

給水栓(各配水区域の代表地点)の水質検査結果(その2)

水質基準項目	基準値	曙東公園(生桑配水池)			高見台2号公園(一生吹配水池)		
		最 大	最 小	平 均	最 大	最 小	平 均
水温(℃)		30.2	13.5	21.4	29.5	11.3	20.2
一般細菌(1mL中)	100個以下	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	2.7	1.1	1.8	<1.0	<1.0	<1.0
フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.10	0.09	0.10	<0.08	<0.08	<0.08
ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.03	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.06	<0.06	<0.06	0.11	<0.06	<0.06
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	0.010	0.004	0.007
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.003	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002
臭素酸	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.007	0.001	0.004	0.016	0.008	0.012
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	0.004	0.003	0.003
ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	0.004	0.003	0.004
ブロモホルム	0.09mg/L以下	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	12.9	7.6	9.9	5.8	5.1	5.5
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン	200mg/L以下	12.3	6.7	9.0	6.4	5.7	6.0
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	64	57	61	56	42	47
蒸発残留物	500mg/L以下	132	101	116	85	77	82
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000002	<0.000001	<0.000001
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.5
pH値	5.8以上8.6以下	7.3	6.8	7.1	7.4	7.1	7.3
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
残留塩素 (施行規則)	0.1mg/L以上	0.4	0.3	0.3	0.4	0.2	0.3

＊ 水質検査結果の表中の『<』については、『未満』を示す。

給水栓(各配水区域の代表地点)の水質検査結果(その3)

水質基準項目		河原田地区市民センター(山ノ手配水池)			楠交流会館(楠配水池)		
	基準値	最 大	最 小	平 均	最 大	最 小	平 均
水温(℃)		30.3	13.0	20.0	29.1	9.0	19.0
一般細菌(1mL中)	100個以下	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	3.0	2.6	2.8	<1.0	<1.0	<1.0
フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.09	<0.08	<0.08	0.11	0.10	0.11
ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	0.02	0.02	0.02	0.03	<0.01	0.02
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.07	<0.06	<0.06	0.14	<0.06	0.09
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.002	<0.001	<0.001	0.025	0.005	0.015
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	<0.002
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.002	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
臭素酸	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.006	<0.001	0.002	0.030	0.008	0.020
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	0.012	0.006	0.009
ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	0.005	0.003	0.004
ブロモホルム	0.09mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.01	0.03
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	11.5	10.9	11.2	10.2	6.8	7.9
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン	200mg/L以下	18.5	12.5	15.1	8.7	5.5	7.0
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	70	56	65	29	19	24
蒸発残留物	500mg/L以下	166	101	133	61	49	56
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	0.000003	0.000001	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.3	0.2	0.2	0.8	0.5	0.7
pH値	5.8以上8.6以下	7.3	6.9	7.1	7.6	7.3	7.4
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
残留塩素 (施行規則)	0.1mg/L以上	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.3

＊ 水質検査結果の表中の『<』については、『未満』を示す。

給水栓(各配水区域の代表地点)の水質検査結果(その4)

水質基準項目	基準値	采女が丘2号公園(高岡配水池)			伊坂台4号公園(山村配水池)		
		最 大	最 小	平 均	最 大	最 小	平 均
水温(℃)		31.0	9.0	19.9	31.6	8.6	19.3
一般細菌(1mL中)	100個以下	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	<0.08	<0.08	<0.08	0.11	0.09	0.10
ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.03	<0.01	0.02
四塩化炭素	0.002mg/L以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩素酸	0.6mg/L以下	0.12	<0.06	<0.06	0.11	<0.06	0.06
クロロ酢酸	0.02mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム	0.06mg/L以下	0.017	0.005	0.009	0.024	0.004	0.013
ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	<0.002	<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002
ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001
臭素酸	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.023	0.008	0.014	0.029	0.008	0.017
トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.007	0.003	0.005	0.012	0.005	0.008
ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.005	0.003	0.004	0.005	0.003	0.004
ブロモホルム	0.09mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.07	0.01	0.04	0.06	0.02	0.04
鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
銅及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	4.5	3.9	4.1	10.7	7.0	8.0
マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン	200mg/L以下	6.6	5.7	6.1	8.9	5.5	6.9
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	42	36	40	29	20	24
蒸発残留物	500mg/L以下	70	55	64	74	44	58
陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.000003	<0.000001	0.000002	0.000003	0.000002	0.000002
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下	0.7	0.5	0.6	0.9	0.5	0.7
pH値	5.8以上8.6以下	7.6	7.4	7.5	7.6	7.3	7.4
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度	2度以下	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
残留塩素 (施行規則)	0.1mg/L以上	0.4	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3

＊ 水質検査結果の表中の『<』については、『未満』を示す。

第３章　財務

１．比較損益計算書

科目＼年度		令和５年度			令和６年度			令和７年度		
		金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）
収益	**営業収益**	**6,783,545,407**	**92.28**	**97.76**	**6,660,059,419**	**92.28**	**98.18**	**6,595,393,965**	**91.71**	**99.03**
	給水収益	6,336,617,578	86.20	97.97	6,343,199,504	87.89	100.10	6,315,783,536	87.82	99.57
	受託工事収益	255,914,200	3.48	99.64	152,401,300	2.11	59.55	132,377,800	1.84	86.86
	その他営業収益	191,013,629	2.60	89.28	164,458,615	2.28	86.10	147,232,629	2.05	89.53
	営業外収益	**567,071,071**	**7.72**	**105.76**	**556,386,083**	**7.71**	**98.12**	**596,025,214**	**8.29**	**107.12**
	受取利息及び配当金	2,803,563	0.04	160.47	3,035,981	0.04	108.29	2,365,849	0.03	77.93
	他会計補助金	0	0.00	－	2,995,000	0.04	－	3,482,000	0.05	116.26
	長期前受金戻入	235,710,456	3.21	101.99	243,451,511	3.37	103.28	272,064,414	3.78	111.75
	貸倒引当金戻入額	48,889,194	0.67	107.39	32,026,336	0.45	65.51	43,720,059	0.61	136.51
	雑収益	279,667,858	3.80	108.48	274,877,255	3.81	98.29	274,392,892	3.82	99.82
	特別利益	**72,116**	**0.00**	**1,102.19**	**1,058,010**	**0.01**	**1,467.09**	**48,500**	**0.00**	**4.58**
	固定資産売却益	0	0.00	－	1,021,770	0.01	－	0	0.00	0.00
	過年度損益修正益	52,016	0.00	794.99	36,240	0.00	69.67	0	0.00	0.00
	その他特別利益	20,100	0.00	－	0	0.00	0.00	48,500	0.00	－
	合計	**7,350,688,594**	**100.00**	**98.33**	**7,217,503,512**	**100.00**	**98.19**	**7,191,467,679**	**100.00**	**99.64**
費用	**営業費用**	**6,612,673,412**	**96.19**	**101.21**	**6,366,484,330**	**96.74**	**96.28**	**6,283,024,001**	**94.92**	**98.69**
	原水及び浄水費	2,583,191,389	37.58	98.70	2,595,174,580	39.44	100.46	2,543,395,815	38.42	98.00
	配水及び給水費	1,096,041,338	15.94	95.89	972,026,039	14.77	88.69	1,007,177,113	15.22	103.62
	受託工事費	260,089,099	3.78	99.56	154,654,360	2.35	59.46	137,230,859	2.07	88.73
	業務費	403,491,003	5.87	122.08	324,224,976	4.93	80.35	326,158,930	4.93	100.60
	総係費	401,965,009	5.85	111.26	426,937,646	6.49	106.21	334,246,969	5.05	78.29
	減価償却費	1,855,782,224	26.99	102.90	1,881,275,561	28.58	101.37	1,904,174,321	28.77	101.22
	資産減耗費	12,113,350	0.18	71.21	12,191,168	0.18	100.64	30,639,994	0.46	251.33
	営業外費用	**245,046,024**	**3.57**	**94.14**	**212,262,666**	**3.23**	**86.62**	**332,221,455**	**5.02**	**156.51**
	支払利息及び企業債取扱諸費	176,997,424	2.58	92.30	164,528,716	2.50	92.96	172,139,522	2.60	104.63
	雑支出	68,048,600	0.99	99.30	47,733,950	0.73	70.15	160,081,933	2.42	335.36
	特別損失	**16,771,380**	**0.24**	**489.42**	**1,677,699**	**0.03**	**10.00**	**4,125,503**	**0.06**	**245.90**
	固定資産売却損	0	0.00	－	0	0.00	－	0	0.00	－
	過年度損益修正損	16,771,380	0.24	489.42	1,677,699	0.03	10.00	4,125,503	0.06	245.90
	合計	**6,874,490,816**	**100.00**	**101.13**	**6,580,424,695**	**100.00**	**95.72**	**6,619,370,959**	**100.00**	**100.59**
当年度純利益		**476,197,778**	**－**	**－**	**637,078,817**	**－**	**－**	**572,096,720**	**－**	**－**

２．比較貸借対照表

科目＼年度	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）
固定資産	**44,890,045,465**	**91.48**	**101.70**	**46,032,565,000**	**91.95**	**102.55**	**48,390,488,877**	**90.77**	**105.12**
有形固定資産	43,889,679,265	89.44	101.74	45,032,198,800	89.95	102.60	47,390,122,677	88.89	105.24
土地	1,722,360,870	3.51	103.37	1,723,969,260	3.44	100.09	1,723,969,260	3.23	100.00
建物	775,758,389	1.58	92.93	743,789,150	1.49	95.88	685,861,572	1.29	92.21
構築物	36,323,341,584	74.02	101.43	37,137,602,784	74.18	102.24	37,883,180,597	71.06	102.01
機械及び装置	3,829,745,419	7.81	95.03	3,622,999,640	7.24	94.60	3,668,078,121	6.88	101.24
車両運搬具	26,929,583	0.05	187.90	21,337,035	0.04	79.23	16,603,191	0.03	77.81
工具器具及び備品	84,261,785	0.17	88.56	71,111,188	0.14	84.39	60,653,854	0.11	85.29
建設仮勘定	1,127,281,635	2.30	164.39	1,711,389,743	3.42	151.82	3,351,776,082	6.29	195.85
無形固定資産	3,746,200	0.01	100.00	3,746,200	0.01	100.00	3,746,200	0.01	100.00
電話加入権	3,746,200	0.01	100.00	3,746,200	0.01	100.00	3,746,200	0.01	100.00
投資その他の資産	996,620,000	2.03	100.00	996,620,000	1.99	100.00	996,620,000	1.87	100.00
投資有価証券	996,620,000	2.03	100.00	996,620,000	1.99	100.00	996,620,000	1.87	100.00
流動資産	**4,181,372,348**	**8.52**	**106.83**	**4,027,574,039**	**8.05**	**96.32**	**4,920,919,628**	**9.23**	**122.18**
現金預金	2,654,677,241	5.41	104.33	2,860,290,687	5.71	107.75	3,460,576,439	6.49	120.99
未収金	1,126,317,731	2.22	104.82	893,001,262	1.70	79.29	893,366,065	1.63	100.04
貸倒引当金	△ 39,000,000		73.58	△ 44,000,000		112.82	△ 24,000,000		54.55
貯蔵品	89,523,986	0.18	113.14	93,202,090	0.19	104.11	107,397,124	0.20	115.23
前払金	349,853,390	0.71	130.13	225,080,000	0.45	64.34	483,580,000	0.91	214.85
資産合計	**49,071,417,813**	**100.00**	**102.12**	**50,060,139,039**	**100.00**	**102.01**	**53,311,408,505**	**100.00**	**106.49**

科目＼年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）
固定負債	**11,445,263,911**	**23.32**	**99.11**	**11,955,174,736**	**23.88**	**104.46**	**12,864,373,842**	**24.13**	**107.61**
企業債	10,428,419,456	21.25	98.61	10,901,139,111	21.77	104.53	11,819,503,111	22.17	108.42
引当金	1,016,844,455	2.07	104.56	1,054,035,625	2.11	103.66	1,044,870,731	1.96	99.13
退職給付引当金	928,204,714	1.89	105.02	965,395,884	1.93	104.01	956,230,990	1.79	99.05
修繕引当金	88,639,741	0.18	100.00	88,639,741	0.18	100.00	88,639,741	0.17	100.00
流動負債	**2,610,257,151**	**5.32**	**123.35**	**2,459,167,565**	**4.91**	**94.21**	**3,002,082,159**	**5.63**	**122.08**
企業債	920,139,683	1.88	96.20	865,980,345	1.73	94.11	833,836,000	1.56	96.29
未払金	1,503,505,024	3.06	148.10	1,380,792,729	2.76	91.84	2,052,574,713	3.85	148.65
引当金	61,839,000	0.13	102.71	67,246,000	0.13	108.74	69,414,000	0.13	103.22
賞与引当金	61,839,000	0.13	102.71	67,246,000	0.13	108.74	69,414,000	0.13	103.22
その他流動負債	124,773,444	0.25	147.93	145,148,491	0.29	116.33	46,257,446	0.09	31.87
繰延収益	**6,024,901,707**	**12.28**	**102.00**	**6,016,114,487**	**12.02**	**99.85**	**7,243,173,533**	**13.59**	**120.40**
長期前受金	6,024,901,707	12.28	102.00	6,016,114,487	12.02	99.85	7,243,173,533	13.59	120.40
受贈財産評価額	780,428,380	1.59	94.91	740,973,219	1.48	94.94	701,904,865	1.32	94.73
国庫（県）補助金	457,337,000	0.93	96.27	452,635,600	0.90	98.97	760,801,374	1.43	168.08
他会計負担金	310,928,787	0.64	98.38	326,185,314	0.66	104.91	322,458,392	0.60	98.86
他会計補助金	40,236,240	0.08	122.98	65,359,309	0.13	162.44	702,768,679	1.32	1,075.24
工事負担金	4,435,971,300	9.04	104.12	4,430,961,045	8.85	99.89	4,755,240,223	8.92	107.32
負債合計	**20,080,422,769**	**40.92**	**102.61**	**20,430,456,788**	**40.81**	**101.74**	**23,109,629,534**	**43.35**	**113.11**
資本金	**26,603,916,638**	**54.21**	**103.57**	**27,387,477,410**	**54.71**	**102.95**	**28,118,615,458**	**52.74**	**102.67**
自己資本金	26,603,916,638	54.21	103.57	27,387,477,410	54.71	102.95	28,118,615,458	52.74	102.67
剰余金	**2,387,078,406**	**4.87**	**85.39**	**2,242,204,841**	**4.48**	**93.93**	**2,083,163,513**	**3.91**	**92.91**
資本剰余金	129,107,209	0.27	133.76	130,715,599	0.26	101.25	130,715,599	0.24	100.00
受贈財産評価額	96,520,323	0.20	100.00	98,128,713	0.19	101.67	98,128,713	0.18	100.00
国庫補助金	8,981,000	0.02	－	8,981,000	0.02	100.00	8,981,000	0.02	100.00
他会計補助金	23,605,886	0.05	－	23,605,886	0.05	100.00	23,605,886	0.04	100.00
利益剰余金	2,257,971,197	4.60	83.66	2,111,489,242	4.22	93.51	1,952,447,914	3.67	92.47
建設改良積立金	998,212,647	2.03	90.42	743,272,377	1.49	74.46	743,272,377	1.40	100.00
当年度末処分利益剰余金	1,259,758,550	2.57	78.98	1,368,216,865	2.73	108.61	1,209,175,537	2.27	88.38
資本合計	**28,990,995,044**	**59.08**	**101.79**	**29,629,682,251**	**59.19**	**102.20**	**30,201,778,971**	**56.65**	**101.93**
負債資本合計	**49,071,417,813**	**100.00**	**102.12**	**50,060,139,039**	**100.00**	**102.01**	**53,311,408,505**	**100.00**	**106.49**

3. 事業費用分析表

（税抜き）

区分＼年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		支出額	構成比	支出額	構成比	支出額	構成比
		円	%	円	%	円	%
人件費	給料・手当等	588,536,770	8.56	551,581,812	8.38	567,323,176	8.57
	法定福利費	127,143,392	1.85	118,493,437	1.80	122,741,130	1.86
	賞与引当金繰入額	48,079,000	0.70	49,367,000	0.75	51,204,000	0.77
	退職給付引当金繰入額	60,121,000	0.87	86,711,000	1.32	0	0.00
	小計	823,880,162	11.98	806,153,249	12.25	741,268,306	11.20
支払利息		176,997,424	2.57	164,528,716	2.50	172,139,522	2.60
減価償却費		1,855,782,224	27.00	1,881,275,561	28.59	1,904,174,321	28.77
動力費		224,349,823	3.27	234,997,938	3.57	237,643,370	3.59
受水費		1,837,710,221	26.73	1,822,438,266	27.70	1,835,955,861	27.74
修繕費		242,894,983	3.53	236,011,934	3.59	216,752,640	3.27
材料費		34,940,797	0.51	45,045,105	0.68	41,819,220	0.63
薬品費		11,902,670	0.17	11,668,470	0.18	11,761,206	0.18
路面復旧費		6,104,500	0.09	8,650,000	0.13	7,902,500	0.12
委託料		901,627,433	13.12	828,436,998	12.59	834,981,939	12.61
工事請負費		393,700,000	5.73	228,429,999	3.47	196,394,091	2.97
その他		364,600,579	5.30	312,788,459	4.75	418,577,983	6.32
合計		6,874,490,816	100.00	6,580,424,695	100.00	6,619,370,959	100.00

4. 比較資本的収支計算書

（税込み）

科目＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	円	円	円
企業債	773,400,000	1,338,700,000	1,752,200,000
他会計負担金	12,959,870	32,841,490	13,322,760
他会計補助金	32,482,886	28,340,000	640,265,000
国庫補助金	8,981,000	14,246,000	358,333,000
固定資産売却代金	0	581,492	0
工事負担金	332,223,400	157,877,892	487,202,700
収入合計	1,160,047,156	1,572,586,874	3,251,323,460
建設改良費	2,855,243,671	3,309,937,715	4,694,445,168
償還金	956,466,128	920,139,683	865,980,345
支出合計	3,811,709,799	4,230,077,398	5,560,425,513
差引収支	△ 2,651,662,643	△ 2,657,490,524	△ 2,309,102,053

5. 企業債の概況

令和8年3月31日現在

借入先	種類	未償還残高	構成比
		円	%
財務省	政府債	1,557,813,400	12.31
地方公共団体金融機構	機構債	9,298,025,711	73.48
市中銀行等	民間等資金	1,797,500,000	14.21
合計		12,653,339,111	100.00

６．財務分析表

Ａ　資産及び資本構成比率

項目		算出方法	7年度算式（単位：千円）	比率（%） 5年度	6年度	7年度
1	固定資産構成比率	固定資産 / 固定資産＋流動資産 ×100	48,390,489 / 53,311,409 ×１００	91.48	91.95	90.77
2	固定負債構成比率	固定負債 / 負債資本合計 ×100	12,864,374 / 53,311,409 ×１００	23.32	23.88	24.13
3	自己資本構成比率	資本金＋剰余金＋繰延収益 / 負債資本合計 ×100	37,444,953 / 53,311,409 ×１００	71.36	71.21	70.24
4	固定比率	固定資産 / 資本金＋剰余金＋繰延収益 ×100	48,390,489 / 37,444,953 ×１００	128.20	129.14	129.23

Ｂ　回転率

（注）自己資本 ＝ 資本金 ＋ 剰余金 ＋ 繰延収益

項目		算出方法	7年度算式（単位：千円）	比率 5年度	6年度	7年度
5	自己資本回転率	営業収益 － 受託工事収益 / (期首自己資本 ＋ 期末自己資本)/2	6,463,016 / (73,090,749)/2	0.19	0.18	0.18
6	固定資産回転率	営業収益 － 受託工事収益 / (期首固定資産 ＋ 期末固定資産)/2	6,463,016 / (94,423,054)/2	0.15	0.14	0.14

Ｃ　損益に関する比率

（注）総資本 ＝ 負債・資本合計

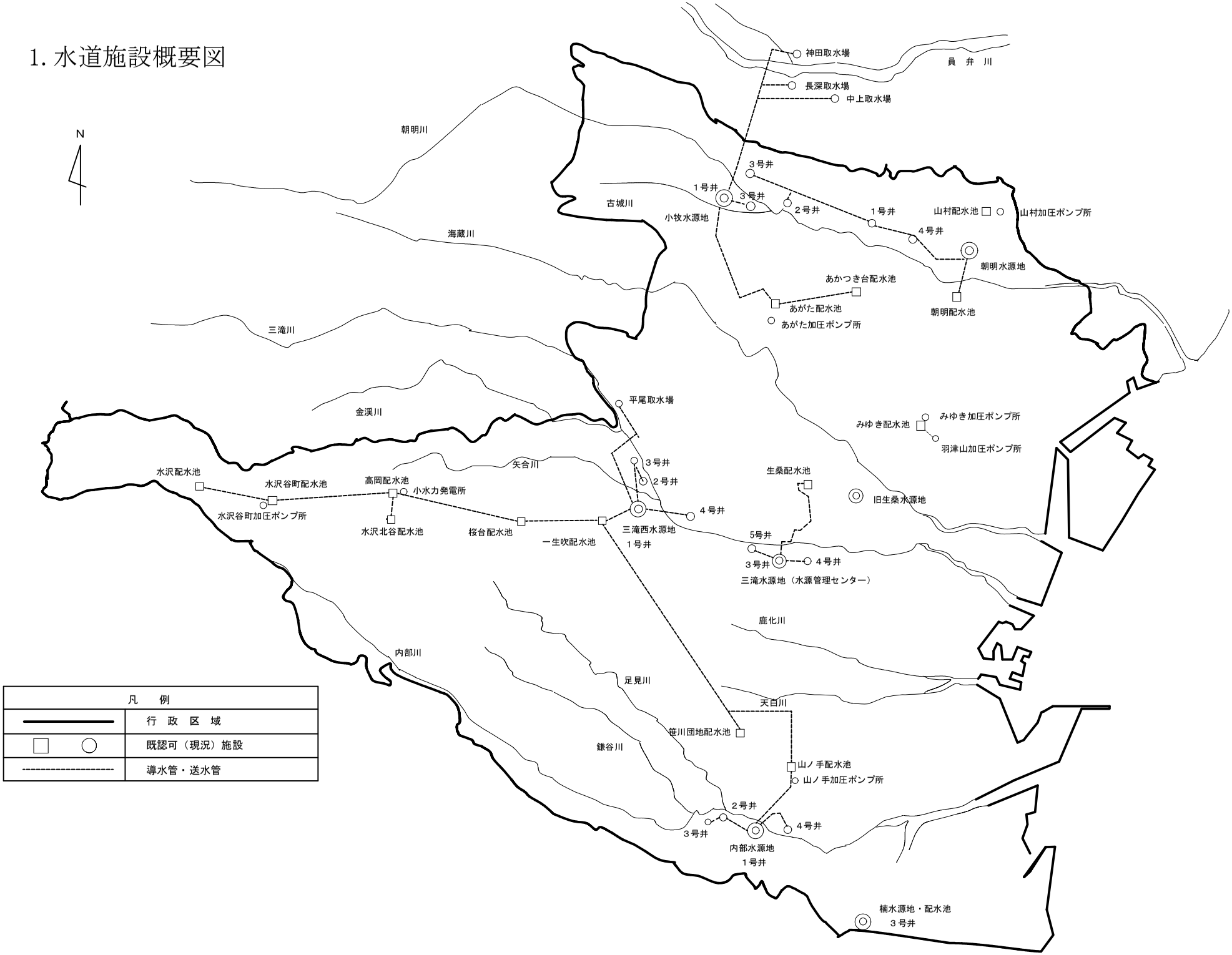
項目		算出方法	7年度算式（単位：千円）	比率（%） 5年度	6年度	7年度
7	総資本利益率	当年度純利益 / (期首総資本＋期末総資本)/2 ×100	572,097 / (103,371,548)/2 ×１００	0.98	1.29	1.11
8	総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	7,191,468 / 6,619,371 ×１００	106.93	109.68	108.64
9	経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	7,191,419 / 6,615,245 ×１００	107.19	109.69	108.71
10	営業収支比率	営業収益－受託工事収益 / 営業費用－受託工事費用 ×100	6,463,016 / 6,145,793 ×１００	102.76	104.76	105.16

7．経営分析表

項目		算出方法	7年度算式	比率		
				5年度	6年度	7年度
1	負荷率（％）	1日平均配水量 / 1日最大配水量 ×100	104,816 / 112,836 ×１００	92.16	91.08	92.89
2	施設利用率（％）	1日平均配水量 / 1日配水能力 ×100	104,816 / 158,387 ×１００	65.36	66.03	66.18
3	最大稼働率（％）	1日最大配水量 / 1日配水能力 ×100	112,836 / 158,387 ×１００	70.92	72.49	71.24
4	供給単価（１㎥当たり円）	給水収益 / 年間総有収水量	6,315,783,536（円） / 33,896,772（㎥）	184.76	185.85	186.32
5	給水原価（１㎥当たり円）	〔経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費）－長期前受金戻入見合いの減価償却費等〕 / 年間総有収水量	6,205,950,183（円） / 33,896,772（㎥）	185.50	181.09	183.08
6	有収率（％）	年間総有収水量 / 年間総配水量 ×100	33,896,772 / 38,257,712 ×１００	89.69	89.09	88.60

第４章　施設

1. 水道施設概要図


N
神田取水場
長深取水場
中上取水場
員弁川
朝明川
古城川
海蔵川
三滝川
金渓川
矢合川
内部川
足見川
鎌谷川
鹿化川
天白川
1号井
2号井
3号井
4号井
小牧水源地
山村配水池
山村加圧ポンプ所
朝明水源地
あかつき台配水池
あがた配水池
あがた加圧ポンプ所
朝明配水池
平尾取水場
みゆき配水池
みゆき加圧ポンプ所
羽津山加圧ポンプ所
水沢配水池
水沢谷町配水池
水沢谷町加圧ポンプ所
高岡配水池
小水力発電所
水沢北谷配水池
桜台配水池
一生吹配水池
三滝西水源地
生桑配水池
旧生桑水源地
5号井
三滝水源地（水源管理センター）
笹川団地配水池
山ノ手配水池
山ノ手加圧ポンプ所
内部水源地
楠水源地・配水池
凡　例
行　政　区　域
既認可（現況）施設
導水管・送水管

2. 水源施設

※送水･消毒設備　5箇所
三滝水源地・三滝西水源地・内部水源地・朝明水源地・小牧水源地
※配水･消毒設備　1箇所
楠水源地

3. 水源地別取水井戸内訳

水　源　名	井戸数 (井)	取水施設 (箇所)	取 水 井 戸 内 訳
三 滝 水 源 地	9	3	1号井－1井、2号井－2井 3号井－1井、4号井－3井 5号井－2井
三 滝 西 水 源 地	8	5	1号井－1井、2号井－2井 3号井－2井、4号井－1井 平尾取水場－2井
内 部 水 源 地	9	4	1号井－3井、2号井－3井 3号井－2井、4号井－1井
朝 明 水 源 地	10	4	1号井－3井、2号井－2井 3号井－3井、4号井－2井
小 牧 水 源 地	9	5	1号井－3井 3号井－1井 神田取水場－1井 長深取水場－2井 中上取水場－2井
楠 水 源 地	1	1	3号井－1井
計	46	22	

令和8年3月31日現在

		所在地	用地面積	施設概要			
三滝水源系	三滝水源地	尾平町 字高柳248	8,317.41m^2 (G･L＋15.7m)	竣工	水源地昭和37年3月30日、管理センター昭和57年11月20日		
				管理棟	鉄筋コンクリート造二階建	25.00m×25.00m　600m^2	1棟
				会議室	鉄骨構造	14.30m×10.0m　143m^2	1棟
				ポンプ室	鉄筋コンクリート造	17.45m×11.45m　200m^2	1棟
				接合井	有効容量550m^3	L･W･L＋15.15mH･W･L＋20.25m	
				取水井	鋼管ケーシング造　浅井戸	口径0.35m×深さ20.0m(1号井)	1井
					鋼管ケーシング造　浅井戸	口径 0.6m×深さ18.0m (2号井)	2井
					鉄筋コンクリート造　浅井戸	内径6.0m×深さ11.0m (3号井)	1井
					サイホン導入管	口径 0.3m×長さ173.0m	1式
				消毒室	鉄筋コンクリート造	10.5m×7.0m　73.5m^2	1棟
				電気室	(管理棟1階)	15.0m×10.0m　150m^2	
				発電機室	(管理棟1階)	10.0m×10.0m　100m^2	
				消石灰注入設備	鉄骨構造	11.45m×11.1m　127.1m^2	1棟
				消石灰沈降槽	ｽﾃﾝﾚｽ造	内法6.0m×3.0m×深さ6.0m	
					有効容量100m3	L･W･L＋22.70mH･W･L＋17.37m	1池
	生桑配水池	生桑町 字大峡1842	17,590m^2 (G･L＋55.5m)	竣工	昭和7年3月31日(水道事業創設期)		
					2号配水池平成21年7月31日、3号配水池昭和49年3月30日		
				1号配水池	鉄筋構造	廃止	
				2号配水池	プレストレストコンクリート造	L･W･L　＋53.45m　H･W･L　＋60.00m	
					内径39.50m　有効水深6.55m	有効容量8,015m^3	
				3号配水池	プレストレストコンクリート造	L･W･L　＋53.45m　H･W･L　＋60.00m	
					内径45.00m　有効水深6.55m	有効容量10,000m^3	
				遮断弁室	鉄筋コンクリート造	5.50m×3.30m　延べ32.50m^2	1棟
				電気室	鉄筋コンクリート一部ブロック造	5.05m×6.55m　33.07m^2	1棟
	三滝4号井	大字大井手 東浦287	1,507m^2 (G･L＋14.31m)	竣工	昭和38年3月30日		
				取水井	鉄筋コンクリート造　浅井戸	内径3.0m×深さ10.0m	1井
					鋼管ケーシング造　浅井戸	口径 0.6m×深さ20.0m	2井
					集水管	口径 0.6m×長さ12.0m	
				ポンプ室	鉄筋コンクリート一部ブロック造	7.40m×5.40m　39.96m^2	1棟
	三滝5号井	小生町 字流46	1,219m^2 (G･L＋20.03m)	竣工	昭和41年2月7日		
				取水井	鉄筋コンクリート造　浅井戸	内径5.0m×深さ10.0m	1井
					鋼管ケーシング造　浅井戸	口径 0.4m×深さ13.3m	1井
				ポンプ室	鉄筋コンクリート一部ブロック造	7.40m×5.40m　39.96m^2	1棟

		所在地	用地面積	施設概要			
三滝水源系	みゆき配水池	垂坂町 字萱337の5 337の6	2,316m^2 (G･L＋63.04m)	竣工 1号配水池 2号配水池	1号配水池昭和 37年7月31日、2号配水池昭和47年3月31日 プレストレストコンクリート造　L･W･L＋64.03mH･W･L＋68.03m 内径13.00m　有効水深4.00m　有効容量530m^3　1池 プレストレストコンクリート造　L･W･L＋60.03mH･W･L＋68.03m 内径12.00m　有効水深8.00m　有効容量910m^3　1池		
	みゆき加圧ポンプ所	垂坂町 字萱337の6		竣工 ポンプ室 圧力タンク設備	昭和58年2月15日 コンクリートブロック造　3.85m×4.55m　17.51m^2　1棟 1,750φ×3,531ℓ×6t　7.89m^3　2基		
	羽津山加圧ポンプ所	緑丘町3506の2	299.94m^2	竣工 ポンプ室	平成18年7月21日 鉄筋コンクリート造　7.7m×7.6m　58.52m^2　1棟		
	旧生桑水源地	生桑町 字川原崎244	14,441m^2 (G･L＋7.94m) 北側9,791m^2 南側4,650m^2	竣工	昭和7年3月31日 鉄筋コンクリート造　181.81m^2　1棟		
三滝西水源系	三滝西水源地	高角町 字矢合2678	4,115m^2 (G･L＋27.6m)	竣工 取水井 接合井 ポンプ室 直流電源室 コンプレッサー室 消石灰注入設備 消石灰沈降槽 消毒室	昭和45年3月30日、2号接合井平成12年3月24日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径5.0m×深さ10.0m　(1号井)　1井 鉄筋コンクリート造　内法11.2m×11.7m×深さ3.2m　1井 有効容量400m^3×2槽＝800m^3　L･W･L＋27.60m　H･W･L＋30.80m 鉄筋コンクリート造一部二階建　28.00m×11.00m　延べ518.64m^2　1棟 鉄筋コンクリート造平屋建(増築分)　4.80m×11.47m　55.05m^2　1棟 鉄筋コンクリート造　5.00m×10.00m　50m^2　1棟 鉄筋コンクリート一部ブロック造　10.25m×3.75m　38.43m^2　1棟 鉄骨構造　11.0m×7.0m　延べ84.17m^2　1棟 鉄筋コンクリート造　内法12.0m×8.0m×深さ3.7m 有効容量330m^3　L･W･L＋27.60mH･W･L＋30.80m　1井 鉄筋コンクリート造　10.3m×5.3m　54.9m^2　1棟		
	一生吹配水池	智積町字一生吹 4712の2	7,217m^2 (G･L＋109.0m)	竣工 1号配水池 2号配水池 受水弁室	1号配水池昭和 45年3月31日、2号配水池昭和54年12月21日、受水弁室昭和54年10月6日 鉄筋コンクリート造　L･W･L＋108.0mH･W･L＋113.5m 内法28.00m×40.00m×有効水深5.50m　有効容量6,000m^3　1池 鉄筋コンクリート造　L･W･L＋108.0mH･W･L＋113.5m 内法27.00m×40.5m×有効水深5.50m　有効容量6,000m^3　1池 用途変更平成6年6月 鉄筋コンクリート造　20.0m×8.0m　延べ189.0m^2　1棟		

		所在地	用地面積	施設概要			
三滝西水源系	高岡配水池	桜町字二の高丘 7866の27	4,672.77m^2 (G･L＋155.0m)	竣工 1号配水池 2号配水池 電気室 小水力発電所	1号配水池昭和 55年11月25日、2号配水池平成4年3月25日 鉄筋コンクリート造　L･W･L＋152.0mH･W･L＋157.5m 内法27.00m×40.50m×有効水深5.50m　有効容量6,000m^3 鉄筋コンクリート造　L･W･L＋152.0mH･W･L＋157.5m 内法(24.62m×40.50m+24.7m×6.88m)×有効水深5.50m　有効容量6,250m^3 用途変更平成7年3月15日 鉄筋コンクリート造　7.54m×6.04m　85.3m^2 竣工　平成 19年3月31日 鉄筋コンクリート造　10.02m×6.42m　64.32m^2	1池 1池 1棟 1棟
	水沢北谷 配水池	水沢町字砂 4579の58	13,951m^2	竣工 配水池 遮断弁室 受水弁室	平成 13年3月31日 プレストレストコンクリート造　L･W･L＋151.0mH･W･L＋157.5m 内径45.00m×有効水深6.50m　有効容量10,000m^3 鉄筋コンクリート造　55.28m^2 鉄筋コンクリート造　43.4m^2	1池 1棟 1棟
	水沢谷町 配水池	水沢町 字谷1149－2	1,021m^2 (G･L＋206.5m)	竣工 配水地	昭和61年11月30日 鉄筋コンクリート造　L･W･L＋205.4mH･W･L＋209.4m 内法13.00m×10.00m×有効水深4.0m　有効容量520m^3	1池
	水沢谷町 加圧ポンプ所			ポンプ室	昭和61年11月30日 鉄筋コンクリート造　10.6m×4.50m　延べ95.17m^2	1棟
	水沢配水池	水沢町 字本郷117	2,787.84m^2 (G･L＋280.5m)	竣工 1号配水池 2号配水池 計器室	昭和42年3月31日、1号配水池平成26年3月24日、2号配水池昭和53年3月31日 (昭和63年4月1日　水沢簡易水道より継承する) ステンレスパネルタンク　L･W･L＋282.9mH･W･L＋285.5m 8.0m×12.0m×有効水深2.75m　有効容量250m^3 プレストレストコンクリート造　L･W･L＋279.7mH･W･L＋285.5m 内径15.00m　有効水深2.60m　有効容量460m^3 コンクリートブロック造　2.7m×3.6m　9.72m^2	1池 1池 1池 1棟
	桜台配水池	桜台二丁目 5－647	6,585m^2 (G･L＋122.0m)	竣工 配水池	昭和47年2月20日 プレストレストコンクリート造　L･W･L＋122.0mH･W･L＋126.5m 内径16.90m×有効水深4.50m　有効容量1,000m^3	1池
	三滝西2号井	高角町 字中川原2898	2,267.01m^2 (G･L＋28.0m)	竣工 取水井 発電機室	昭和45年3月20日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径　3.0m×深さ11.0m 鉄筋コンクリート造　6.5m×5.80m　37.7m^2	2井 1棟
	三滝西3号井	菅原町 字南川原68の1	3,053.25m^2 (G･L＋31.70m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和45年2月16日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径　5.0m×深さ8.0m 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径　3.0m×深さ7.0m 鉄筋コンクリート一部ブロック造　7.40m×5.40m　39.96m^2	1井 1井 1棟

		所在地	用地面積	施設概要				
三滝西水源系	三滝西4号井	高角町 字藤蔵川原1186	2,709m^2 (G・L＋22.70m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和44年3月30日 鉄筋コンクリート造　浅井戸 鉄筋コンクリート一部ブロック造	内径　5.0m×深さ12.0m 9.80m×5.40m	52.92m^2	1井 1棟
	平尾取水場	平尾町 3915－1・3845－1 3834－3・3834－4	4,533.94m^2 (G・L＋42.00m)	竣工 取水井 発電機室	平成16年3月31日 鉄筋コンクリート造　浅井戸 鉄筋コンクリート造　浅井戸 鉄筋コンクリート管　集水埋渠 鉄筋コンクリート 一部ガラスブロック造	内径1.5m×深さ8.37m 内径1.5m×深さ7.80m 口径0.6m×長さ79.5m 11.40m×8.30m	94.62m^2	1井 1井 1式 1棟
内部水源系	内部水源地	采女町 字花の木851の1	3,409.06m^2 (G・L＋14.123m)	竣工 取水井 接合井 ポンプ室 旧発電機室 取水ポンプ室 消毒室 消石灰注入設備 消石灰沈降槽	昭和38年3月30日 鉄筋コンクリート造　浅井戸 鋼管ケーシング造　浅井戸 集水管 鉄筋コンクリート造 有効容量380m^3 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート半地下一部ブロック造 鉄筋コンクリート造 鉄骨構造 鉄筋コンクリート造 有効容量420m3	内径3.0m×深さ10.5m　(1号井) 口径0.6m×深さ20.0m 口径0.6m×長さ53.0m 内法8.4m×17.1m×深さ4.15m L・W・L　＋12.9m　H・W・L　＋15.9m 8.0 m×36.5m 8.0m×10.0m 延べ32.82m^2 5.0m×10.0m 16.1m×8.7m 内法8.0m×16.0m×深さ4.1m L・W・L　＋12.9m　H・W・L　＋15.9m	292.42m^2 86.90m^2 50.00m^2 延べ140.07m^2	1井 2井 1井 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1井
	山ノ手配水池	小古曽町 字西谷2122	24,009m^2 (G・L＋59.7m)	竣工 1号配水池 2号配水池 3号配水池 遮断弁室 受水弁室	1号配水池平成29年3月16日、2号配水池平成25年3月15日、3号配水池昭和53年3月31日 (旧海軍燃料廠水道施設、国から無償貸与を受ける) プレストレストコンクリート造 内法36.00m×19.00m×有効水深4.20m プレストレストコンクリート造 内径33.80m × 有効水深4.20m 鉄筋コンクリート造 内法35.70m×23.70m×有効水深4.20m 鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	L・W・L＋55.50mH・W・L＋59.70m 有効容量2,500m^3 L・W・L＋55.5mH・W・L＋59.7m 有効容量3,700m^3 L・W・L＋55.5mH・W・L＋59.7m 有効容量3,500m^3 5.60m×5.50m 5.70m×2.20m	延べ67.95m^2 12.54m^2	1池 1池 1池 1棟 1棟
	山ノ手 加圧ポンプ所		(G・L＋47.2m)	竣工 ポンプ室	平成28年4月11日 鉄筋コンクリート造	10.47m×7.47m	78.21m^2	1棟

		所在地	用地面積	施設概要			
内部水源系	笹川団地配水池	笹川九丁目17	6,464.44m^2 (G・L＋74.0m)	竣工 電気室 配水池	昭和 42年3月30日 コンクリートプレハブ造　4.71m×8.5m　40.13m^2　1棟 鉄筋コンクリート造　L・W・L＋76.00mH・W・L＋82.00m 内径15.60m×深さ8.34m　有効容量1,000m^3　1池		
	内部2号井	采女町 字杉本1119	2,540m^2 (G・L＋16.34m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和39年8月22日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径 3.0m×深さ10.5m　1井 鋼管ケーシング造　浅井戸　口径 0.6m×深さ20.0m　2井 鉄筋コンクリート管　集水埋渠　口径 0.6m×長さ22.0m 鉄筋コンクリート一部ブロック造　5.81m×6.65m　38.61m^2　1棟		
	内部3号井	南小松町 字畑田589の2	1,354m^2 (G・L＋20.894m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和40年3月23日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径 5.0m×深さ11.50m　1井 鋼管ケーシング造　浅井戸　口径 0.6m×深さ20.0m　1井 鉄筋コンクリート一部ブロック造　5.40m×7.40m　39.96m^2　1棟		
	内部4号井	小古曽町 字横井2367の2	1,023m^2 (G・L＋11.674m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和38年7月10日 鋼管ケーシング造　浅井戸　口径 0.6m×深さ33.0m　1井 鉄筋コンクリート一部ブロック造　3.80m×5.80m　22.08m^2　1棟		
楠水源系	楠水源地	楠町 南川746	3,965.35m^2 (G・L＋4.65m)	竣工 取水井 管理棟 1号配水池 2号配水池	1号配水池昭和62年2月、2号配水池平成13年3月 鋼管ケーシング造　浅井戸　内径 0.35m×深さ170m （3号井）　1井 鉄筋コンクリート造　延べ263.00m^2　1棟 プレストレスコンクリート造　L・W・L＋5.45mH・W・L＋11.45m 内径14.60m 有効水深6.00m　有効容量1,000m^3　1池 プレストレスコンクリート造　L・W・L＋5.45mH・W・L＋11.45m 内径27.30m 有効水深6.00m　有効容量3,500m^3　1池		

		所在地	用地面積	施設概要				
朝明水源系	朝明水源地	千代田町 字東浦342の1	5,399.5m^2 (G・L＋17.4m) 全体面積14,700m^2	竣工	昭和59年12月12日			
				管理棟	鉄筋コンクリート造二階建	25.62m×15.62m	延べ808.164m^2	1棟
				消毒室	鉄筋コンクリート造	15.00m×15.00m	延べ246.96m^2	1棟
				消石灰注入設備	(消毒室内)			
				ポンプ室棟	鉄筋コンクリート造	36.5m×20.5m	延べ688.88m^2	1棟
				ポンプ室	(ポンプ室棟内)	9.65m×20.1m	193.97m^2	
				電気室	(ポンプ室棟内)	9.8m×20.3m	198.94m^2	
				発電機室	(ポンプ室棟内)	6.4m×20.1m	128.64m^2	
				換気機械室	(ポンプ室棟内)	6.5m×20.3m	167.33m^2	
				接合井	(ポンプ室棟内)	L・W・L＋15.0mH・W・L＋20.0m		
					内法8.00m×18.50m×有効水深5.0m×2	有効容量1,480m^3		
				調整弁室	鉄筋コンクリート造一部地下	4.6m×6.3m	延べ41.58m^2	1棟
				紫外線設備室	平成23年8月31日竣工　鉄筋コンクリート造		延べ73.6m^2	1棟
				除マンガン施設	平成30年2月28日竣工			
					除マンガン設備	φ3.0m×H2.2m		4基
					排水池、排水処理設備、天日乾燥床、薬品注入設備			1式
	朝明配水池	大矢知町 大城3094	14,125.57m^2 (G・L＋59m)	竣工	1号配水池昭和41年3月31日、2号配水池昭和41年9月12日、3号配水池昭和43年9月30日			
				1号配水池	円形鉄筋コンクリート造	L・W・L＋55.5mH・W・L＋61.0m		
					内径36m×有効水深5.50m	有効容量5,400m^3		1池
				2号配水池	円形鉄筋コンクリート造	L・W・L＋55.5mH・W・L＋61.0m		
					内径33m×有効水深5.50m	有効容量4,500m^3		1池
		平津町 養曇寺41の5		3号配水池	円形鉄筋コンクリート造	L・W・L＋55.5mH・W・L＋61.0m		
					内径44m×有効水深5.50m	有効容量8,000m^3		1池
				操作室	円形鉄筋コンクリート造		16.52m^2	3棟
				濁度計室	コンクリート一部ブロック造		4.82m^2	2棟
				流量計室	コンクリートプレハブ造	3.57m×2.72m	9.70m^2	1棟
				遮断弁室	鉄筋コンクリート造	5.50m×5.50m	延べ59.41m^2	1棟
	山村配水池	山村町 字池の谷933の2 935の4・935の5	4,446.0m2 (G・L＋75.0m)	竣工	平成3年2月28日			
				配水池	プレストレストコンクリート造	L・W・L＋80.0mH・W・L＋84.0m		
					内径20.00m×有効水深8.00m	有効容量2,500m^3		1池
				電気室	鉄筋コンクリート造	4.2m×5.5m	37.7m^2	1棟
	山村 加圧ポンプ所	山村町 字東谷949の4		竣工	平成14年11月29日			
				ポンプ室	鉄筋コンクリート造地下一階・二階建	5.22m×4.22m	延べ55.40m^2	1棟
	朝明1号井	中村町 字大広131	2,116.91m2 (G・L＋22.86m)	竣工	昭和41年3月30日、取水井令和2年3月10日			
				取水井	鋼管ケーシング造　浅井戸	内径　0.6m×深さ24.0m		3井
				電気室	鉄筋コンクリート一部ブロック造	14.6m×7.40m	延べ108.04m^2	1棟

		所在地	用地面積	施設概要			
朝明水源系	朝明2号井	朝明町 字北浦241の1	2,051m^2 (G・L＋26.95m)	竣工 取水井 電気室	昭和43年3月30日、取水井平成30年2月28日 鋼管ケーシング造　浅井戸　内径　0.6m×深さ20.0m　2井 鉄筋コンクリート造　8.2m×5.0m　41.0m^2　1棟		
	朝明3号井	北山町 西川原75	2,022m^2 (G・L＋30.05m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和43年3月30日 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径　1.8m×深さ8.70m　2井 鉄筋コンクリート管　集水埋渠　口径　0.8m×50.0m　1式 鉄筋コンクリート管　導水管　口径　0.8m×17.0m　1式 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径　5.0m×深さ12.0m　1井 鉄筋コンクリート一部ブロック造　7.40m×5.40m　39.96m^2　1棟		
	朝明4号井	中村町 武兵衛起254の3	1,788m^2 (G・L＋20.53m)	竣工 取水井 発電機室	昭和47年3月31日、発電機室平成14年2月15日、取水井平成30年9月28日 鋼管ケーシング造　浅井戸　内径　1.5m×深さ14.5m　2井 鉄筋コンクリート造　6.5m×6.5m　42.25m^2　1棟		
小牧水源系	小牧水源地	小牧町 字東川原3176	5,208.5m^2 (G・L＋30.8m)	竣工 接合井 取水井 ポンプ室 消毒室 消石灰注入設備 消石灰沈降槽	昭和48年3月31日、取水井令和6年2月9日 平成20年7月1日 鉄筋コンクリート造　L・W・L＋30.47mH・W・L＋34.17m 内法20.0m×10.0m×深さ4.30m　有効容量700m^3　1井 鉄筋コンクリート造　浅井戸　内径0.8m×深さ18.0m（1号井）　3井 鉄筋コンクリート造二階建一部吹抜け 32.00m×10.00m　延べ524.64m^2　1棟 鉄筋コンクリート造一部地下構造　（油庫・倉庫含む） 12.00m×7.00m　延べ84.00m^2　1棟 鉄骨構造ALC造　16.70m×12.5m　延べ208.75m^2　1棟 鉄筋コンクリート造　L・W・L＋30.90mH・W・L＋34.60m 内法16.0m×12.0m×深さ4.30m　有効容量700m^3　1井		
	あがた配水池	下海老町 字木堀谷440の2	20,271m^2 (G・L＋73.0m)	竣工 1号配水池 2号配水池 遮断弁室 受水弁室	1号配水池昭和 47年3月31日、2号配水池昭和50年3月31日 鉄筋コンクリート造　L・W・L＋72.00mH・W・L＋77.10m 内法40.00m×40.00m×有効水深5.10m　有効容量8,000m^3　1池 プレストレストコンクリート造　L・W・L＋72.00mH・W・L＋77.10m 内径50.00m×有効水深5.10m　有効容量10,000m^3　1池 鉄筋コンクリート造　3.80m×6.20m　延べ45.16m^2　1棟 鉄筋コンクリート造地上1階地下1階　6.6m×4.0m　延べ29.53m^2　1棟		

		所在地	用地面積	施設概要			
小牧水源系	あがた 加圧ポンプ所	下海老町 字木堀谷440の2		竣工	昭和51年12月15日 鉄筋コンクリートブロック造	9.8m×6.6m	64.68m^2 1棟
	あかつき台 配水池	山之一色町 乱取奥1524の14 あかつき台 一丁目2の115	7,284m^2 (G・L＋80.0m)	竣工 1号配水池 2号配水池 計器室	1号配水池昭和 46年3月31日、2号配水池昭和55年11月5日 プレストレストコンクリート造 内径16.00m 有効水深4.00m 鉄筋コンクリート造 内法28.5m×17.7m×有効水深4.10m 竣工 平成11年8月17日 コンクリートブロック造	L・W・L＋79.50mH・W・L＋83.50m 有効容量800m^3 L・W・L＋79.50mH・W・L＋83.60m 有効容量2,000m^3 3.55m×2.65m	1池 1池 9.4m^2 1棟
	小牧3号井	札場町 字川北27	1,004m^2 (G・L＋30.2m)	竣工 取水井 ポンプ室	昭和40年11月29日、取水井令和7年2月28日 鋼管コンクリート造 浅井戸 コンクリート一部ブロック造	口径 0.8m×深さ15.5m 9.15m×5.44m	1井 49.77m^2 1棟
	神田取水場	員弁郡東員町 大字山田94	6,750.1m^2 (G・L＋25.0m)	竣工 取水井 電気室 油庫	昭和50年3月31日 鉄筋コンクリート造 浅井戸 鉄筋コンクリート造 コンクリートブロック造	巾 3.0m×45m×深さ7.2m 15.0m×8.0m	1井 120m^2 1棟 7.77m^2 1棟
	長深取水場	員弁郡東員町 大字長深1021	1,976.66m^2 (G・L＋26.2m)	竣工 取水井 電気室 発電機室	昭和50年3月31日 1号井鋼管ケーシング造 浅井戸 2号井鋼管ケーシング造 浅井戸 簡易耐火構造プレハブ造 鉄骨ALC造	内径 0.6m×深さ20.0m 内径 0.4m×深さ20.0m 4.64m×9.28m 5.57m×6.44m	1井 1井 43.05m^2 1棟 35.87m^2 1棟
	中上取水場	員弁郡東員町 大字中上 字巳午1046の1	2,706m^2 (G・L＋24.75m)	竣工 取水井 電気室	平成8年3月31日 鋼管ケーシング造 浅井戸 鉄筋コンクリート造	内径 0.6m×深さ19.1m 11.44m×9.47m	2井 108.34m^2 1棟

４．配水池施設表

配水池名称		構造・形状	ＬＷＬ	ＨＷＬ	有効容量		竣工年月日			摘要
生桑配水池	２号池	ＰＣ　円形	53.45m	60.00m	8,015㎥	18,015㎥	平	21	7	２号池 → 緊急遮断弁付
	３号池	ＰＣ　円形	53.45m	60.00m	10,000㎥		昭	49	3	県水受水（木曽川用水系）
みゆき配水池	１号池	ＰＣ　円形	64.03m	68.03m	530㎥	1,440㎥	昭	37	7	
	２号池	ＰＣ　円形	60.03m	68.03m	910㎥		昭	47	3	
一生吹配水池	１号池	ＲＣ　矩形	108.00m	113.50m	6,000㎥	12,000㎥	昭	45	3	２号池 → 緊急遮断弁付
	２号池	ＲＣ　矩形	108.00m	113.50m	6,000㎥		昭	54	12	
桜台配水池		ＰＣ　円形	122.00m	126.50m		1,000㎥	昭	47	2	（三重用水系）
高岡配水池	１号池	ＲＣ　矩形	152.00m	157.50m	6,000㎥	12,250㎥	昭	55	11	県水受水（三重用水系）
	２号池	ＲＣ　矩形	152.00m	157.50m	6,250㎥		平	4	3	１号池 → 緊急遮断弁付
水沢北谷配水池		ＰＣ　円形	151.00m	157.50m		10,000㎥	平	13	3	県水受水（三重用水系・長良川水系）緊急遮断弁付
水沢谷町配水池		ＲＣ　矩形	205.40m	209.40m		520㎥	昭	61	11	県水受水（三重用水系）
水沢配水池	１号池	ＳＰ　矩形	282.90m	285.50m	250㎥	710㎥	平	26	3	１号池 → 緊急遮断弁付　（三重用水系）
	２号池	ＰＣ　円形	279.70m	285.50m	460㎥		昭	53	3	
山ノ手配水池	１号池	ＰＣ　円形	55.50m	59.70m	2,500㎥	9,700㎥	平	29	3	２号池 → 緊急遮断弁付
	２号池	ＰＣ　円形	55.50m	59.70m	3,700㎥		平	25	3	
	３号池	ＲＣ　矩形	55.50m	59.70m	3,500㎥		昭	53	3	
笹川団地配水池		ＲＣ　円形	76.00m	82.00m		1,000㎥	昭	42	3	
楠配水池	１号池	ＰＣ　円形	5.45m	11.45m	1,000㎥	4,500㎥	昭	62	2	県水受水（木曽川用水系・長良川水系）
	２号池	ＰＣ　円形	5.45m	11.45m	3,500㎥		平	13	3	１号池 → 緊急遮断弁付
朝明配水池	１号池	ＲＣ　円形	55.50m	61.00m	5,400㎥	17,900㎥	昭	41	3	県水受水（木曽川用水系）
	２号池	ＲＣ　円形	55.50m	61.00m	4,500㎥		昭	41	9	３号池 → 緊急遮断弁付
	３号池	ＲＣ　円形	55.50m	61.00m	8,000㎥		昭	43	9	
あがた配水池	１号池	ＲＣ　矩形	72.00m	77.10m	8,000㎥	18,000㎥	昭	47	3	２号池 → 緊急遮断弁付
	２号池	ＰＣ　円形	72.00m	77.10m	10,000㎥		昭	50	3	
あかつき台配水池	１号池	ＰＣ　円形	79.50m	83.60m	800㎥	2,800㎥	昭	46	3	
	２号池	ＲＣ　矩形	79.50m	83.60m	2,000㎥		昭	55	11	
山村配水池		ＰＣ　円形	80.00m	84.00m		2,500㎥	平	3	2	県水受水（木曽川用水系）
計　１５ヵ所	27池					112,335㎥				

令和8年3月31日現在

第５章　防災

1. 飲料水の調達、供給活動

災害のため、給水施設の破壊または飲料水の枯渇、汚染等により、現に飲料に適する水を得ることができない者に対して応急給水を実施するとともに、被災した諸施設を迅速に復旧し、飲料水の確保に万全を期する。

1) **対象者**

・ 上下水道局は、災害のため、現に飲料水を得ることができない者に対して応急給水を実施する。

2) **給水量**

・ 給水量は1日1人当たり、おおむね3リットルとする。

3) **応急復旧**

・ 上下水道局は、上水道施設が損壊した場合には、まず水源取水施設の復旧を図るとともに、設置可能な箇所から順次応急給水設備を整備し、段階的に応急給水態勢の確保を図る。
・ 上下水道局は、水道施設の復旧を重要度、修理の可能性及び復旧工期等を勘案して、速やかに給水できるよう、最も効率的に修理し、また復旧困難な箇所には仮設配管を行い、臨時給水栓等から給水し得るまでの復旧工事を行う。

4) **応急給水**

・ 上下水道局は以下要領に従い、応急給水を行う。
  ① 給水箇所
    ・ 1次的応急給水場所として、小学校、病院、福祉施設等において給水を行う。
  ② 取水場所等
    ・ 取水場所は応急給水場所別に特定する。
  ③ 給水方法
    ・ 上下水道局は、市内に整備されている緊急用貯水槽(13ヵ所)で給水を行う。また、緊急遮断弁付き配水池(8ヵ所)を運搬給水基地とし、給水タンク車により避難所や医療機関、福祉施設等への供給、地域防災拠点への補給を行う。
    ・ 上下水道局は、運搬給水として市の保有する給水タンク車(3台)、給水タンク(23基)のほか、ポリタンク等の容器及びトラック等を調達し、給水用資機材としてこれにあてる。なお不足する分については、自衛隊、日本水道協会等関係機関に給水車等の派遣を要請し、指定場所に給水する。
    ・ 上下水道局は、給水可能な配水管がある場合は、仮設配管により臨時給水栓を設けて応急給水場所とする。
    ・ 上下水道局は、被害の状況によっては、浄水装置を原水のある指定場所に設営し、給水活動を実施する。
    ・ なお、給水可能な消火栓及び地区市民センターの応急給水栓がある場合は、防災倉庫に保管されている応急給水セットを活用し、給水活動を行う。

5) **応援要請等**

・ 上下水道局は、水道施設に甚大な被害が生じ、本市のみで応急給水の活動や給配水管の復旧等が困難である場合は、日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定及び三重県水道災害応援協定書等に基づき、日本水道協会三重県支部及び三重県水道災害対策本部等に応援を要請する。
・ また、応急給水の活動については、四日市市上下水道工事業者組合、地区防災組織、および地元住民の皆様の協力を仰ぎながら対応するとともに、給配水管等の復旧については、四日市市上下水道局指定給水装置工事事業者に協力を要請する。

6)　**機材の確保**

・ 上下水道局は、給水タンク、トラック、浄水器、発電機等の機材の確保を図るとともに、管路の復旧、修繕及び仮設配管、臨時給水栓に必要な資機材等を速やかに確保する。

7)　**応急連絡体制**

・ 災害時において、有線による通信連絡が不能である場合は、衛星携帯電話及び水道業務用無線電話及び防災行政用無線電話を活用する。

2. 緊急時取水予定場所一覧表

場所名		所在地	電話	備考
水源	朝明水源地	千代田町字東浦342－1	361－0334	(無人)
	小牧水源地	小牧町字東川原3176	339－8292	(無人)
	水源管理センター (三滝水源地)	尾平町字高柳248	352－9568	
	三滝西水源地	高角町字矢合2678	326－2009	(無人)
	内部水源地	采女町字花の木851－1	345－0138	(無人)

3. 非常用資機材一覧表

資機材等	数量	保管・設置場所等	
給水タンク車	2台(2t)、1台(1.6t)	局構内	3台
給水タンク	9基(1t)	局構内	1基
		旧・生桑水源地	2基(内北勢広域1基)
		三滝西水源地	1基
		朝明水源地	1基
		内部水源地	4基
組立式給水タンク	24基(1t)	局構内3基、上下水道組合21基	
大型給水袋	2基(1t)	局構内	
緊急時用浄水装置	4台	局構内	3台(2㎥/hr)
		水源管理センター	1台(4㎥/hr)
給水用ポリタンク	30個(20ℓ)	局構内	
非常用飲料水袋	9，700袋(6ℓ)	局構内	
ウォーターパッカー	1台	局構内	
給水スタンド	10基	局構内	6基
		旧・生桑水源地	3基
		楠水源地	1基
応急給水拠点 (緊急遮断弁付 配水池)	8カ所	朝明・あがた・生桑・一生吹・高岡・水沢北谷・山ノ手・楠	
地域応急給水栓 セット (危機管理課所管)	163セット	各指定避難所(地区市民センター含む)(防災倉庫) 142セット 市拠点防災倉庫 21セット(うち訓練用として局構内に3セット)	

４．緊急遮断弁及び応急給水施設表

No.	設置場所	遮断弁口径	緊急遮断弁設置年度	配水池容量（㎥）	感知方法	応急給水施設設置年度
1	高岡配水池１号	φ 600	昭和55年度	６，０００ （４，３００）	震度	平成９年度設置 ポンプ施設
2	一生吹配水池２号	φ 600	昭和56年度	６，０００ （４，１００）	震度	平成10年度設置 ポンプ施設
3	朝明配水池３号	φ 600	昭和61年度	８，０００ （４，３００）	震度	平成８年度設置 自然流下
4	山ノ手配水池２号	φ 500	昭和61年度	３，７００ （３，７００）	震度	平成９年度設置 自然流下
5	あがた配水池２号	φ 600	昭和62年度	１０，０００ （２，５００）	震度	平成10年度設置 ポンプ施設
6	生桑配水池２号	φ 600	昭和63年度	８，０１５ （８，０１５）	震度	平成21年度設置（東側） 平成30年度設置（西側） 自然流下
7	水沢北谷配水池	φ 500	平成12年度	１０，０００ （８，０００）	震度	平成25年度設置 ポンプ施設
8	楠配水池１号	φ 400	平成14年度	１，０００ （　３９０）	震度	消火栓に 給水スタンドを接続
9	水沢配水池１号	φ 150	平成25年度	２５０ （　１９５　）	震度	
	貯水容量	最大水量 最小水量		５２，９６５㎥ （３５，５００㎥）		

※地震の規模は南海トラフ地震を想定し、震度は内陸部５、海岸部６として
　地震計は２００ＧＡＬ（震度５強）で設定している。

５．耐震型緊急用貯水槽施設表

No.	設置場所	容量（㎥）	構造	型状寸法	竣工年度
1	日永東一丁目地内 中央緑地	100	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 20.1m TUF型	昭和61年度
2	松原町地内 松原公園	100	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 20.1m TUF型	昭和62年度
3	中里町地内 中里緑地	100	鋼製	φ3000mm L= 15.0m	昭和62年度
4	大宮西町地内 羽津会館	100	鋼製	φ3000mm L= 15.0m	昭和63年度
5	新浜町地内 三滝公園	50	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 10.3m TUF型	平成元年度
6	河原田町地内 河原田小学校	50	鋼製	φ2600mm L= 10.2m	平成24年度
7	東茂福町地内 富田中学校	50	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 10.3m TUF型	平成３年度
8	大字塩浜(磯津西町)地内 磯津公会所	22	ダクタイル 鋳鉄管	φ2000mm L= 7.2m TUF型	平成４年度
9	安島一丁目地内 四日市市民公園	310	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 59.3m TUF型	平成５年度
10	天ヵ須賀二丁目地内 天ヵ須賀公園	60	ダクタイル 鋳鉄管	φ2600mm L= 11.3m TUF型	平成６年度
11	笹川九丁目地内 笹川団地配水池	23	円筒形 ステンレス製	φ3400mm H= 3.505m	平成22年度
12	楠町北五味塚地内 楠中央緑地	50	鋼製	φ3000mm L= 7.8m	平成17年度
13	楠町南五味塚地内 新浜町一号公園	50	鋼製	φ3000mm	平成18年度
計	13カ所	1,065	ダクタイル鋳鉄管　７カ所、鋼製　６カ所、ステンレス製　１カ所		

参考 ： 消防署設置分

	富田二丁目地内 北消防署	10	ダクタイル 鋳鉄管	φ1500mm L= 6.25m LUF型	平成９年度

６．応急給水施設配置図


応急給水施設配置図
■緊急遮断弁付き配水池（８ヵ所）
●耐震型緊急用貯水槽（１３ヵ所）
N
■(3) 朝明配水池
■(5) あがた配水池
●⑩天カ須賀公園内
（ ●北消防署内）
●②松原公園内
●⑦富田中学校内
■(6) 生桑配水池
●④羽津会館内
■(1) 高岡配水池
■(2) 一生吹配水池
■(7) 水沢北谷配水池
●⑤三滝公園内
●⑨四日市市民公園内
●①中央緑地内
●⑪ 笹川団地配水池
●③中里緑地内
■(4) 山ノ手配水池
●⑧磯津公会所内
●⑥河原田小学校内
●⑫ 楠中央緑地内
●⑬新浜一号公園内
■
(8) 楠配水池

7. 予備動力

予備動力設備の種別及び燃料消費量

種別 / 施設名	用途	エンジン出力 (kW)	燃料種類	燃料消費量 時間当たり (ℓ)	燃料タンク量 (ℓ)	運転可能時間 (hr)
三滝水源地	発電機	515	A重油	105.4	1,950	18.5
三滝4号井	発電機	107	A重油	19.0	490	25.8
羽津山加圧ポンプ所	発電機	44.9	軽油	11.0	390	35.5
みゆき加圧ポンプ所	ポンプ	25.2	軽油	7.5	25	3.3
三滝西水源地	1号ポンプ	169.2	A重油	105.0	1,500	6.6
三滝西水源地	2号ポンプ	229	A重油	56.0		
三滝西水源地	4号ポンプ	175	A重油	50.0		
三滝西水源地	発電機	101.5	A重油	17.8		
三滝西2号井	発電機	107	A重油	22.6	600	26.5
三滝西3号井	ポンプ	22.1	軽油	6.7	200	29.9
三滝西4号井	ポンプ	33.6	軽油	9.4	200	21.3
平尾取水場	発電機	51	A重油	18.8	390	20.7
水沢谷町加圧ポンプ所	ポンプ	19.9	A重油	6.9	390	56.5
内部水源地	発電機	507	A重油	59.7	1,950	32.7
内部2号井	発電機	107	軽油	17.0	490	28.8
内部3号井	ポンプ	18.4	軽油	7.0	400	57.1
山ノ手加圧ポンプ所	発電機	44.9	軽油	12.9	190	14.7
朝明水源地	発電機	588	A重油	270.0	1,950	7.2
朝明1号井	発電機	107	A重油	26.2	700	26.7
朝明2号井	発電機	107	A重油	17.0	600	35.3
朝明3号井	ポンプ	30.2	軽油	9.0	200	22.2
朝明4号井	発電機	44.9	A重油	12.6	390	31.0
山村加圧ポンプ所	発電機	43.4	A重油	11.3	390	34.5
小牧水源地	1号ポンプ	169.2	A重油	125.0	1,900	7.1
小牧水源地	2号ポンプ	184	A重油	50.0		
小牧水源地	4号ポンプ	191.2	A重油	51.0		
小牧水源地	発電機	147.1	A重油	43.0		
神田取水場	発電機	284	A重油	69.3	1,950	28.1
小牧3号井	発電機	44.9	A重油	11.5	490	42.6
あがた加圧ポンプ所	ポンプ	25	A重油	7.0	300	42.9
長深取水場	発電機	278	A重油	50.7	1,400	27.6
中上取水場	発電機	284	A重油	54.0	1,950	36.1
楠水源地	発電機	176.5	軽油	48.3	490	10.1

下　水　道　事　業

はじめに

従来の下水道は、主として市街地における生活排水処理を行うことにより、生活環境の整備向上を図ることを目的として開始され推進されてきました。

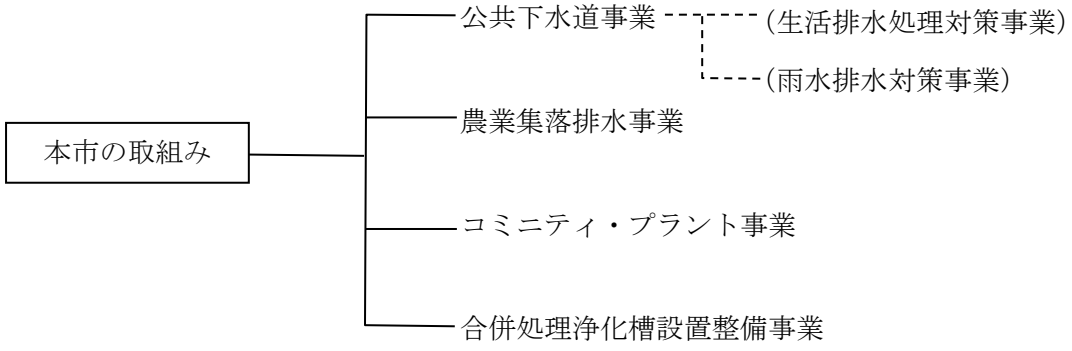
本市では、昭和２９年に旧市の公共下水道事業を着手し、その他生活排水処理対策事業として、昭和５２年に農業集落排水事業、昭和６３年に合併処理浄化槽設置整備事業、平成７年にコミニティ・プラント事業に着手し、市街地のみならず市全域の生活環境の向上を図ってきました。

また、生活排水処理対策事業とは別に、市街地の浸水対策を目的とした雨水排水対策事業もあわせて実施してきました。

しかし、近年の社会情勢の変化のなかで、下水道の果たす役割が単に地域的な要請を満足するだけでなく、水循環サイクルの重要な要素として、広域的な環境全体に果す役割も求められるように変化してきました。

このような変化を受け、平成１４年度には地方公営企業法の一部適用、平成１７年度には全部適用を行い、平成１９年度からは生活排水対策処理事業部門の上下水道局への集約を行うなど、経済的で効率的な整備の見直しや財源の健全化を図りながら、より一層の生活環境の向上を目指し事業を推進しています。

本市の生活排水処理対策及び雨水排水対策に対する取組み



第１編　公共下水道事業

第１章　公共事業の概要

１．　公共下水道の沿革

本市の公共下水道事業は、市街地の多くが低平地に存在しており、ポンプによる強制排水を必要とするなど、降雨に対して非常に弱い地域が連なっていることから、市の中心部の浸水対策を主目的として、昭和２９年から合流式により整備にとりかかり、昭和３７年１０月に供用開始しました。

その後、市勢の発展にともなって計画区域の拡大を図り、単独公共下水道として四日市市土地開発公社・日本住宅公団（現：独立行政法人　都市再生機構）などの団地も含めながら、市中心部に連たんする地域の事業認可を取得し、整備区域の拡大を図ってきました。

また、昭和５１年に策定された四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画により、三滝・海蔵川以北を北勢沿岸流域下水道（北部処理区）、内部・鈴鹿川以南を同（南部処理区）、及びこれらに挟まれた区域を単独公共下水道として位置づけられました。

北勢沿岸流域下水道関連公共下水道の北部処理区は昭和５２年、南部処理区は平成２年に事業認可を取得し、北部処理区は昭和６３年から、南部処理区は平成８年から一部供用を開始しました。

なお、北部処理区では、平成３年度から平成８年度にかけて、富田富洲原雨水１号幹線を景観回復と親水性の高い水辺空間の提供を目的に「水緑景観モデル事業」として『水と緑のせせらぎ広場』を整備しました。また、南部処理区では、平成４年度から磯津地区において、「真空式下水道システム」を採用した「アイデア下水道」として整備を行いました。

単独公共下水道においては、市中心部での雨水地下浸透及び貯留能力の減少等による雨水流出量の増大に対処するため、平成２年度から平成５年度にかけて「諏訪公園雨水調整池」を建設し、平成１７年度から平成２２年度にかけて「中央通り貯留管」を建設しました。また、桜地区では、鈴鹿山麓研究学園都市の開発による公共用水域の水質保全と周辺地域の生活環境改善を目的として、平成５年度から特定環境保全公共下水道に着手しました。平成２８年度から日永浄化センターの第４系統が一部運転開始し、高度処理を開始しました。

都市下水路事業については、公共下水道の雨水整備に先立ち、市街地の雨水排除、浸水解除を目的として、昭和３６年度より整備に着手しました。

このうち、落合都市下水路ほか９箇所におきましては、公共下水道に切替え、残っていた朝明都市下水路についても平成１８年度に事業完了となりました。

平成１７年度からは、企業会計方式の全部適用や上下水道局への組織統合を行い、経済的で効率的な整備や下水道財源の健全化を図りながら、より一層の下水道の普及を目指し、事業を推進しています。

平成１７年度から市中心部の合流式下水道区域において、合流式下水道緊急改善事業に取り組み、平成２５年度に阿瀬知・常磐貯留管等の施設を供用開始し、事業完了となりました。また、平成２１年度から地震対策事業を開始し、重要施設から順次、耐震化を図っています。

汚水対策事業としては、平成２８年２月に四日市市生活排水処理施設整備計画を策定し、令和８年度の市街化区域の概成を目指し、整備を進めます。
また、令和２年３月に四日市市生活排水処理施設整備計画の改定をし、市街化調整区域の生活排水処理施設は、合併処理浄化槽で整備を進めます。

雨水浸水対策としては、令和３年６月に四日市市雨水管理総合計画を策定し、令和４年度に浜田通り貯留管が供用開始しました。

２．公共下水道のあゆみ年表

年	月	公共下水道事業のあゆみ
(明治)		
33 年	3 月	旧下水道法の制定
(大正)		
13 年	1 月	（旧）富洲原村（現在の富田一色町）で、下水道工事に着手
(昭和)		
29 年	4 月	公共下水道事業に着手
30 年	5 月	単独公共下水道事業の当初認可取得
31 年	4 月	茂福ポンプ場が運転開始
33 年	4 月	下水道法（現行）の制定
34 年	3 月	四日市市公共下水道条例を制定
		阿瀬知ポンプ場が運転開始
	9 月	塩浜都市下水路事業に着手（第一期）
		伊勢湾台風襲来（死者１１５人）
35 年	9 月	特別会計設置
36 年	4 月	納屋ポンプ場が運転開始
37 年	4 月	高花平浄化センターが運転開始
	10 月	浜田、新正地区で公共下水道供用開始
39 年	3 月	雨池都市下水路事業に着手（第一期）
	12 月	四日市都市計画下水道事業受益者負担金に関する省令を制定
40 年	7 月	日永浄化センターが運転開始
41 年	3 月	四日市市水洗便所改造助成条例を制定
	5 月	朝明浄化センターが運転開始
44 年	7 月	坂部浄化センターが運転開始
45 年	4 月	磯津第２ポンプ場が運転開始
	7 月	泊山浄化センターが運転開始
	9 月	朝明都市下水路事業に着手
	12 月	水質汚濁防止法の制定
46 年	4 月	四日市地域公害防止計画事業の開始
		下水道使用料　基本水量・超過水量（２区分）制に移行
	5 月	常磐ポンプ場が運転開始
46 年	12 月	雨池都市下水路事業に着手（第二期）
47 年	11 月	橋北ポンプ場が運転開始
	12 月	朝明ポンプ場が運転開始
48 年	2 月	羽津都市下水路事業に着手
	3 月	四日市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	12 月	塩浜都市下水路事業に着手（第二期）
49 年	3 月	中部浄化センターが運転開始
	7 月	集中豪雨による被害（17,000戸浸水）
51 年	6 月	下水道使用料改定実施（平均改定率4.5%　超過水量３区分に改正）

年	月	公共下水道事業のあゆみ
52年	4月	羽津ポンプ場が運転開始
	5月	北勢沿岸流域下水道（北部処理区）関連公共下水道事業の当初認可取得
53年	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率32.2%）
54年	4月	雨池ポンプ場が運転開始
	4月	中央ポンプ場が運転開始
	6月	伊勢湾総量規制の施行
	9月	集中豪雨による被害（5,600戸浸水）
	11月	羽津茂福都市下水路事業に着手
55年	4月	下水道使用料改定実施（平均改定率33.1%）
57年	4月	高砂ポンプ場が運転開始
	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率31.8%　超過水量６区分に改正）
59年	4月	南部第１ポンプ場が運転開始
	7月	新富洲原ポンプ場が運転開始
60年	4月	塩浜第１ポンプ場が運転開始
	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率35.1%）
62年	4月	白須賀ポンプ場が運転開始
62年	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率39.1%）
63年	1月	北勢沿岸流域下水道北部浄化センター（川越町地内）が運転開始
	4月	下水道使用料徴収事務、隔月制度採用
		南部第２ポンプ場が運転開始
（平成）		
元年	5月	大井の川ポンプ場が運転開始
	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率19.1%　超過水量８区分に改正）
2年	3月	北勢沿岸流域下水道（南部処理区）関連公共下水道の当初認可取得
3年	4月	落合ポンプ場が運転開始
	4月	富田富洲原雨水１号幹線が「水緑景観モデル事業」として認定される
4年	6月	下水道使用料改定実施（平均改定率10.7%、消費税転嫁3%）
	9月	磯津処理分区が「アイデア下水道」（真空式下水道）として認定される
5年	7月	諏訪公園雨水調整池が供用開始
	11月	桜特定環境保全公共下水道事業に着手
7年	3月	磯津第１ポンプ場が運転開始
	9月	『諏訪公園雨水調整池電気室外壁デザイン』が【建設大臣賞（いきいき下水道賞）】を受賞
8年	1月	北勢沿岸流域下水道南部浄化センター（楠町地内）が運転開始
	1月	下水道使用料改定実施（平均改定率26.3%）
	4月	磯津中継ポンプ場（真空式）が運転開始
	5月	午起ポンプ場が運転開始
	10月	四日市・鈴鹿水域流域別下水道総合計画（変更）が承認される
9年	3月	富田富洲原雨水１号幹線（水循環再生下水道モデル事業）が完成
	6月	下水道使用料　消費税改定（5%）
	9月	水循環再生下水道モデル事業が完成し「水と緑のせせらぎ広場」の名称

年	月	公共下水道事業のあゆみ
		となる
	9月	『水と緑のせせらぎ広場』が【三重県さわやかまちづくり賞】を受賞
10年	2月	『水と緑のせせらぎ広場』が【四日市市都市景観賞】を受賞
	7月	『水と緑のせせらぎ広場』が【建設省の手づくり郷土賞】を受賞
11年	4月	智積中継ポンプ場が運転開始
12年	9月	集中豪雨（東海豪雨）による被害（約2,150戸浸水）
14年	4月	地方公営企業法の一部適用開始
	11月	泊汚水中継ポンプ場が運転開始
17年	2月	三重郡楠町と合併
	4月	上下水道局へ組織統合、地方公営企業法の全部適用開始
18年	2月	中央通り貯留管建設に着手
	4月	河原田ポンプ場が運転開始
19年	4月	采女中継ポンプ場が運転開始
	4月	生活排水対策（農業集落排水、合併浄化槽、コミニティ・プラント）
		事業部門を上下水道局へ集約
20年	4月	下水道使用料改定実施（平均改定率30.0％　基本水量10㎥を5㎥に
		超過水量４区分に改正）
22年	5月	中央通り貯留管が供用開始
26年	4月	合流改善施設(阿瀬知・常磐貯留管、橋北滞水池、納屋滞水池)が供用開始
		下水道使用料　消費税改定（8％）
28年	4月	日永浄化センター 第４系統が運転開始
28年	6月	日永浄化センター 第１系統を廃止
30年	4月	下水道使用料改定実施（平均改定率25.0％、+40円/㎥）
30年	12月	新南五味塚ポンプ場が運転開始
(令和)		
元年	7月	四日市市下水道事業経営戦略策定
元年	10月	下水道使用料　消費税改定（10％）
2年	4月	吉崎ポンプ場が運転開始
3年	4月	農業集落排水処理施設の県地区を公共下水道に接続切替
4年	6月	浜田通り貯留管が供用開始
5年	5月	波木汚水中継ポンプ場が運転開始
7年	9月	集中豪雨による被害（231戸浸水）

３．普及状況（令和７年度末）

人　口

	人　　口	／(a)	／(b)	／(c)
行 政 区 域(a)	304,736 人	―	―	―
市 街 化 区 域(b)	272,501 人	89.4 %	―	―
事業計画区域(c)	270,461 人	88.8 %	99.3 %	―
処 理 区 域	255,564 人	83.9 %	93.8 %	94.5 %

※市街化区域人口はR2国勢調査を基にした推計値

令和７年度末下水道普及率　　四日市市　83.9 %
三 重 県　62.9 %
全　　国　82.2 %

面　積

	面　　積	／(a)	／(b)	／(c)
行 政 区 域(a)	20,650　ha	―	―	―
市 街 化 区 域(b)	7,524　ha	36.4 %	―	―
事業計画区域(c)	6,448　ha	31.2 %	85.7 %	―
整 備 区 域	5,084　ha	24.6 %	67.6 %	78.8 %

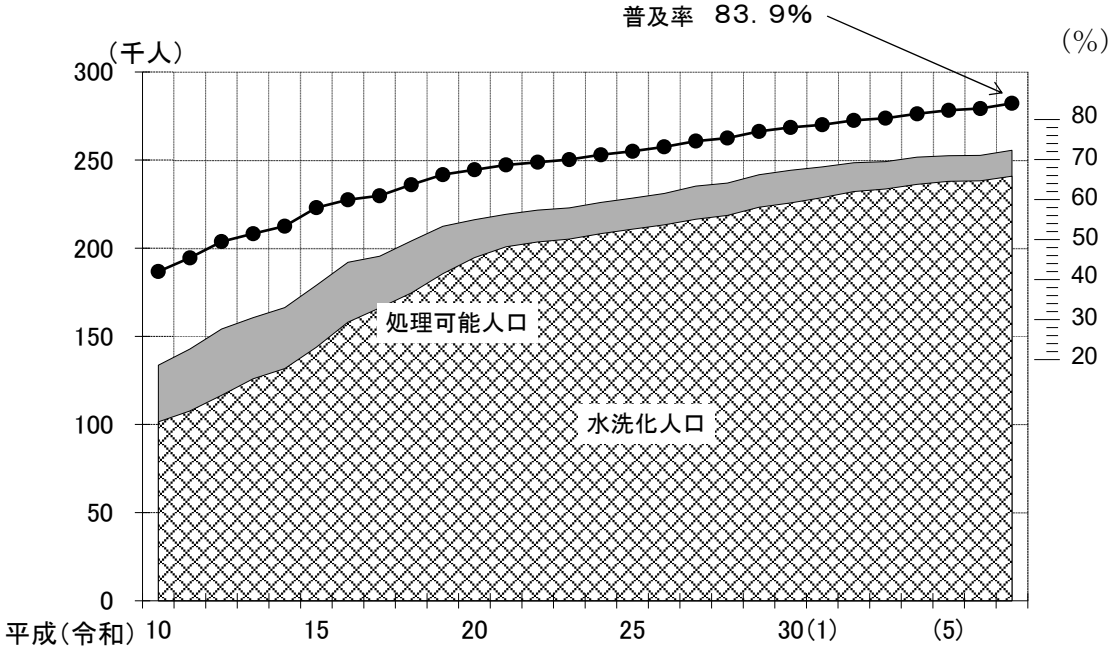
水洗化率

年度	処理区域		水洗化		水洗化率	供用１年後水洗化率
	戸 数 戸	人口(a) 人	戸 数 戸	人口(b) 人	(b)／(a) %	%
4	118,991	251,666	111,801	236,182	93.8	94.5
5	120,097	252,479	113,234	237,920	94.2	94.3
6	121,462	252,655	114,711	238,194	94.3	95.4
7	124,223	255,572	117,377	240,917	94.3	―

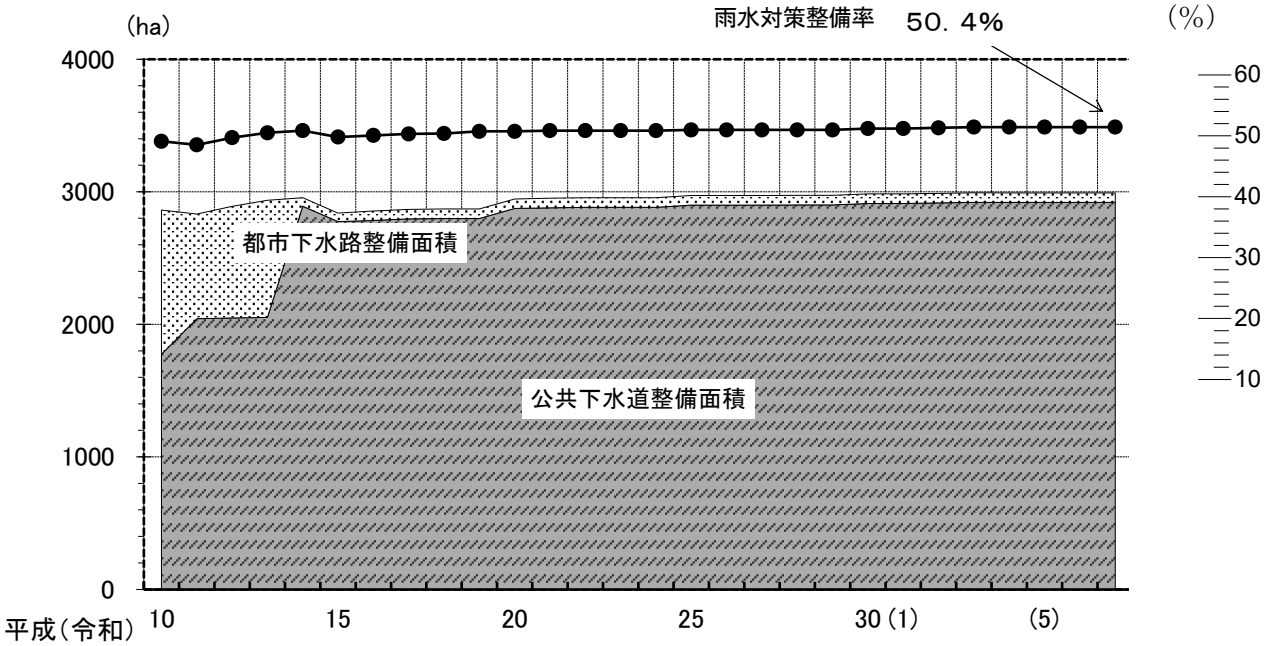
４．下水道事業の推移状況

本市は、市街地の多くが海岸沿いの低平地に存在し、ポンプによる強制排水を必要とするなど、降雨に対して非常に弱い地域が連たんしています。このため、本市の下水道事業は、昭和２９年から市の中心部の雨水対策を主目的として着手し、昭和４５年以降は公共用水域の水質保全対策等、汚水対策にも力を注いでいます。

(1) 汚水事業



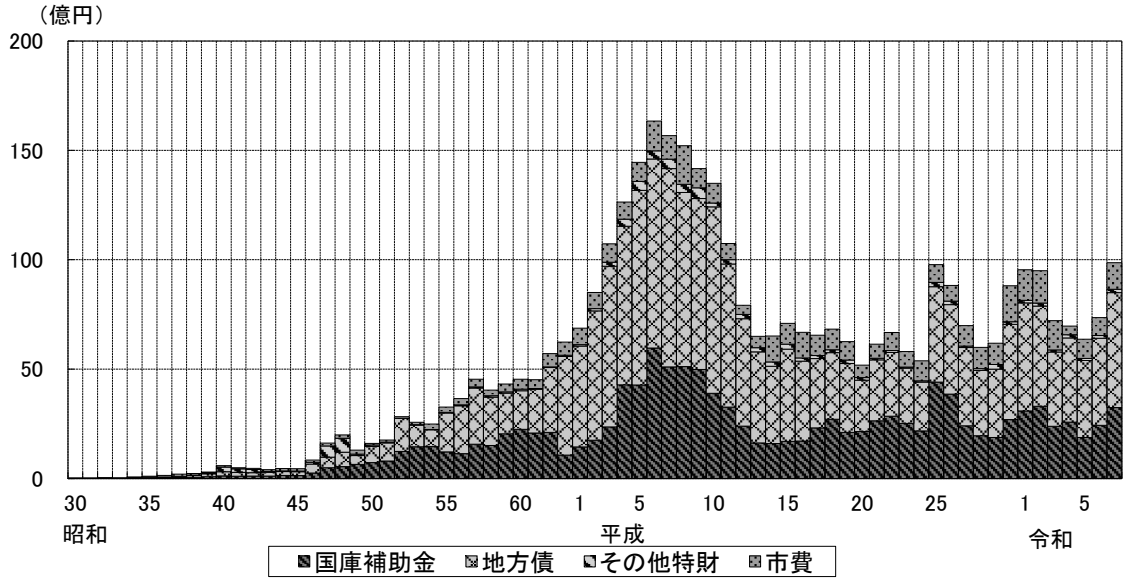
(2) 雨水事業



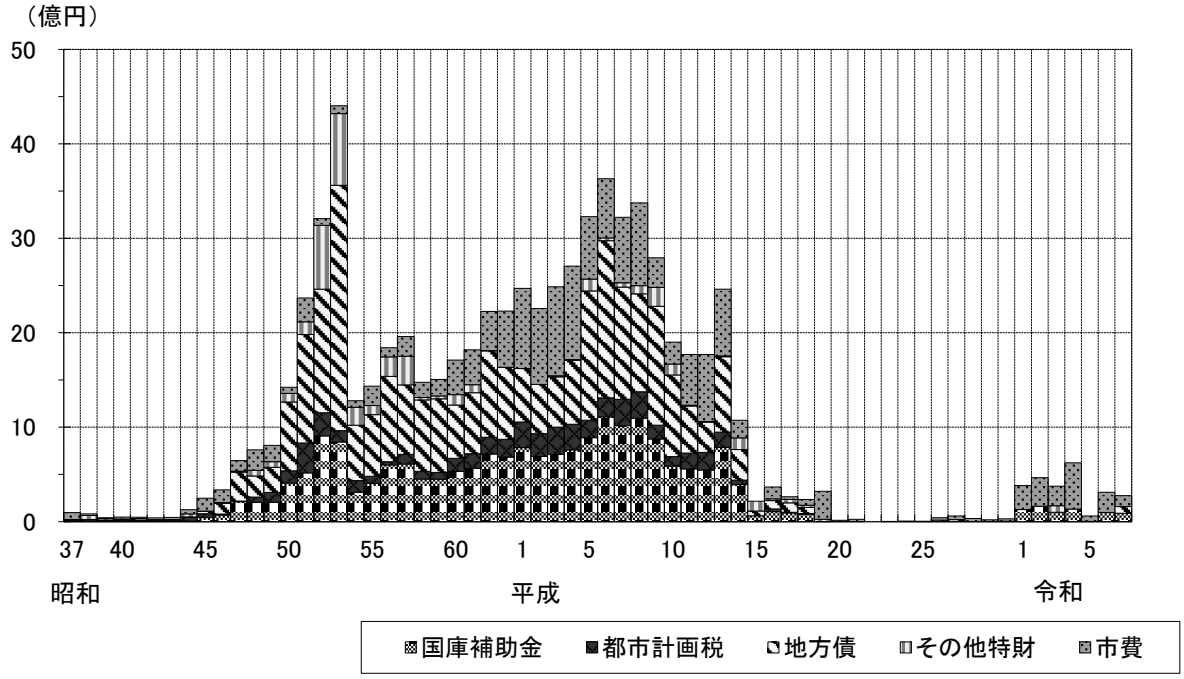
整備対象面積（5,599ha）をH8から5,916haに、さらにH15から5,799haに変更。

５．事業費及び財源の推移

(1) 公共下水道



(2) 都市下水路



※【財　源】

平成13年度以前：公共下水道は建設改良費、都市下水路は都市下水路新設改良費とする。

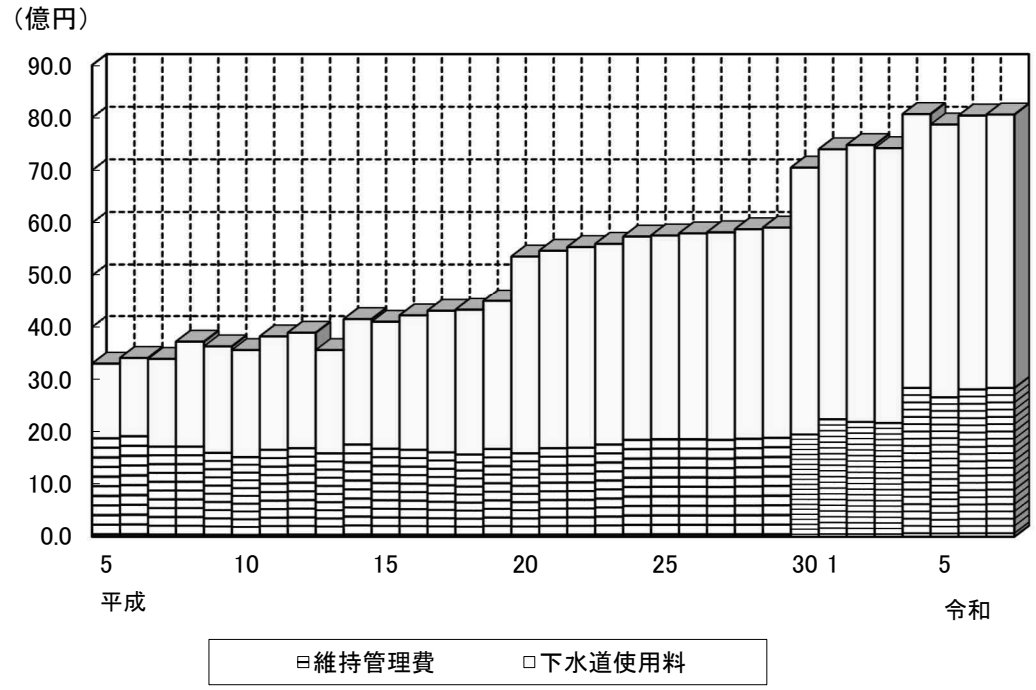
平成14年度以降：公共下水道は管渠布設費、ポンプ場築造費、処理場築造費、公共下水道建設事務費、固定資産購入費の合計とする。都市下水路は都市下水路築造費、都市下水路建設事務費、固定資産購入費の合計とする。

６．維持管理費及び下水道使用料の推移

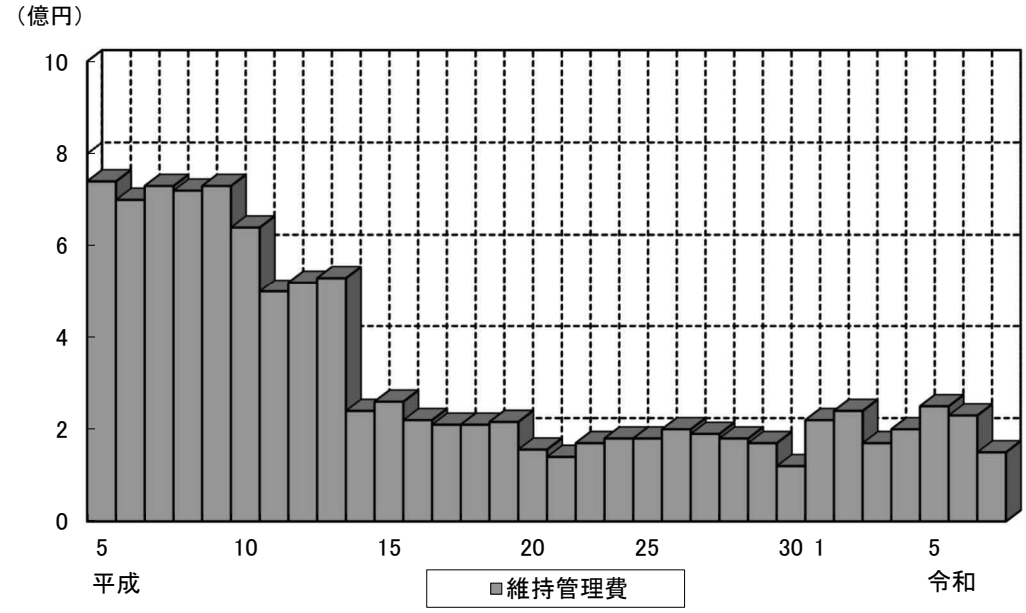
本市では、下水道事業の整備促進に伴い維持管理の対象施設も増加しており、これらの下水道施設の機能を十分発揮させ、快適な環境で生活ができるよう管路の清掃・補修、ポンプ場、処理場の維持補修を行っています。

また、下水道施設の管理の適正化を図るため、下水道台帳の作成も行っています。

① 公共下水道



② 都市下水路



※【維持管理費】

平成 13 年度以前：公共下水道は施設管理費、都市下水路は都市下水路管理費とする。

平成 14 年度以降：公共下水道は管渠費、ポンプ場費、処理場費の合計とする。
都市下水路は都市下水路費とする。

７．計画の概要

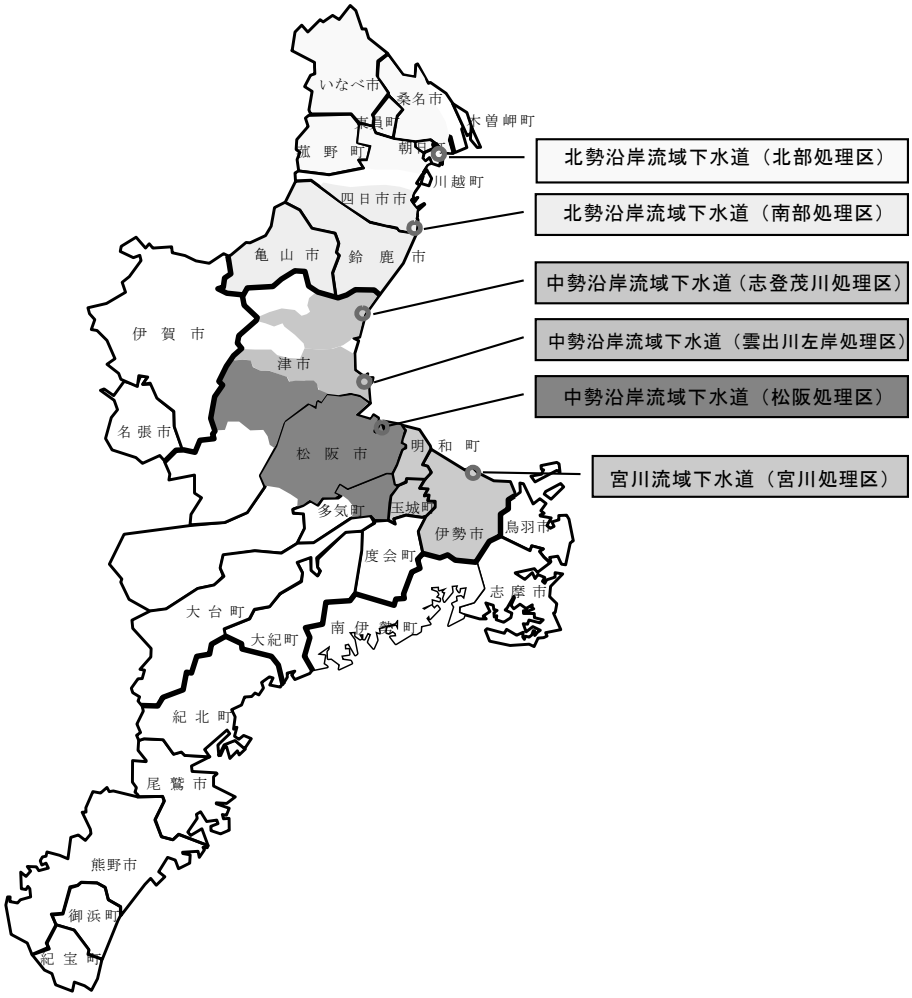
(1) 四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画

公共下水道の基本計画は、三重県の策定した「四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画」を上位計画として整備を進めていく予定です。「四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画」とは、亀山市及び鈴鹿市以北の三重県北勢地区の１０市町について水質環境基準を達成維持するために必要な下水道の整備に関する計画です。

この計画において、これら１０市町の下水道整備については、「北勢沿岸流域下水道（北部処理区)」として、四日市市北部、桑名市、いなべ市、川越町、朝日町、菰野町及び東員町の３市４町、「同（南部処理区)」として、四日市市南部、鈴鹿市、亀山市の３市、並びに「単独公共下水道」として、四日市市中央部、桑名市長島町、木曽岬町を整備することと位置づけられています。

四日市市の下水道は、この上位計画に基づき３つの区域に分けて市街化区域を中心に整備を進める予定です。すなわち、三滝川・海蔵川以北を「北勢沿岸流域下水道（北部処理区）関連公共下水道」、内部川以南を「同（南部処理区）関連公共下水道」及びそれらに挟まれた区域を「単独公共下水道」として整備する計画であり順次都市計画決定、事業認可を得て、事業効果の高い下流の人口集中地区から事業を実施しています。

三 重 県 の 流 域 下 水 道 事 業

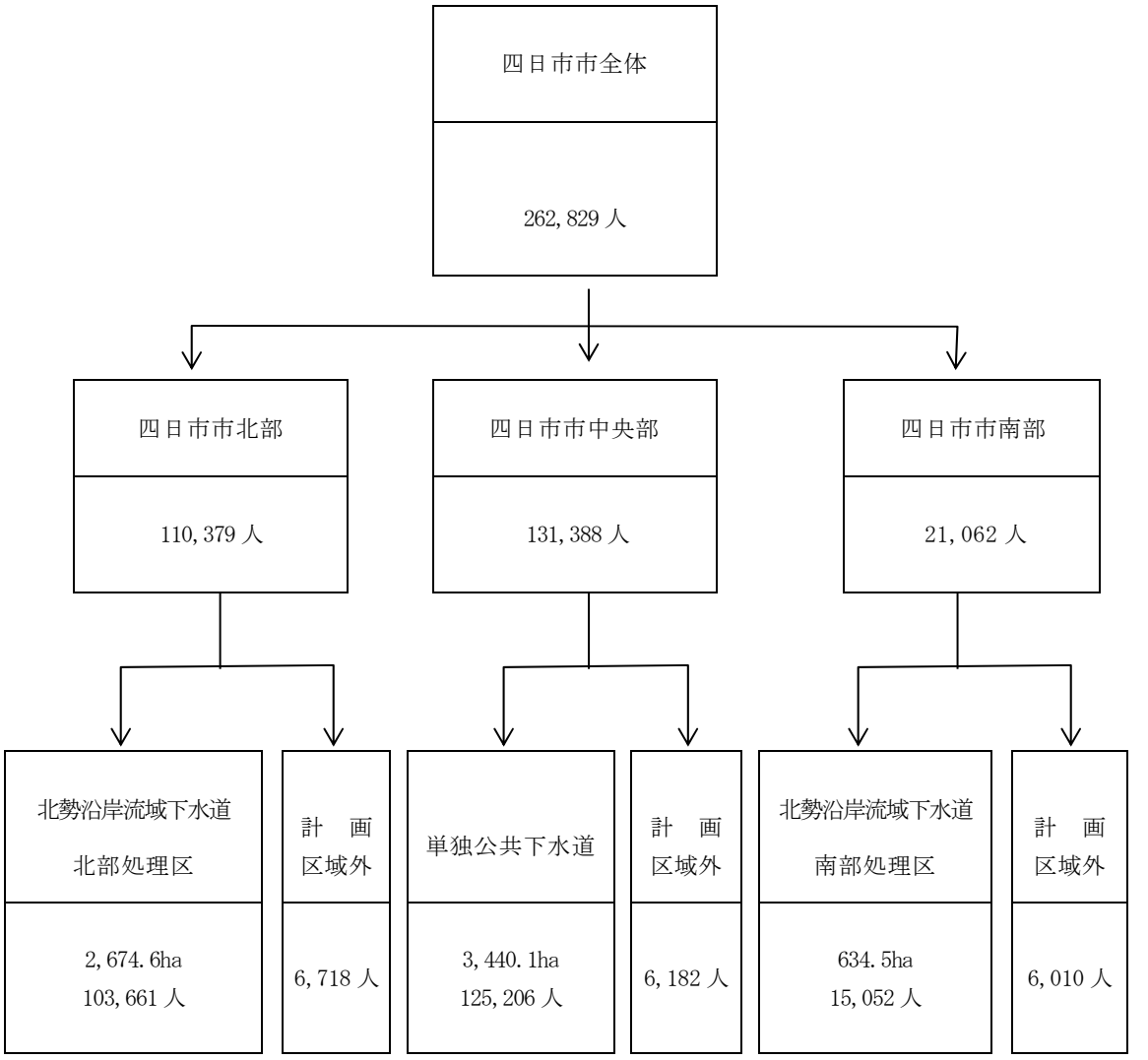


処理区別計画汚水量

令和７年３月　四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画書

処理区名	市町村名	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画汚水量 (m^3/日最大)
北勢沿岸流域下水道 （北部処理区）	**四日市市**	**2,674.6**	**103,661**	**52,384**
	桑名市	3,312.6	106,407	58,749
	いなべ市	2,169.9	33,690	18,525
	東員町	989.2	20,993	10,180
	菰野町	1,637.7	28,899	15,035
	朝日町	289.4	10,672	4,961
	川越町	581.6	15,016	8,927
	小計	11,655.0	319,338	168,760
北勢沿岸流域下水道 （南部処理区）	**四日市市**	**634.5**	**15,052**	**7,615**
	鈴鹿市	3,623.8	129,858	62,228
	亀山市	1,739.4	36,373	19,056
	小計	5,997.7	181,283	88,899
日　永処理区	**四日市市**	**3,440.1**	**125,206**	**63,403**
長　島処理区	桑名市	613.8	9,432	5,238
木曽岬処理区	木曽岬町	154.4	2,402	1,461
合　計		21,861.0	637,661	327,761

四日市市のフレーム



上段：計画面積

下段：計画人口

＊　人口については令和３０年を想定　（令和７年３月見直しによる）

行政人口	２６２，８２９人
処理区域人口	２４３，９１９人
処理区域外人口	１８，９１０人
全体計画処理面積	６，７４９．２ha

(2) 流域下水道計画

北勢沿岸流域下水道（事業主体　三重県）

処　理　区	北　部　処　理　区	南　部　処　理　区
全体計画		
区　　域	四日市市の三滝川、海蔵川以北の地域	四日市市の内部川以南、鈴鹿市までの地域
関係市町	四日市市の北部地域、 桑名市、いなべ市、東員町 川越町、朝日町、菰野町	四日市市の南部地域、 鈴鹿市、亀山市
計画面積	11,654.90 ha	5,997.63 ha
計画人口	350,387 人	201,053 人
日最大汚水量	182,700 m^3/日	102,024 m^3/日
浄化センター （面積）	北部浄化センター （約 37.7ha）	南部浄化センター （約 19.7ha）
幹線管渠延長	約　97.7 km	約　39.4 km
計画目標年次	令　和　２２　年	令　和　２２　年
事業計画		
計画面積	10,206.97 ha ＊ 2,517.11 ha	4,681.19 ha ＊ 559.73 ha
整備計画人口	343,214 人 *111,181 人	166,070 人 ＊ 19,277 人
日最大汚水量 （整備対象）	176,200 m^3/日 ＊ 56,130 m^3/日	90,906 m^3/日
〃 （処理対象）	162,900 m^3/日 ＊ 51,604 m^3/日	82,893 m^3/日 ＊ 9,974 m^3/日
幹線管渠延長	97,680 m 四日市幹線　23,320 m 川越幹線　840 m 朝日幹線　12,660 m 東員南部幹線　1,010 m	39,360 m 四日市南部幹線 1,100 m 楠幹線　4,950 m 鈴鹿川幹線　33,310 m
事　業　費	約 2,461 億円	約　1,330 億円
事業施行期間	昭和 51～令和 9 年度	昭和 62～令和 8 年度

＊：四日市市

(3) 公共下水道計画

区　　域		単独公共下水道	流域(北部処理区) 関連公共下水道	流域(南部処理区) 関連公共下水道	合　計
全体計画					
計画目標年次		令和２２年度	令和２２年度	令和２２年度	－
排除方式		分流式・合流式	分流式	分流式	－
処理面積 (ha)		3,440.10	2,674.63	634.45	6,749.18
処理人口 (人)		134,718	114,589	18,541	267,848
家庭汚水量原単位 (ℓ/人･日)	日平均	316	316	316	－
	日最大	422	422	422	－
	時間最大	632	632	632	－
日最大汚水量 (m^3/日)		73,173	58,115	9,762	141,050
排水面積 (ha)		3,855.9	3515.0	1,096.0	8,466.9
降雨強度式		I_{10}=8,114/(t+48)	I_{10}=8,114/(t+48)	I_{10}=8,114/(t+48)	－
時間降雨 (mm/hr)		75.1	75.1	75.1	－
事業計画					
施工期間 (年度)		S30～R8	S52～R9	H1～R8	
処理面積 (ha)		3,371.34	2,517.11	559.73	6,448.18
処理人口 (人)		133,449	101,696	19,277	254,422
家庭汚水量原単位 (ℓ/人･日)	日平均	325	379	316	－
	日最大	434	485	422	－
	時間最大	651	695	632	－
日最大汚水量 (m^3/日)		72,299	51,530	9,974	133,803
排水面積 (ha)		2,366.8	1,423.6	273.1	4,063.5
降雨強度式		I_5 =5,000/(t+40) ～ I_{10}=9,440/(t+58)	I_5 =5,000/(t+40) ～ I_{10}=8,114/(t+48)	I_{10}=8,114/(t+48)	－
時間降雨 (mm/hr)		50.0～81.0	50.0～75.1	75.1	－
幹線管渠延長 (m)		161,170	81,680	14,910	257,760
ポンプ場 (箇所)		20	4	7	31
処理場 (箇所)		1	－	－	1
雨水調整池・貯留管 (箇所)		7	－	－	7

※全体計画の単独公共下水道原単位については、流総計画値とする。

第２章　業務統計

１．整備状況 （令和７年度末）

① 汚水計画

区域	処理区名 排水区・地区	面積 計画	面積 整備	管渠 計画	管渠 整備	人口 計画	人口 整備	人口 水洗化
単独公共下水道	日永処理区	ha	ha	m	m	人	人	人
	橋北排水区	111.10	106.93	36,085	31,770	4,877	4,982	
	納屋 〃	143.30	143.30	41,902	42,109	6,606	7,723	
	阿瀬知 〃	182.10	181.21	51,503	44,931	13,020	11,960	
	常磐 〃	170.00	140.62	42,147	35,362	6,426	6,125	
	合流式小計	606.50	572.06	171,637	154,172	30,929	30,790	
	午起地区	60.00	38.43	11,923	10,210	1,560	1,257	
	常磐 〃	119.64	107.85	14,727	13,131	3,070	2,728	
	千歳 〃	60.60	10.68	7,977	3,147	164	170	
	大井の川 〃	34.00	25.51	8,072	5,636	418	233	
	南部第１ 〃	158.10	125.92	32,540	26,971	2,814	3,003	
	南部第２ 〃	71.10	64.15	19,389	17,580	1,180	1,864	
	笹川第１ 〃	231.00	71.14	35,825	18,836	3,927	1,737	
	笹川第２ 〃	204.30	165.79	45,748	37,046	11,277	9,161	
	笹川第３ 〃	172.60	124.27	39,675	30,233	7,991	7,112	
	笹川第４ 〃	477.20	236.36	65,039	46,643	13,919	13,109	
	笹川第５ 〃	170.50	159.64	41,444	38,893	10,953	9,021	
	川島第１ 〃	363.40	338.16	86,383	68,783	23,185	21,657	
	川島第２ 〃	244.80	222.73	61,512	60,670	12,401	12,037	
	桜 〃	199.80	191.08	72,760	62,633	11,862	11,056	
	高花平 〃	69.70	65.51	22,209	17,677	3,395	3,656	
	桜西 〃	76.30	70.50	14,334	16,071	1,427	1,517	(1,375) 特定環境保全公共下水道
	鈴鹿山麓研究学園都市 〃	51.80	19.69	3,885	3,048	0	0	
	分流式小計	2,764.84	2,037.41	583,442	477,208	109,543	99,318	
	計	**3,371.34**	**2,609.47**	**755,079**	**631,380**	**140,472**	**130,108**	**122,892**
流域関連公共下水道（北部処理区）	広永処理分区	80.88	65.88	18,144	13,878	2,049	1,746	
	伊坂台 〃	42.17	34.21	11,139	10,008	2,455	2,227	
	朝明西 〃	23.75	20.52	6,156	5,474	1,516	1,099	
	山城 〃	41.36	36.05	9,524	7,439	1,375	1,343	
	あかつき 〃	87.39	84.00	21,255	20,243	3,884	3,795	
	朝明南 〃	139.42	77.95	37,114	19,878	5,026	4,481	
	天カ須賀 〃	72.96	72.57	20,967	16,032	4,352	4,109	
	富田 〃	567.74	524.82	138,467	107,530	28,616	30,468	
	茂福 〃	228.72	199.53	59,701	47,160	8,060	9,634	
	羽津 〃	330.90	297.37	75,517	57,837	13,964	13,631	
	三ツ谷 〃	121.15	100.24	30,747	20,884	5,554	5,060	
	阿倉川 〃	243.07	222.82	66,499	46,255	14,408	13,636	
	野田 〃	27.74	19.88	7,182	4,160	1,462	1,225	
	三重 〃	493.56	274.21	108,764	70,755	18,051	14,807	
	江田川 〃	0.93	0.00	350	0	18	0	
	県 〃	13.52	13.00	3,706	2,159	391	394	
	赤水 〃	1.85	1.85	40	40	0	0	
	計	**2,517.11**	**2,044.90**	**615,272**	**449,732**	**111,181**	**107,655**	**101,275**
〃（南部処理区）	磯津処理分区	32.10	20.61	8,502	7,565	1,173	903	
	河原田東 〃	111.15	44.27	16,301	6,437	602	218	
	河原田西 〃	151.50	126.73	41,100	36,899	6,498	6,833	
	楠東部南 〃	54.50	34.89	11,753	7,892	1,107	859	
	楠南部 〃	76.44	76.44	25,854	25,186	3,974	3,583	
	楠中部 〃	66.24	64.41	15,748	15,370	2,414	2,333	
	楠西部 〃	64.40	59.03	18,938	18,697	3,264	3,005	
	楠東部北 〃	3.40	2.93	1,619	1,039	245	75	
	計	**559.73**	**429.31**	**139,815**	**119,085**	**19,277**	**17,809**	**16,750**
	合計	**6,448.18**	**5,083.68**	**1,510,166**	**1,200,197**	**270,930**	**255,572**	**240,917**

② 雨水計画

区域	排水区	面積		管渠	
		計画	整備	計画	整備
		ha	ha	m	m
単独公共下水道	橋北排水区	111.1	106.93	32,673	31,770
	納屋 〃	143.3	143.30	42,109	42,109
	阿瀬知 〃	182.1	181.21	46,921	44,931
	常磐 〃	170.0	140.62	38,571	35,362
	合流式 小計	606.5	572.06	160,274	154,172
	午起排水区	60.0	17.12	18,809	2,588
	落合長太 〃	483.4	72.37	85,375	10,633
	伊倉 〃	0.0	0.0	4,680	1,879
	千歳 〃	60.6	6.31	4,659	887
	大井の川 〃	47.1	27.29	18,150	3,514
	塩浜 〃	427.0	367.01	24,266	19,221
	雨池 〃	949.1	601.50	21,944	17,964
	桜台第１ 〃	73.0	73.00	10,999	13,691
	鹿化川第３ 〃	5.5	5.50	1,554	902
	鹿化川第４ 〃	16.4	16.40	3,706	3,195
	川島園 〃	23.0	23.00	2,671	2,745
	三滝台 〃	16.5	16.50	2,460	2,387
	三滝川第２ 〃	5.6	5.60	1,452	105
	高花平 〃	33.3	33.30	2,724	2,748
	泊山 〃	123.2	123.20	8,180	8,180
	笹川第１ 〃	43.1	43.10	3,711	3,711
	分流式 小計	2,366.8	1,431.20	215,340	94,350
	計	**2,973.3**	**2,003.26**	**375,614**	**248,522**
流域関連公共下水道（北部処理区）	広永排水区	90.5	11.29	20,126	2,405
	富田富洲原 〃	379.9	160.04	90,126	46,084
	朝明 〃	122.4	72.31	26,557	3,873
	茂福 〃	66.9	19.33	15,656	4,712
	羽津 〃	394.4	356.17	23,123	11,469
	羽津茂福 〃	139.0	66.60	44,246	14,654
	阿倉川 〃	94.7	5.89	60,867	1,352
	三重 〃	68.0	68.00	9,293	9,293
	坂部 〃	19.9	19.90	2,537	2,537
	あさけが丘 〃	23.3	23.30	2,464	2,464
	八千代台 〃	24.6	24.60	2,291	2,291
	計	**1,423.6**	**827.43**	**297,286**	**101,134**
〃（南部処理区）	磯津第１排水区	30.1	10.28	3,184	2,843
	磯津第２ 〃	3.3	3.30	450	450
	河原田 〃	72.6	6.88	9,043	2,447
	采女が丘 〃	39.2	39.20	11,187	11,187
	南川南五味塚 〃	85.9	10.76	9,269	4,921
	江川 〃	42.0	7.14	6,642	2,786
	計	**273.1**	**77.56**	**39,775**	**24,634**
	合計	**4,670.0**	**2,908.25**	**712,675**	**374,290**

２．受益者負担金制度

昭和３９年度から建設省令により賦課徴収を行ってきましたが、昭和４８年４月から条例に移行し賦課徴収を行っています。

処 理 区 名	単位負担金額（１㎡当り）
流域関連（北部処理区）公共下水道	
富田	108 円, 130 円, 150 円, 170 円
天ヵ須賀、茂福処理分区	130 円, 170 円
羽津、三ツ谷、阿倉川処理分区	130 円, 150 円, 170 円
朝明、野田、三重処理分区	150 円, 170 円
流域関連（南部処理区）公共下水道	
磯津、河原田東、河原田西処理分区	150 円, 170 円
楠町	500 円
単独公共下水道	
日永処理区	
合流地区(橋北、納屋、阿瀬知、常磐排水区)	96 円
午起、千歳、常磐地区	96 円
大井の川、南部地区	96 円, 150 円
川島、桜地区	108 円, 150 円, 170 円
笹川地区	130 円, 170 円
桜西、鈴鹿山麓研究学園都市地区	360 円
高花平処理区	130 円

受益者負担金調定額

（単位：円）

年度	調 定 額
5	54, 490, 880
6	31, 022, 810
7	39, 826, 980

３．下水道使用料

下水道の整備された区域では、四日市市公共下水道条例に基づいて、下水道使用料を徴収しています。このうち、水道水を使用した汚水については、給水量を汚水排水量として計算し、水道料金と同時に徴収します。また、地下水等の排水は、ポンプ能力・使用状況の届出に基づいて排水量を認定して徴収します。

消費税及び地方消費税の税率改定に伴い、令和元年 10 月に下水道使用料が変更となりました。

（令和元年 10 月改定）　　（1 か月につき）＜税込＞

汚水の種類	下水道使用料			単　価
一般汚水	基本使用料	5 ㎥　まで		715.00 円
	超過使用料	6 ㎥　～ 30 ㎥	1 ㎥につき	187.00 円
		31 ㎥　～ 100 ㎥	1 ㎥につき	275.00 円
		101 ㎥　～ 500 ㎥	1 ㎥につき	374.00 円
		501 ㎥ ～	1 ㎥につき	418.00 円
公衆浴場の汚水			1 ㎥につき	16.50 円
その他汚水	工事用		1 ㎥につき	418.00 円
	その他		1 ㎥につき	187.00 円

下水道使用料調定額

（単位：円）

年度	調　定　額
5	5,207,648,896
6	5,226,094,119
7	5,221,652,624

4. 用途別有収水量

年度 / 用途	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	有収水量 (㎥)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	有収水量 (㎥)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	有収水量 (㎥)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
一般汚水	25,232,725	99.87	99.37	25,325,959	99.90	100.37	25,339,430	99.93	100.05
公衆浴場の汚水	13,529	0.05	92.97	13,587	0.05	100.43	10,756	0.04	79.16
その他の汚水	20,329	0.08	340.06	12,469	0.05	61.34	6,867	0.03	55.07
合計	25,266,583	100.00	99.43	25,352,015	100.00	100.34	25,357,053	100.00	100.02

5. 用途別下水道使用料

年度 / 用途	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	下水道使用料（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	下水道使用料（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	下水道使用料（円）	構成比（%）	対前年度比（%）
一般汚水	5,199,742,088	99.85	99.37	5,221,525,433	99.91	100.42	5,219,442,997	99.96	99.96
公衆浴場の汚水	328,204	0.01	77.37	275,562	0.01	83.96	258,139	0.00	93.68
その他の汚水	7,578,604	0.15	479.69	4,293,124	0.08	56.65	1,951,488	0.04	45.46
合計	5,207,648,896	100.00	99.48	5,226,094,119	100.00	100.35	5,221,652,624	100.00	99.92

6. 水洗便所改造資金融資あっせん利子助成制度

宅内排水設備工事の融資を金融機関に斡旋するとともに、その利息に相当する金額を市が負担する制度です。

助成の種類	区　分	単　位	金　額	備　　考
融資あっせん 利子助成	くみ取り便所または浄化槽を改造するとき	申請１件につき	1,000,000円以内 (1万円単位)	融資銀行より貸付けの翌月から60ヶ月の元利均等で返済する

助成制度実績

（単位：円）

年度	貸付金等(融資斡旋額)		利子助成額	
	件数	金　　額	件数	金　　額
5	3	820,000	7	10,087
6	0	0	10	22,058
7	0	0	10	22,143

7. 私道内への共同排水管設置費補助制度

私道に隣接する関係者が共同排水管を設置する場合に、補助金を交付する制度です。

区　　分	金　　額
舗装あり	22,000 円／m
舗装なし	17,000 円／m

補助制度実績

（単位：円）

年度	件数	金　　額
5	0	0
6	0	0
7	0	0

8. 共同住宅排水管設置費補助制度

共同住宅は排水量が多く、周囲の環境に及ぼす影響が大きいことから、公共下水道へ直結する排水設備と水洗便所の普及促進を図ることにより生活環境を改善することを目的に、宅内排水設備工事費の一部を補助する制度です。

区　　分	金額（供用開始後 3 年以内）
舗装あり	14,000 円／m
舗装なし	11,000 円／m

補助制度実績

（単位：円）

年度	件数	金　　額
5	10	3,069,000
6	10	2,207,000
7	7	1,272,000

9. 水洗化工事積立奨励金（らくらく水洗化積立）

事前に金融機関等で専用口座を開設して１年以上積み立てていただき、この積立金を使って水洗化工事をした場合に奨励金が受けられる制度です（平成２３年度より施行)。

年度	申込み件数	支払い件数	支払い金額
5	16 件	23 件	373,300 円
6	17 件	8 件	192,900 円
7	3 件	9 件	121,200 円

10. 非課税世帯接続促進補助金

市民税非課税世帯へ工事費用の 1/2（上限額まで）を補助する制度です（平成３０年度から施行)。

年度	件数	金　　額
5	24 件	3,937,000 円
6	16 件	2,869,000 円
7	8 件	1,290,000 円

第３章　財務

１．比較損益計算書

科目＼年度		令和５年度 金額(円)	令和５年度 構成比(%)	令和５年度 対前年度比(%)	令和６年度 金額(円)	令和６年度 構成比(%)	令和６年度 対前年度比(%)	令和７年度 金額(円)	令和７年度 構成比(%)	令和７年度 対前年度比(%)
収益	**営業収益**	**9,659,001,265**	**63.20**	**100.43**	**9,684,833,632**	**63.69**	**100.27**	**9,752,387,492**	**64.12**	**100.70**
	下水道使用料	4,734,226,272	30.98	99.48	4,750,998,737	31.24	100.35	4,746,961,097	31.21	99.92
	負担金	4,590,320,000	30.03	101.17	4,627,416,000	30.43	100.81	4,680,289,000	30.77	101.14
	受託事業収益	88,281,471	0.58	102.86	62,920,689	0.42	71.27	65,669,875	0.43	104.37
	その他営業収益	246,173,522	1.61	104.32	243,498,206	1.60	98.91	259,467,520	1.71	106.56
	営業外収益	**5,625,011,123**	**36.80**	**96.90**	**5,521,725,437**	**36.31**	**98.16**	**5,456,703,396**	**35.88**	**98.82**
	受取利息及び配当金	162,945	0.00	83.23	0	0.00	0.00	587,671	0.00	－
	他会計補助金	1,566,282,000	10.25	100.89	1,383,836,000	9.10	88.35	1,200,808,000	7.89	86.77
	国庫補助金	5,050,000	0.03	－	5,500,000	0.04	108.91	5,500,000	0.04	100.00
	長期前受金戻入	4,006,423,912	26.21	95.18	4,085,002,725	26.86	101.96	4,169,763,338	27.42	102.07
	貸倒引当金戻入額	20,764,498	0.14	73.67	20,634,490	0.13	99.37	22,468,387	0.15	108.89
	雑収益	26,327,768	0.17	177.52	26,752,222	0.18	101.61	57,576,000	0.38	215.22
	特別利益	**112,545**	**0.00**	**2.33**	**142,068**	**0.00**	**126.23**	**78,731**	**0.00**	**55.42**
	過年度損益修正益	31,045	0.00	0.65	116,368	0.00	374.84	33,831	0.00	29.07
	その他特別利益	81,500	0.00	105.57	25,700	0.00	31.53	44,900	0.00	174.71
	合計	**15,284,124,933**	**100.00**	**99.07**	**15,206,701,137**	**100.00**	**99.49**	**15,209,169,619**	**100.00**	**100.02**
費用	**営業費用**	**12,857,031,164**	**90.80**	**100.34**	**12,877,071,726**	**90.64**	**100.16**	**12,963,378,910**	**90.41**	**100.67**
	管渠費	660,253,480	4.66	91.76	717,743,249	5.05	108.71	827,582,844	5.77	115.30
	ポンプ場費	948,474,583	6.70	95.02	1,034,269,385	7.28	109.05	1,013,904,698	7.07	98.03
	処理場費	824,346,251	5.82	93.14	822,923,111	5.79	99.83	761,805,519	5.31	92.57
	都市下水路費	228,535,998	1.61	120.77	207,726,885	1.46	90.89	139,732,686	0.97	67.27
	業務費	887,715,071	6.27	100.82	924,272,798	6.51	104.12	924,953,451	6.45	100.07
	総係費	335,737,138	2.37	138.77	250,772,671	1.77	74.69	244,578,606	1.71	97.53
	普及促進費	75,062,772	0.53	99.44	75,086,183	0.53	100.03	63,738,484	0.45	84.89
	受託費	87,776,269	0.62	102.95	61,340,584	0.43	69.88	63,815,349	0.45	104.03
	減価償却費	8,793,526,892	62.11	101.46	8,727,299,587	61.43	99.25	8,827,647,920	61.56	101.15
	資産減耗費	15,602,710	0.11	22.02	55,637,273	0.39	356.59	95,619,353	0.67	171.86
	営業外費用	**1,292,209,329**	**9.13**	**89.48**	**1,328,986,058**	**9.35**	**102.85**	**1,372,730,029**	**9.57**	**103.29**
	支払利息及び企業債取扱諸費	968,498,860	6.84	92.98	910,998,358	6.41	94.06	899,618,913	6.27	98.75
	水洗便所設置費補助金	0	0.00	－	429,000	0.00	－	0	0.00	0.00
	雑支出	323,710,469	2.29	80.41	417,558,700	2.94	128.99	473,111,116	3.30	113.30
	特別損失	**9,672,646**	**0.07**	**211.86**	**965,005**	**0.01**	**9.98**	**2,636,080**	**0.02**	**273.17**
	過年度損益修正損	9,672,646	0.07	211.86	965,005	0.01	9.98	2,636,080	0.02	273.17
	合計	**14,158,913,139**	**100.00**	**99.28**	**14,207,022,789**	**100.00**	**100.34**	**14,338,745,019**	**100.00**	**100.93**
当年度純利益		**1,125,211,794**	**－**	**－**	**999,678,348**	**－**	**－**	**870,424,600**	**－**	**－**

２．比較貸借対照表

科目＼年度	令和５年度			令和６年度			令和７年度		
	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）	金額（円）	構成比（%）	対前年度比（%）
固定資産	**225,204,429,443**	**96.50**	**98.91**	**223,951,376,857**	**96.69**	**99.44**	**224,818,590,967**	**96.00**	**100.39**
有形固定資産	218,554,773,512	93.65	98.96	217,485,584,470	93.90	99.51	218,582,171,615	93.34	100.50
土地	5,526,987,403	2.37	100.00	5,555,081,258	2.40	100.51	5,679,848,032	2.43	102.25
建物	7,844,413,430	3.36	95.34	7,563,195,683	3.26	96.42	7,197,714,568	3.07	95.17
構築物	182,685,900,224	78.27	99.04	180,501,840,808	77.93	98.80	180,072,600,203	76.89	99.76
機械及び装置	20,017,591,304	8.58	93.30	22,295,451,508	9.63	111.38	23,082,422,848	9.86	103.53
車両運搬具	14,247,970	0.01	72.44	14,715,196	0.01	103.28	9,076,556	0.00	61.68
工具器具及び備品	45,294,169	0.02	153.57	40,872,627	0.02	90.24	37,399,776	0.02	91.50
建設仮勘定	2,420,339,012	1.04	212.82	1,514,427,390	0.65	62.57	2,503,109,632	1.07	165.28
無形固定資産	6,645,641,931	2.85	97.46	6,461,778,387	2.79	97.23	6,232,405,352	2.66	96.45
施設利用権	6,640,658,331	2.85	97.45	6,456,794,787	2.79	97.23	6,227,421,752	2.66	96.45
電話加入権	4,983,600	0.00	100.00	4,983,600	0.00	100.00	4,983,600	0.00	100.00
投資その他の資産	4,014,000	0.00	100.00	4,014,000	0.00	100.00	4,014,000	0.00	100.00
その他投資	4,014,000	0.00	100.00	4,014,000	0.00	100.00	4,014,000	0.00	100.00
流動資産	**8,170,917,600**	**3.50**	**107.69**	**7,677,084,805**	**3.31**	**93.96**	**9,363,121,581**	**4.00**	**121.96**
現金預金	6,757,809,236	2.89	109.56	6,133,377,869	2.65	90.76	7,996,287,667	3.42	130.37
未収金	772,987,398	0.32	92.00	875,186,936	0.36	113.22	1,017,813,914	0.43	116.30
貸倒引当金	△ 25,000,000		92.59	△ 26,000,000		104.00	△ 10,000,000		38.46
前払金	665,120,966	0.29	109.74	694,520,000	0.30	104.42	359,020,000	0.15	51.69
資産合計	**233,375,347,043**	**100.00**	**99.19**	**231,628,461,662**	**100.00**	**99.25**	**234,181,712,548**	**100.00**	**101.10**
固定負債	**68,769,852,195**	**29.47**	**98.13**	**68,299,850,286**	**29.49**	**99.32**	**69,134,101,274**	**29.52**	**101.22**
企業債	67,488,915,884	28.92	98.09	67,051,320,209	28.95	99.35	67,891,786,684	28.99	101.25
引当金	1,280,936,311	0.55	100.38	1,248,530,077	0.54	97.47	1,242,314,590	0.53	99.50
退職給付引当金	629,460,098	0.27	100.78	597,053,864	0.26	94.85	590,838,377	0.25	98.96
修繕引当金	651,476,213	0.28	100.00	651,476,213	0.28	100.00	651,476,213	0.28	100.00
流動負債	**9,516,780,521**	**4.08**	**99.71**	**8,239,784,346**	**3.56**	**86.58**	**9,324,710,699**	**3.98**	**113.17**
企業債	4,952,762,306	2.12	97.89	4,482,395,675	1.94	90.50	4,548,133,525	1.94	101.47
未払金	4,480,721,345	1.92	101.44	3,666,222,337	1.58	81.82	4,673,873,872	2.00	127.48

科目＼年度	令和5年度 金額（円）	令和5年度 構成比（%）	令和5年度 対前年度比（%）	令和6年度 金額（円）	令和6年度 構成比（%）	令和6年度 対前年度比（%）	令和7年度 金額（円）	令和7年度 構成比（%）	令和7年度 対前年度比（%）
引当金	49,322,000	0.02	105.31	44,987,000	0.02	91.21	48,431,000	0.02	107.66
賞与引当金	49,322,000	0.02	105.31	44,987,000	0.02	91.21	48,431,000	0.02	107.66
その他流動負債	33,974,870	0.02	159.76	46,179,334	0.02	135.92	54,272,302	0.02	117.53
繰延収益	**87,959,181,101**	**37.69**	**98.12**	**86,934,092,681**	**37.53**	**98.83**	**86,637,968,685**	**37.00**	**99.66**
長期前受金	87,959,181,101	37.69	98.12	86,934,092,681	37.53	98.83	86,637,968,685	37.00	99.66
受贈財産評価額	11,499,805,031	4.93	98.09	11,361,943,253	4.90	98.80	11,266,237,305	4.81	99.16
国庫補助金	72,873,327,683	31.23	98.08	71,996,497,379	31.08	98.80	71,782,944,837	30.65	99.70
受益者負担金	2,387,585,251	1.02	100.43	2,346,470,012	1.01	98.28	2,313,543,129	0.99	98.60
工事負担金	304,400,848	0.13	95.69	290,824,161	0.13	95.54	277,403,139	0.12	95.39
負担金及び分担金	894,062,288	0.38	96.84	938,357,876	0.41	104.95	997,840,275	0.43	106.34
負債合計	**166,245,813,817**	**71.24**	**98.21**	**163,473,727,313**	**70.58**	**98.33**	**165,096,780,658**	**70.50**	**100.99**
資本金	**62,636,327,879**	**26.84**	**102.38**	**63,802,072,288**	**27.54**	**101.86**	**64,927,284,082**	**27.72**	**101.76**
自己資本金	62,636,327,879	26.84	102.38	63,802,072,288	27.54	101.86	64,927,284,082	27.72	101.76
剰余金	**4,493,205,347**	**1.92**	**93.11**	**4,352,662,061**	**1.88**	**96.87**	**4,157,647,808**	**1.78**	**95.52**
資本剰余金	2,202,249,144	0.94	100.00	2,227,771,919	0.96	101.16	2,287,544,860	0.98	102.68
受贈財産評価額	177,214,457	0.07	100.00	202,737,232	0.09	114.40	202,737,232	0.09	100.00
国庫補助金	2,025,034,687	0.87	100.00	2,025,034,687	0.87	100.00	2,084,807,628	0.89	102.95
利益剰余金	2,290,956,203	0.98	87.32	2,124,890,142	0.92	92.75	1,870,102,948	0.80	88.01
当年度未処分利益剰余金	2,290,956,203	0.98	87.32	2,124,890,142	0.92	92.75	1,870,102,948	0.80	88.01
資本合計	**67,129,533,226**	**28.76**	**101.70**	**68,154,734,349**	**29.42**	**101.53**	**69,084,931,890**	**29.50**	**101.36**
負債資本合計	**233,375,347,043**	**100.00**	**99.19**	**231,628,461,662**	**100.00**	**99.25**	**234,181,712,548**	**100.00**	**101.10**

3. 事業費用分析表

（税抜き）

区分＼年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		支出額	構成比	支出額	構成比	支出額	構成比
		円	%	円	%	円	%
人件費	給料・手当等	364,157,753	2.57	365,622,570	2.57	378,903,682	2.64
	法定福利費	79,780,213	0.56	78,283,588	0.55	79,978,783	0.56
	賞与引当金繰入額	32,020,000	0.23	28,608,000	0.20	30,496,000	0.21
	退職給付引当金繰入額	12,246,000	0.09	0	0.00	9,410,000	0.07
	小計	488,203,966	3.45	472,514,158	3.32	498,788,465	3.48
支払利息		968,498,860	6.84	910,998,358	6.41	899,618,913	6.27
減価償却費		8,793,526,892	62.11	8,727,299,587	61.43	8,827,647,920	61.56
動力費		460,198,521	3.25	505,268,159	3.56	490,121,036	3.42
修繕費		445,647,179	3.15	422,869,256	2.98	245,805,145	1.72
材料費		5,654,700	0.04	2,671,275	0.02	2,194,331	0.02
委託料		1,406,768,733	9.93	1,393,904,831	9.81	1,569,198,227	10.94
工事請負費		93,490,005	0.66	111,933,001	0.79	136,351,046	0.95
負担金		1,054,219,562	7.44	1,103,690,909	7.77	1,033,977,005	7.21
その他		442,704,721	3.13	555,873,255	3.91	635,042,931	4.43
合計		14,158,913,139	100.00	14,207,022,789	100.00	14,338,745,019	100.00

4. 比較資本的収支計算書

（税込み）

科目＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	円	円	円
企業債	3,639,600,000	4,044,800,000	5,388,600,000
他会計補助金	83,690,000	68,436,000	70,332,000
国庫補助金	1,873,780,580	2,525,759,113	3,329,721,074
負担金及び分担金	99,252,650	127,565,292	157,032,243
収入合計	5,696,323,230	6,766,560,405	8,945,685,317
建設改良費	6,573,433,263	7,804,968,688	10,234,962,249
償還金	5,059,715,546	4,952,762,306	4,482,395,675
支出合計	11,633,148,809	12,757,730,994	14,717,357,924
差引収支	△ 5,936,825,579	△ 5,991,170,589	△ 5,771,672,607

5. 企業債の概況

令和8年3月31日現在

借入先	未償還残高	構成比
	円	%
財務省	8,903,357,202	12.29
郵政管理・支援機構	7,825,632,429	10.80
地方公共団体金融機構	54,624,930,578	75.41
市中銀行	1,086,000,000	1.50
合計	72,439,920,209	100.00

６．財務分析表

Ａ 資産及び資本構成比率

項目		算出方法		7年度算式（単位：千円）		比率 5年度	6年度	7年度
1	固定資産構成比率（％）	固定資産 / 固定資産＋流動資産	×100	224,818,591 / 234,181,713	×１００	96.50	96.69	96.00
2	固定負債構成比率（％）	固定負債 / 負債資本合計	×100	69,134,101 / 234,181,713	×１００	29.47	29.49	29.52
3	自己資本構成比率（％）	資本金＋剰余金＋繰延収益 / 負債資本合計	×100	155,722,901 / 234,181,713	×１００	66.45	66.96	66.50
4	固定比率（％）	固定資産 / 資本金＋剰余金＋繰延収益	×100	224,818,591 / 155,722,901	×１００	145.21	144.40	144.37

Ｂ 回転率

（注）自己資本 ＝ 資本金 ＋ 剰余金 ＋ 繰延収益

項目		算出方法	7年度算式（単位：千円）	比率 5年度	6年度	7年度
5	自己資本回転率	営業収益－受託事業収益 / （期首自己資本＋期末自己資本）/2	9,686,718 / （310,811,728）/2	0.06	0.06	0.06
6	固定資産回転率	営業収益－受託事業収益 / （期首固定資産＋期末固定資産）/2	9,686,718 / （448,769,968）/2	0.04	0.04	0.04

Ｃ 損益に関する比率

（注）総資本 ＝ 負債・資本合計

項目		算出方法		7年度算式（単位：千円）		比率 5年度	6年度	7年度
7	総資本利益率（％）	当年度純利益 / （期首総資本＋期末総資本）/2	×100	870,425 / （465,810,174）/2	×１００	0.48	0.43	0.37
8	総収支比率（％）	総収益 / 総費用	×100	15,209,170 / 14,338,745	×１００	107.95	107.04	106.07
9	経常収支比率（％）	経常収益 / 経常費用	×100	15,209,091 / 14,336,109	×１００	108.02	107.04	106.09
10	営業収支比率（％）	営業収益－受託事業収益 / 営業費用－受託事業費用	×100	9,686,718 / 12,899,564	×１００	74.95	75.08	75.09
11	使用料単価（1㎥当たり円）	料金収入 / 有収水量		4,746,961,097（円） / 25,357,053（㎥）		187.37	187.40	187.20
12	処理原価（1㎥当たり円）	汚水処理費 / 有収水量		5,545,878,426（円） / 25,357,053（㎥）		225.69	219.87	218.71

第４章　施設

下水道施設一覧表

令和8年3月31日

汚水施設	合流施設	雨水施設	
浄化センター　１施設	中継ポンプ場　４施設	雨水ポンプ場　２０施設	雨水貯留施設　１０施設
小規模中継ポンプ場　１０施設	合流改善用滞水池　３施設	受託ポンプ場　２施設	その他　２施設
		地下ポンプ場　２２施設	

◎浄化センター　１施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
日永浄化センター第２系統	寿町2-8	345-1001	汚泥処理設備は月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	S50
日永浄化センター第３系統	大字日永1527-1		月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	S60
日永浄化センター第４系統	日永東２丁目5		〃	H28
日永浄化センター（焼却炉）	寿町2-8	347-1026	〃	S54

◎小規模中継ポンプ場　１０施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
智積汚水中継ポンプ場	智積町菅原3199-1		遠方制御（日永浄化センター第２系統） 月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	H10
高砂ポンプ場	尾上町20-4	354-3014	〃	S57
中央ポンプ場	日永東１丁目3-1	347-3892	〃	S54
泊汚水中継ポンプ場	泊小柳町2-16		〃	H14
釆女汚水中継ポンプ場	釆女町1846		〃　※制御は流入ゲートのみ	H19
南部第１中継ポンプ場	松泉町１	347-3894	〃	S59
南部第２中継ポンプ場	宮東町２丁目60	347-3895	〃	S63
磯津中継ポンプ場	大字塩浜3053-2	347-9679	遠方監視（雨池ポンプ場） (株)東産業へ委託	H7
海山道汚水中継ポンプ場	海山道町３丁目117-2		警報装置（日永浄化センター第２系統） 月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	H14
波木汚水中継ポンプ場	波木町880-3		〃	R5

◎中継ポンプ場　４施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
橋北ポンプ場	新浜町17-45	331-0640	遠方制御（日永浄化センター第２系統） 月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	S47
納屋ポンプ場	浜町5-15	353-1346	〃	S36
阿瀬知ポンプ場	西末広町1-17	353-4223	〃	S34
常磐ポンプ場	曙町28-1	352-8366	〃	S46
常磐ポンプ場（落合バイパス流入口）	曙町25	355-6347	〃	H1

◎合流改善用滞水池　３施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
橋北滞水池	新浜町		月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	H26
納屋滞水池	浜町		〃	H26
阿瀬知・常磐貯留管	北浜田町，十七軒町，新正		〃	H26

＜参考＞用途廃止済施設

施設名	所在地	供用開始	適　用
川島園中継ポンプ場	川島町5930-317	S50年度	R1年度末廃止
桜ヶ丘中継ポンプ場	桜町6618-56	S49年度	R2年度末廃止
工場排水機場（サンワ化成㈱、江南化工㈱）	楠町北五味塚1207-2	S45年度	R4年度末廃止

下水道施設一覧表

令和8年3月31日

◎雨水ポンプ場　　２０施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
朝明ポンプ場	川越町高松1479	365-7361	(株)四日市市生活環境公社へ委託	S47
新富洲原ポンプ場	富双二丁目	364-2170	〃　（四日市港管理組合との共有施設）	S59
茂福ポンプ場	富田浜町29-24	365-4021	〃	S31
白須賀ポンプ場	白須賀三丁目974	364-1972	〃	S62
羽津ポンプ場	大字羽津甲2690-6	332-1451	〃	S52
旧羽津ポンプ場	大字羽津甲2690-6		〃	S38
午起ポンプ場	午起３丁目18-16	334-1250	〃	H8
野田排水機場	野田１丁目4-2	332-7914	〃	S57
朝日町ポンプ場	西末広町1-17	353-4223	月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託	S26
落合ポンプ場	寿町480	345-2494	(株)四日市市生活環境公社へ委託	H2
落合ポンプ場（河川側流入口）	曙町２丁目4	348-3627	〃	S62
雨池ポンプ場	大字六呂見1606-1	345-2651	〃	S54
旧雨池ポンプ場	大井の川町１丁目	345-2652	〃	S37
大井の川ポンプ場	大浜町１	347-0025	〃	S64
塩浜第１ポンプ場	塩浜町1-35	345-5538	〃	S60
塩浜第２ポンプ場	塩浜町１	346-6379	〃	S44
塩浜第３ポンプ場	塩浜町１	346-9463	〃	S52
磯津第１ポンプ場	大字塩浜3001	345-1605	〃	H7
磯津第２ポンプ場	大字塩浜2429-3	346-7452	〃	S45
河原田ポンプ場	河原田町字鎌田1797-2	348-5020	〃	H18
新南五味塚ポンプ場	楠町南五味塚字中島1540	397-6345	〃	H30
吉崎ポンプ場	楠町吉崎83-1		〃	R2
内堀ポンプ場	貝塚町160-9		地元操作員へ委託	H4

◎受託ポンプ場　　２施設

施設名	所在地	電話番号	備考	供用開始
河原田排水機場	内堀町東浦地先	347-0315	国→市→地元操作員へ委託	S54
豊栄樋門排水機場	富田浜元町	364-3156	港→市→㈱四日市市生活環境公社へ委託（四日市港管理組合の所有施設）	S38

◎地下ポンプ場　　２２施設

施設名	所在地	電話番号	備考
富田浜元地下ポンプ場	富田浜元町1760		月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託
富田浜元第２地下ポンプ場	富田浜元町1761		〃
富田浜地下ポンプ場	富田浜町2266		〃
富田浜第２地下ポンプ場	富田浜町4-9		〃
茂福北村地下ポンプ場	南富田町33		〃
三滝通り地下ポンプ場	元新町6		〃
三滝通り第２地下ポンプ場	諏訪町15		〃
本町地下ポンプ場	本町		〃
安島地下ポンプ場	安島２丁目5-3		(株)東産業へ委託
浜田地下ポンプ場	北浜田町		月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託
八剣地下ポンプ場	赤堀３丁目		〃
新正地下ポンプ場	新正４丁目62-1		〃
納屋運河地下ポンプ場	尾上町		(株)東産業へ委託
大井の川地下ポンプ場	大井の川町１丁目3844-3		月島テクノ・親和電機共同企業体へ包括委託
塩浜地下道地下ポンプ場	馳出町１丁目53		〃
磯津第３地下ポンプ場	大字塩浜		〃
磯津第６地下ポンプ場	大字塩浜		〃
小倉新田地下ポンプ場	楠町小倉		〃
吉崎地下ポンプ場	楠町吉崎		〃
富田浜元町２８区画地下ポンプ場	富田浜元町		〃
六呂見排水路排水ポンプ	大字六呂見		下水維持課所管
霞ヶ浦南部排水路排水ポンプ	大字羽津		〃

◎雨水貯留施設　　１０施設

施設名	電話番号	所在地	供用開始
諏訪公園雨水調整池（貯水量 20,400m3）	353-1767	諏訪栄町22	H5
阿瀬知雨水１号幹線排水施設（貯水量 14,200m3）		朝日町	H20
中央通り貯留管排水施設（貯水量11,000m3）		三栄町	H22
浜田通り貯留管排水施設（貯水量 15,290m3）		昌栄町	R4
富田二丁目雨水調整池（貯水量 400.00m3）		富田二丁目	H15
富田四丁目雨水調整池（貯水量 654.01m3）		富田四丁目	H20
別名六丁目雨水調整池（貯水量 647.76m3）		別名六丁目	H21
日永西一丁目雨水調整池（貯水量 845.12m3）		日永西一丁目	H22
西阿倉川調整池（貯水量 500.00m3）※下水維持課所管		西阿倉川	H21
泊ヶ丘調整池（貯水量 9,130m3）※下水維持課所管		泊村	H30

◎その他　　２施設

施設名	電話番号	所在地	供用開始
富田・富洲原雨水１号幹線施設（除塵機設備）		富田一色町	H1
富田・富洲原雨水１号幹線施設（水処理施設）		東富田町	H9

浄化センター一覧表

令和8年3月31日

施設名称	供用開始	事業計画		現有能力	
		処理方式	処理能力 (m^3/日 最大)	処理方式	処理能力 (m^3/日 最大)
日永浄化センター 智積汚水 中継ポンプ場			116,500		92,100
第１系統 （寿町）	S40.7.1	―	―	(H28.5末廃止)	(8,600)
第２系統 （寿町）	S50.4.1	標準活性汚泥法	35,300	標準活性汚泥法	35,300
第３系統 （大字日永）	S60.4.1	標準活性汚泥法	32,400	標準活性汚泥法	32,400
第４系統 （日永東二丁目）	H28.4.1 (増設)R7.3.1	凝集剤併用型 ステップ流入式 多段硝化脱窒法	48,800	凝集剤併用型 ステップ流入式 多段硝化脱窒法	24,400

＜参　考＞　用途廃止済施設

施設名称	供用開始	能力　m3/日	備考
朝明浄化センター	S41.5.1	2,160	平成１７年度末廃止
高花平浄化センター	S37.4.1	3,110	平成１６年度末廃止
中部浄化センター	S48.8.21	3,825	平成７年度末廃止
坂部浄化センター	S44.7.1	2,100	平成８年度末廃止
泊山浄化センター	S45.7.1	6,480	平成６年度末廃止

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

小規模中継ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
智積汚水中継ポンプ場	汚水No.1-1	水中	鶴見	250	7.27	内蔵水中モーター		45 kW	R6		自動	○
	汚水No.1-2	水中	酉島	250	7.27	内蔵水中モーター		45 kW	R7		自動	○
	汚水No.2-1			150	(2.64)				計画			
	汚水No.2-2			150	(2.64)				計画			
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		14.54 (m3/min)							
高砂ポンプ場	汚水No.1	ブレードレス	日立	150	1.78	内蔵水中モーター		7.5 kW	H13		自動	○
	汚水No.2			150	(1.78)				計画			
	汚水No.3	ブレードレス	日立	150	1.78	内蔵水中モーター		7.5 kW	H13		自動	○
	雨水No.1	竪型斜流	三菱	450	21.60	モーター	三菱	30 kW	H2		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	鶴見	700	57.80	ディーゼルエンジン	ヤンマー	79 kW	H20		自動	○
	雨水No.3			700	57.80				計画			
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		3.56 (m3/min)							
	雨水	2	台		79.40 (m3/min)							
泊汚水中継ポンプ場	汚水No.1	水中	酉島	150	2.48	内蔵水中モーター		15 kW	H13		自動	○
	汚水No.2	水中	酉島	150	2.48	内蔵水中モーター		15 kW	H13		自動	○
	汚水No.3	水中		150	(2.48)	内蔵水中モーター		15 kW	計画			
	汚水No.4	水中		150	(2.48)	内蔵水中モーター		15 kW	計画			
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		4.96 (m3/min)							
中央ポンプ場	汚水No.1	水中	鶴見	250	8.00	内蔵水中モーター		30 kW	H22		自動	○
	汚水No.2	水中	鶴見	250	8.00	内蔵水中モーター		30 kW	H22		自動	○
	汚水No.3	水中	鶴見	300	12.00	内蔵水中モーター		45 kW	H22		自動	○
	汚水No.4	水中	鶴見	300	12.00	内蔵水中モーター		45 kW	H22		自動	○
	汚水No.5	水中	日立	300	12.00	内蔵水中モーター		45 kW	R6		自動	○
	汚水No.6(揚水)	水中	日立	300	(12.00)	内蔵水中モーター		37 kW	H3		自動	○
	汚水No.7(揚水)	水中	日立	300	(12.00)	内蔵水中モーター		37 kW	R6		自動	○
	汚水No.8(揚水)	水中	日立	300	(12.00)	内蔵水中モーター		37 kW	R6		自動	○
	バイパス用	水中	鶴見	300	9.00	内蔵水中モーター		45 kW	H16		自動	
	吐出量（小計）											
	汚水	6	台		61.00 (m3/min)	（揚水ポンプは除く）						

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

小規模中継ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
海山道汚水中継ポンプ場	汚水No.1	水中	新明和	150	2.58	内蔵水中モーター		5.5 kW	H13		自動	○
	汚水No.2	水中	新明和	150	2.58	内蔵水中モーター		5.5 kW	H13		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		5.16 (m3/min)							
南部第1中継ポンプ場	汚水No.1	水中	クボタ	150	2.25	内蔵水中モーター		15 kW	H21		自動	○
	汚水No.2	水中	クボタ	150	2.25	内蔵水中モーター		15 kW	H2		自動	○
	汚水No.3	水中	クボタ	150	2.25	内蔵水中モーター		15 kW	H21		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	3	台		6.75 (m3/min)							
南部第2中継ポンプ場	汚水No.1	水中	石垣	150	2.00	内蔵水中モーター		11 kW	S63		自動	○
	汚水No.2	水中	石垣	150	2.00	内蔵水中モーター		11 kW	S63		自動	○
	汚水No.3	水中	石垣	150	2.00	内蔵水中モーター		11 kW	H4		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	3	台		6.00 (m3/min)							
磯津中継ポンプ場	圧送No.1	吸込渦巻型	荏原	150	1.25	モーター	東芝	11 kW	H7		自動	2台の内いずれか1台
	圧送No.2	吸込渦巻型	荏原	150	1.25	モーター	東芝	11 kW	H7		自動	
	真空No.1	ﾛｰﾀﾘｰﾍﾞｰﾝ型	Busch	50	(3.9)	モーター	三菱	7.5 kW	H30		自動	4台の内いずれか3台
	真空No.2	ﾛｰﾀﾘｰﾍﾞｰﾝ型	Busch	50	(3.9)	モーター	三菱	7.5 kW	H30		自動	
	真空No.3	ﾛｰﾀﾘｰﾍﾞｰﾝ型	Busch	50	(3.9)	モーター	三菱	7.5 kW	H30		自動	
	真空No.4	ﾛｰﾀﾘｰﾍﾞｰﾝ型	Busch	50	(3.9)	モーター	三菱	7.5 kW	H30		自動	
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		2.50 (m3/min)	（真空ポンプは除く）						
采女汚水中継ポンプ場	汚水No.1	水中	クボタ	150	2.00	内蔵水中モーター		15 kW	H18		自動	○
	汚水No.2	水中	クボタ	150	2.00	内蔵水中モーター		15 kW	H18		自動	○
	汚水No.3	水中	クボタ	150	2.00	内蔵水中モーター		15 kW	H18		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	3	台		6.00 (m3/min)							
波木汚水中継ポンプ場	汚水No.1	水中	新明和	100	1.17	乾式水中形誘導電動機		18.5 kW	R5		自動	○
	汚水No.2	水中	新明和	100	1.17	乾式水中形誘導電動機		18.5 kW	R5		自動	○
	汚水No.3	水中	新明和	100	1.17	乾式水中形誘導電動機		18.5 kW	R5		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	3	台		3.51 (m3/min)							
小計	施設数	10	施設									
	ポンプ台数・吐出量（中央ポンプ場揚水ポンプ及び磯津中継ポンプ場真空ポンプを除く）											
	汚水	28	台		113.98 (m3/min)							
	雨水	2	台		79.40 (m3/min)							

ポンプ場一覧表

令和8年3月31日

公共下水道施設

中継ポンプ場（合流式）

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
中継ポンプ場	汚水No.1	竪型うず巻	クボタ	400	23.30	モーター	東芝	120 kW	H14		自動	
	汚水No.2	竪型うず巻	クボタ	400	23.30	モーター	東芝	120 kW	H14		自動	4台の内いずれか3台
	汚水No.3	竪型うず巻	クボタ	400	23.30	モーター	日立	120 kW	H4		自動	
	雨水No.4	竪型斜流	クボタ	800	90.00	モーター	日立	150 kW	S48		自動	
	雨水No.5	竪型斜流	荏原	1,200	255.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	520 kW	H30		自動	○
	雨水No.6	竪型斜流	石垣	1,200	255.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	520 kW	R2		自動	○
	雨水No.7	水中	荏原	800	80.00	内蔵水中モーター		90 kW	S63		自動	○
	雨水No.8	水中	荏原	800	80.00	内蔵水中モーター		90 kW	H1		自動	○
智積汚水												
	吐出量（小計）											
	汚水	3	台	69.90	(m3/min)							
	雨水	5	台	760.00	(m3/min)							
納屋ポンプ場	汚水No.1	水中	アイム	150	3.60	内蔵水中モーター		15 kW	H24		自動	○
	汚水No.2	水中	アイム	150	3.60	内蔵水中モーター		15 kW	H24		自動	○
	汚水No.3	竪型斜流	日立	300	12.00	モーター	日立	37 kW	S62		自動	○
	汚水No.4	竪型斜流	日立	300	12.00	モーター	日立	37 kW	H6	H12	自動	○
	汚水No.5	水中	日立	500	28.80	内蔵水中モーター		95 kW	S60		自動	○
	汚水No.6	水中	日立	500	28.80	内蔵水中モーター		95 kW	S60		自動	○
	雨水No.1	竪型軸流	日立	800	105.00	モーター	日立	90 kW	H11	H3	自動	○
	雨水No.2	竪型軸流	日立	1,200	195.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	175 PS	S41	H10	自動	○
	雨水No.3	横型斜流	日立	1,200	198.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	220 PS	H29	H9	自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	6	台	88.80	(m3/min)							
	雨水	3	台	498.00	(m3/min)							
阿瀬知ポンプ場	汚水No.1	水中	新明和	200	6.00	内蔵水中モーター		21 kW	H11		自動	○
	汚水No.2	竪型斜流	日立	300	9.04	モーター	日立	37 kW	S63		自動	○
	汚水No.3	竪型斜流	日立	450	27.00	モーター	日立	110 kW	S63		自動	○
	汚水No.4	竪型斜流	日立	600	44.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	250 PS	H6	H9	自動	○
	雨水No.1	水中	日立	800	72.00	内蔵水中モーター		110 kW	H10		自動	○
	雨水No.2	横型斜流	日立	1,000	127.17	ディーゼルエンジン	ヤンマー	180 PS	R7	H9	自動	○
	雨水No.3	横型斜流	日立	1,200	175.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	230 PS	R1	H10	自動	○
	雨水No.4	横型斜流	日立	1,200	175.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	230 PS	R3	H11	自動	○
	雨水No.5	水中	日立	800	80.00	内蔵水中モーター		90 kW	R6		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	4	台	86.04	(m3/min)							
	雨水	5	台	629.17	(m3/min)							
常磐ポンプ場	汚水No.2	竪型うず巻	酉島	400	22.70	モーター	明電舎	110 kW	H15		自動	2台の内いずれか1台
	汚水No.3	竪型うず巻	酉島	400	22.70	モーター	明電舎	110 kW	H12		自動	
	雨水No.1	竪型斜流	酉島	1,100	180.00	モーター	明電舎	330 kW	H14		自動	2台の内いずれか1台
	雨水No.2	竪型斜流	酉島	1,100	180.00	モーター	明電舎	330 kW	H10		自動	
	雨水No.3	竪型斜流	酉島	1,400	297.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	800 PS	H9		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	酉島	1,400	297.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	850 PS	H11		自動	○
	雨水No.5	竪型斜流	酉島	1,400	297.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	850 PS	H22		自動	○
	雨水No.6	竪型斜流	荏原	1,350	297.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	620 kW	R6		自動	○
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台	45.40	(m3/min)							
	雨水	6	台	1,548.00	(m3/min)							
小計	施設数	4	施設									
	ポンプ台数・吐出量											
	汚水	15	台	290.14	(m3/min)							
	雨水	19	台	3,435.17	(m3/min)							
	計	34	台	3,725.31	(m3/min)							

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

合流改善用滞水池

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
中継ポンプ場 智積汚水	汚水No.1	水中	新明和	150	1.20	内蔵水中モーター		7.5 kW	H25		自動	
	汚水No.2	水中	新明和	150	1.20	内蔵水中モーター		7.5 kW	H25		自動	
	貯水量											
	800.00 (m3)											
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		2.40 (m3/min)							
滞水池 納屋	貯水量											
	800.00 (m3)											
貯留管 阿瀬知・常磐	汚水No.1	水中	新明和	150	2.40	内蔵水中モーター		7.5 kW	H25		自動	
	汚水No.2	水中	新明和	150	2.40	内蔵水中モーター		7.5 kW	H25		自動	
	貯水量											
	2,000.00 (m3)											
	吐出量（小計）											
	汚水	2	台		4.80 (m3/min)							
小計	施設数											
	3	施設										
	滞水池貯水量											
	3,600.00 (m3)											
	ポンプ台数・吐出量											
	汚水	4	台		7.20 (m3/min)							

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

雨水ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
智積汚水中継ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	荏原	1,200	193.00	モーター	東芝	440 kW	S59		自動	○
	（モーター・エンジン両掛駆動）					ディーゼルエンジン	新潟	640 PS				
	雨水No.2	竪型斜流	荏原	2,000	582.00	ディーゼルエンジン	新潟	1800 PS	S59		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	荏原	2,000	582.00	ディーゼルエンジン	新潟	1800 PS	S59		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	荏原	2,000	582.00	ディーゼルエンジン	新潟	1800 PS	S61		自動	○
	雨水No.5	竪型斜流	荏原	2,000	582.00	ディーゼルエンジン	新潟	1800 PS	S61		自動	○
	雨水No.6	竪型斜流	荏原	2,000	582.00	ディーゼルエンジン	新潟	1800 PS	H5		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	6	台		3,103.00	(m3/min)						
茂福ポンプ場	雨水No.1	竪型軸流	酉島	1,200	157.00	モーター	明電舎	132 kW	S52		自動	
	雨水No.2	横型斜流	酉島	1,500	278.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	320 kW	S52	R6	自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	クボタ	1,000	120.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	130 kW	H24		自動	○
	雨水No.4	コラム水中	石垣	700	63.00	コラム式水中モーター		75 kW	H24		自動	○
	雨水No.5	コラム水中	石垣	700	63.00	コラム式水中モーター		75 kW	H24		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	5	台		681.00	(m3/min)						
白須賀ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	酉島	1,000	140.00	モーター	富士電機	185 kW	S62		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	酉島	1,800	470.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	900 PS	H1		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	酉島	1,800	470.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	900 PS	H7		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	酉島	1,800	490.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	900 PS	H12		自動	○
	工排No.1	水中	酉島	200	5.00	内蔵水中モーター		22 kW	H29		自動	
	工排No.2	水中	酉島	400	20.00	内蔵水中モーター		55 kW	H29		自動	
	工排No.3	水中	酉島	400	20.00	内蔵水中モーター		55 kW	H29		自動	
	吐出量（小計）											
	雨水	7	台		1,615.00	(m3/min)						
羽津ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	酉島	1,200	175.26	モーター	TMEIC	700 kW	S52	R7	自動	
	雨水No.2	竪型斜流	酉島	1,800	435.60	ディーゼルエンジン	ダイハツ	900 PS	S52		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	酉島	1,800	435.60	ディーゼルエンジン	ダイハツ	900 PS	S54		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	酉島	1,800	435.60	ディーゼルエンジン	ダイハツ	900 PS	S56		自動	○
	雨水No.5	竪型斜流	酉島	1,800	435.60	ディーゼルエンジン	ダイハツ	900 PS	S63		自動	○
	（旧ポンプ場）											
	雨水No.1	横型斜流	日立	1,300	210.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	300 PS	S37		手動	○
	雨水No.2	横型軸流	日立	1,300	210.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	250 PS	S37		手動	○
	雨水No.3	水中	新明和	300	20.00	内蔵水中モーター		37 kW	H2		自動	
	吐出量（小計）											
	雨水	8	台		2,357.66	(m3/min)						
午起ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	石垣	700	54.00	モーター	富士電機	110 kW	H7		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	石垣	1,500	300.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	800 PS	H7		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	石垣	1,500	300.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	800 PS	H8		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3	台		654.00	(m3/min)						
朝日町ポンプ場	雨水No.1	コラム水中	石垣	1,000	200.00	コラム式水中モーター		210 kW	H27		自動	○
	雨水No.2	コラム水中	石垣	1,000	200.00	コラム式水中モーター		210 kW	H27		自動	○
	雨水No.3	水中	鶴見	500	40.00	内蔵水中モーター		75 kW	S51		自動	○
	雨水No.4	水中	新明和	800	80.00	内蔵水中モーター		90 kW	S62		自動	○
	雨水No.5	水中	クボタ	800	80.00	内蔵水中モーター		132 kW	H5		自動	○
	雨水No.6	水中	酉島	800	58.00	内蔵水中モーター		90 kW	H9		自動	○
	雨水No.7	水中	新明和	500	30.00	内蔵水中モーター		75 kW	H13		自動	○
	＊（雨水No.7水中ポンプの製作年は平成６年以前）											
	吐出量（小計）											
	雨水	7	台		688.00	(m3/min)						

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

雨水ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
阿瀬知第2ポンプ場	雨水No.1			1,350	(202)				計画			
	雨水No.2			2,000	(475)				計画			
	吐出量（小計）											
	雨水	0 台			0.00 (m3/min)							
千歳ポンプ場	雨水No.1			700	(54.24)				計画			
	雨水No.2			1,000	(114.42)				計画			
	雨水No.3			1,000	(114.42)				計画			
	雨水No.4			1,000	(114.42)				計画			
	吐出量（小計）											
	雨水	0 台			0.00 (m3/min)							
落合ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	粟村	700	65.00	モーター	富士電機	90 kW	H2		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	粟村	1,650	380.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	630 PS	H2		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	粟村	1,650	380.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	630 PS	H2		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	粟村	1,650	380.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	630 PS	H4		自動	○
	雨水No.5	竪型斜流	粟村	1,650	380.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	630 PS	H6		自動	○
	雨水No.6	竪型斜流	粟村	1,650	380.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	630 PS	H15		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	6 台			1,965.00 (m3/min)							
雨池ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	荏原	1,650	342.00	モーター	TMEIC	370 kW	R7	R2	自動	○
	（モーター・エンジン両掛駆動）					ディーゼルエンジン	ヤンマー	420 kW		R2		
	雨水No.2	竪型斜流	荏原	1,650	342.00	モーター	TMEIC	370 kW	R4	R4	自動	○
	（モーター・エンジン両掛駆動）					ディーゼルエンジン	ヤンマー	420 kW		R4		
	雨水No.3	竪型斜流	荏原	2,800	1,013.00	ディーゼルエンジン	新潟	1700 PS	H13		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	荏原	2,800	1,013.00	ディーゼルエンジン	新潟	1700 PS	H2		自動	○
	雨水No.5	竪型斜流	荏原	2,800	1,013.00	ディーゼルエンジン	新潟	1700 PS	S63		自動	○
	（旧ポンプ場）											
	雨水No.1	竪型軸流	日立	1,800	435.00	モーター	日立	300 kW	S37		手動	
	雨水No.2								H28廃止			
	雨水No.3	横型軸流	荏原	800	72.00	モーター	日立	75 kW	S50		自動	○
	雨水No.4								H28廃止			
	雨水No.5	水中	新明和	800	80.00	内蔵水中モーター		90 kW	S50		自動	○
	雨水No.6	水中	新明和	500	40.00	内蔵水中モーター		75 kW	S50		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	9 台			4,350.00 (m3/min)							
大井の川ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	粟村	700	70.00	モーター	富士電機	110 kW	S63		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	粟村	1,000	140.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	230 kW	S63	R6	自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	粟村	1,000	140.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	300 PS	S63		自動	○
	雑排	水中	粟村	250	6.00	モーター		15 kW	S63		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	4 台			356.00 (m3/min)							
塩浜第1ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	日立	1,000	150.00	モーター	日立	245 kW	R6		自動	
	雨水No.2	竪型斜流	日立	1,500	340.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	820 PS	S62		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	日立	1,500	340.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	820 PS	H1		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3 台			830.00 (m3/min)							

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

雨水ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
塩浜第2ポンプ場	雨水No.1	横型斜流	日立	1,000	120.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	120 kW	H15		自動	○
	雨水No.2	横型斜流	日立	1,000	120.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	120 kW	H15		自動	○
	雨水No.3			450	(28.5)				計画			
	雨水No.4			450	(28.5)				計画			
	吐出量（小計）											
	雨水	2	台		240.00 (m3/min)							
塩浜第3ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	クボタ	1,000	150.00	モーター	TMEIC	260 kW	H21		自動	
	雨水No.2	竪型斜流	電業社	1,800	462.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	883 kW	S53	H24	自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	クボタ	1,800	462.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	883 kW	H22		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3	台		1,074.00 (m3/min)							
磯津第1ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	酉島	450	26.00	モーター	東芝	65 kW	H6		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	酉島	1,000	132.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	400 PS	H6		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	酉島	1,000	132.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	400 PS	H6		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3	台		290.00 (m3/min)							
磯津第2ポンプ場	雨水No.1	水中	新明和	300	16.00	内蔵水中モーター		37 kW	H1		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	日立	450	23.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	70 PS	H12		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	2	台		39.00 (m3/min)							
河原田ポンプ場	雨水No.1	立軸斜流	荏原	800	73.00	モーター	東芝	220 kW	H17		自動	○
	雨水No.2	立軸斜流	荏原	1,350	219.00	ディーゼルエンジン	三菱	630 kW	H17		自動	○
	雨水No.3	立軸斜流	荏原	1,350	219.00	ディーゼルエンジン	三菱	620 kW	H17		自動	○
	雨水No.4	立軸斜流	荏原	1,350	219.00	ディーゼルエンジン	三菱	620 kW	H30		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	4	台		730.00 (m3/min)							
新南五味塚ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	荏原	700	77.00	モーター	TMEIC	210 kW	H30		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	荏原	1,350	325.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	890 kW	H30		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	荏原	1,350	325.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	870 kW	H30		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3	台		727.00 (m3/min)							
吉崎ポンプ場	雨水No.1	立軸斜流	日立	600	60.00	モーター	日立	200 kW	R1		自動	○
	雨水No.2	立軸斜流	日立	1,200	216.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	690 kW	R1		自動	○
	雨水No.3	立軸斜流	日立	1,200	216.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	690 kW	R2		自動	○
	雨水No.4			1,800	(612)				計画			
	雨水No.5			1,800	(612)				計画			
	雨水No.6			1,800	(612)				計画			
	吐出量（小計）											
	雨水	3	台		492.00 (m3/min)							
小計	施設数	17	施設									
	ポンプ台数・吐出量											
	雨水	77	台		20,191.66 (m3/min)							

ポンプ場一覧表

令和8年3月31日

都市下水路施設および一般排水路施設

雨水ポンプ場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
中継ポンプ場 智積汚水	（都市下水路施設） （１号棟）											
	雨水No.1	竪型斜流	電業社	1,200	215.00	モーター	東芝三菱	340 kW	R3		自動	○
	雨水No.2	竪型斜流	荏原	1,200	215.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	400 kW	R2		自動	○
	雨水No.3	竪型斜流	荏原	1,350	293.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	495 kW	R2		自動	○
	雨水No.4	竪型斜流	荏原	1,350	293.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	440 kW	R6	H27	自動	○
	（２号棟）											
	雨水No.5	竪軸斜流	クボタ	1,500	260.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	800 PS	H14		自動	○
	雨水No.6	竪軸斜流	クボタ	1,500	260.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	800 PS	H14		自動	○
	雨水No.7	竪軸斜流	クボタ	1,500	260.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	588 kW	H17		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	7 台			1,796.00 (m3/min)							
野田排水機場	（一般排水路施設）											
	雨水No.1	水中	鶴見	350	15.00	内蔵水中モーター		30 kW	R1		自動	○
	雨水No.2	水中	新明和	500	31.00	内蔵水中モーター		75 kW	H5		自動	○
	雨水No.3	横型軸流	栗村	1,500	336.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	300 kW	S57	R4	自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3 台			382.00 (m3/min)							
内堀ポンプ場	（一般排水路施設）											
	雨水No.1	水中	酉島	700	60.00	内蔵水中モーター		110 kW	H4		自動	○
	雨水No.2	水中	酉島	700	60.00	内蔵水中モーター		110 kW	H4		自動	○
	雨水No.3	水中	酉島	700	60.00	内蔵水中モーター		110 kW	H4		自動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	3 台			180.00 (m3/min)							
小計	施設数（都市下水路施設）	1 施設										
	施設数（一般排水路施設）	2 施設										
	ポンプ台数・吐出量（都市下水路施設）											
	雨水	7 台			1,796.00 (m3/min)							
	ポンプ台数・吐出量（一般排水路施設）											
	雨水	6 台			562.00 (m3/min)							

ポンプ場一覧表

令和8年3月31日

国土交通省所管施設（受託事業）

河川排水機場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
智積汚水中継ポンプ場	雨水No.1	竪型斜流	三菱	1,200	180.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	184 kW	S54	R3	手動	○
	雨水No.2	竪型斜流	三菱	1,200	180.00	ディーゼルエンジン	ヤンマー	184 kW	S54	R4	手動	○
	吐出量（小計）											
	雨水	2	台		360.00 (m3/min)							

四日市港管理組合所管施設（受託事業）

高潮対策排水機場

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
豊栄樋門排水機場	雨水No.1	水中	荏原	800	90.00	内蔵水中モーター		110 kW	R1		自動	5台の内いずれか4台
	雨水No.2	水中	荏原	800	90.00	内蔵水中モーター		110 kW	R1		自動	
	雨水No.3	水中	荏原	800	90.00	内蔵水中モーター		110 kW	R1		自動	
	雨水No.4	水中	荏原	800	90.00	内蔵水中モーター		110 kW	R4		自動	
	雨水No.5	水中	新明和	500	40.00	内蔵水中モーター		75 kW	S50		自動	
	雨水No.6	横型斜流	鶴見	1,350	220.00	ディーゼルエンジン	ダイハツ	202 kW	H26	H14	自動	○
	＊雨水No.5は市所有設備											
	吐出量（小計）											
	雨水	6	台		620.00 (m3/min)							
小計	施設数	2	施設									
	ポンプ台数・吐出量											
	雨水	8	台		980.00 (m3/min)							

ポンプ場一覧表
地下ポンプ場

令和8年3月31日

名称	台数	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 ㎜	吐出量 m3/min	総吐出量 m3/min	動力/台	完成年度	可搬式発電機容量
智積汚水中継ポンプ場	＊全て、自動運転可能								
富田浜元地下ポンプ場	1	水中	新明和	200	9.00	9.00	21 kW	S48	
富田浜元第２地下ポンプ場	1	水中	鶴見	300	20.00	20.00	37 kW	S57	60
富田浜地下ポンプ場	1	水中	新明和	300	20.00	20.00	37 kW	S48	60
富田浜第２地下ポンプ場	1	水中	新明和	300	20.00	20.00	37 kW	S53	60
茂福北村地下ポンプ場	1	水中	新明和	350	25.00	25.00	37 kW	S50	
	1	水中	荏原	80	0.90	0.90	3.7 kW	H18	
安島地下ポンプ場	2	水中	新明和	350	25.00	50.00	37 kW	H3	60(1台分)
三滝通り地下ポンプ場	2	水中	久保田	450	28.80	57.60	95 kW	S60	
三滝通り第２地下ポンプ場	2	水中	久保田	450	28.80	57.60	95 kW	S61	
納屋運河地下ポンプ場	1	水中	鶴見	700	57.00	57.00	55 kW	H25	150(440V)
	1	水中	鶴見	400	13.00	13.00	15 kW	H25	
本町地下ポンプ場	1	水中	鶴見	400	24.00	24.00	37 kW	S58	60
浜田地下ポンプ場	1	水中	新明和	500	40.00	40.00	75 kW	H5	
	1	水中	新明和	350	25.00	25.00	37 kW	H5	60
八剣地下ポンプ場	1	水中	新明和	800	80.00	80.00	90 kW	S63	210(定置)
新正地下ポンプ場	1	水中 (No.1)	鶴見	150	2.50	2.50	3.7 kW	H2	
	1	水中 (No.2)	荏原	500	40.00	40.00	75 kW	H13	220(440V)
大井の川地下ポンプ場	1	水中	新明和	300	20.00	20.00	37 kW	S49	
塩浜地下道地下ポンプ場	2	水中	鶴見	80	0.50	1.00	1.5 kW	H10	
磯津第３地下ポンプ場	1	水中	鶴見	200	4.00	4.00	7.5 kW	H2	60(37kw非常用)
磯津第６地下ポンプ場	1	水中	鶴見	200	4.50	4.50	11 kW	S59	45
富田浜元町２８区画地下ポンプ場	3	水中	鶴見	200	4.77	14.31	22 kW	H17	60
六呂見排水路排水ポンプ ※下水維持課の維持管理施設	2	水中	鶴見	150	1.80	3.60	22 kW	H29	
施設数（公共下水道区域内施設）	19	施設							
ポンプ台数・吐出量									
雨水	30	台			589.01 (m3/min)				
（一般排水路施設）	＊全て、自動運転可能								
小倉新田地下ポンプ場	2	水中	鶴見	200	2.50	5.00	7.5 kW	H10,H29	
吉崎地下ポンプ場	1	水中	荏原	300	10.00	10.00	22 kW	H3	
霞ヶ浦南部排水路排水ポンプ ※下水維持課の維持管理施設	2	水中	新明和	150	2.46	4.92	18.5 kW	H31	
施設数（一般排水路施設）	3	施設							
ポンプ台数・吐出量									
雨水	5	台			19.92 (m3/min)				
施設数	22	施設							
ポンプ台数・吐出量									
雨水	35	台			608.93 (m3/min)				

ポンプ場一覧表

公共下水道施設

令和8年3月31日

雨水貯留施設

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
中継ポンプ場 智積汚水	雨水No.1	水中	酉島	250	7.00	内蔵水中モーター		37 kW	H5		自動	No.1は
	雨水No.2	水中	酉島	400	19.60	内蔵水中モーター		75 kW	H5		自動	可搬式発電機
	雨水No.3	水中	酉島	400	19.60	内蔵水中モーター		75 kW	H5		自動	(200V,75kVA)
	雨水No.4	水中	酉島	400	19.60	内蔵水中モーター		75 kW	H5		自動	取付可能
	貯水量											
					20,400.00 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		4	台	65.80 (m3/min)							
阿瀬知雨水1号幹線 排水施設	雨水No.1	水中	新明和	300	9.93	内蔵水中モーター		55 kW	H19		自動	可搬式発電機
	雨水No.2	水中	新明和	300	9.93	内蔵水中モーター		55 kW	H19		自動	(400V,200kVA)
	雨水No.3	水中	新明和	300	9.93	内蔵水中モーター		55 kW	H19		自動	取付可能
	貯水量	L=1932.94(φ3000)										
					14,200.00 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		3	台	29.79 (m3/min)							
中央通り貯留管 排水施設	雨水No.1	水中	荏原	200	5.10	内蔵水中モーター		37 kW	H21		自動	可搬式発電機
	雨水No.2	水中	荏原	200	5.10	内蔵水中モーター		37 kW	H21		自動	(200V,75kVA)
	雨水No.3	水中	荏原	200	5.10	内蔵水中モーター		37 kW	H21		自動	取付可能
	貯水量	L=554(φ5000),L=230(φ800)										
					11,000.00 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		3	台	15.30 (m3/min)							
浜田通り貯留管 排水施設	雨水No.1	水中	太平洋機工	300	10.62	電動機		110 kW	R4		自動	可搬式発電機
	雨水No.2	水中	太平洋機工	300	10.62	電動機		110 kW	R4		自動	(200V,400kVA)
	排砂	水中	太平洋機工	100	0.94	電動機		30 kW	R4		自動	取付可能
	貯水量	L=1028(φ4350)										
					15,290.00 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		3	台	22.18 (m3/min)							
富田二丁目 調整池	雨水No.1	水中	鶴見	150	3.00	内蔵水中モーター		11 kW	H15		自動交互	
	雨水No.2	水中	鶴見	150	3.00	内蔵水中モーター		11 kW	H15			
	貯水量											
					400.00 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		2	台	6.00 (m3/min)							
富田四丁目調整池	雨水No.1	水中	鶴見	100	1.68	内蔵水中モーター		3.7 kW	H20		自動交互	
	雨水No.2	水中	鶴見	100	1.68	内蔵水中モーター		3.7 kW	H20			
	雨水No.3	水中	鶴見	100	1.68	内蔵水中モーター		3.7 kW	H20		自動交互	
	雨水No.4	水中	鶴見	100	1.68	内蔵水中モーター		3.7 kW	H20			
	貯水量											
					654.01 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		4	台	6.72 (m3/min)							
別名六丁目 調整池	雨水No.1	水中	鶴見	100	1.80	内蔵水中モーター		7.5 kW	H21		自動交互	
	雨水No.2	水中	鶴見	100	1.80	内蔵水中モーター		7.5 kW	H21			
	貯水量											
					647.76 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		2	台	3.60 (m3/min)							
日永西一丁目 調整池	雨水No.1	水中	鶴見	100	1.80	内蔵水中モーター		5.5 kW	H21		自動交互	
	雨水No.2	水中	鶴見	100	1.80	内蔵水中モーター		5.5 kW	H21			
	貯水量											
					845.12 (m3)							
	吐出量（小計）											
	雨水		2	台	3.60 (m3/min)							

ポンプ場一覧表
公共下水道施設

令和8年3月31日

雨水貯留施設

名称	種類およびNo.	ポンプ型式	ポンプメーカー	口径 mm	吐出量 m3/min	原動機	原動機メーカー	動力	完成年度 ポンプ	完成年度 原動機	運転方式	自家発電機対象ポンプ
西阿倉川調整池	貯水量											
	500.00 (m3)											
	※下水維持課の維持管理施設											
泊ヶ丘調整池	貯水量											
	9,130.00 (m3)											
	※下水維持課の維持管理施設											
小計	施設数											
	10 施設											
	貯水量											
	73,066.89 (m3)											
	ポンプ台数・吐出量											
	雨水 23 台				152.99 (m3/min)							

ポンプ場集計表

令和8年3月31日

	施設数	ポンプ計		雨水ポンプ		汚水ポンプ	
		台数	m3/min	台数	m3/min	台数	m3/min
小規模中継ポンプ場	10	30	193.38	2	79.40	28	113.98
智積汚水 中継ポンプ場	4	34	3,725.31	19	3,435.17	15	290.14
合流改善用滞水池	3	4	7.20			4	7.20
雨水ポンプ場（公共下水道）	17	77	20,191.66	77	20,191.66		
雨水ポンプ場（都市下水路施設）	1	7	1,796.00	7	1,796.00		
雨水ポンプ場（一般排水路施設）	2	6	562.00	6	562.00		
雨水ポンプ場（受託施設）	2	8	980.00	8	980.00		
地下ポンプ場（公共下水道）	19	30	589.01	30	589.01		
地下ポンプ場（一般排水路施設）	3	5	19.92	5	19.92		
雨水貯留施設	10	23	152.99	23	152.99		
合計	71	224	28,217.47	177	27,806.15	47	411.32

＊計画、建設中のものは除く。

第２編　コミニティ・プラント事業

１．コミニティ･プラント事業の概要

四日市市の生活排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、合わせて公共用水域の水質保全に寄与するため、生活排水対策の一つとしてコミニティ・プラント（地域し尿処理施設）の整備事業を平成７年度から平成１４年度に小牧・神前地区の２地区を行いました。

○　小牧地区コミニティ・プラント（地域し尿処理施設）

整備事業年度	平成７年度～平成９年度	
供用開始	平成９年６月	
処理区域	小牧町、市場町の各一部（38.5ha）	
対象排水	し尿及び生活雑排水	
排除方式	分流式	
処理場位置	四日市市小牧町２２－１	
処理施設	処理方式	接触ばっ気方式
	計画人口	１，０５０人
	処理能力	４０５m^3／日最大
管路施設	延長	８，１６１ｍ（Φ２５０）
	マンホールポンプ	１ヶ所
	宅内マンホールポンプ	２ヶ所
総事業費	１，８５５百万円	

○　神前地区コミニティ・プラント（地域し尿処理施設）

整備事業年度	１期工事	平成１０年度～平成１２年度（処理場、曽井町、寺方町、高角町の一部）
	２期工事	平成１３年度～平成１４年度（高角町、菅原町）
供用開始	１期工事区域	平成１３年６月
	２期工事区域	平成１５年４月
処理区域	曽井町、寺方町、高角町、菅原町(三滝川の南側除く)（99.6ha）	
対象排水	し尿及び生活雑排水	
排除方式	分流式	
処理場位置	四日市市高角町９３７	
処理施設	処理方式	長時間ばっ気方式
	計画人口	２，９００人及び学校等
	処理能力	１，４３０m^3／日最大
管路施設	延長	３２，０３４ｍ（Φ１５０～４５０）
	マンホールポンプ	４ヶ所
	宅内マンホールポンプ	１ヶ所
総事業費	４，２６７百万円	

２．普及状況

年度	処理可能区域		水　洗　化		水洗化率
	戸数（戸）	人口（a）（人）	戸数（戸）	人口（b）（人）	(b)／(a)（%）
5	１，３３４	３，３６９	１，２８３	３，２４０	９６．２
6	１，３６１	３，４４４	１，３１４	３，３２５	９６．５
7	１，３８４	３，５０９	１，３４０	３，３９８	９６．８

※処理可能区域戸数は加入件数から空地等を除いた戸数

３．コミニティ・プラント使用料

使用料の額は、次の表に定める基本料金と人数割の合計額とします。

＜税込＞

区　分	使用料（１ヶ月につき）
基本料金	１戸当たり　２，２００円
人数割	１人当たり　５５０円

４．使用料調定額

（単位：円）

年度	調　定　額
5	５６，５６１，４５０
6	５７，３３９，１５０
7	５８，２１８，０５０

５．コミニティ・プラント処理施設

名　　称	所在地	供用開始年度	処理能力（㎥/日）	計画処理人口（人）	処理方式
小牧地区コミニティ・プラント	小牧町２２－１	Ｈ９	４０５	１,０５０	接触ばっ気方式
神前地区コミニティ・プラント	高角町９３７	Ｈ１３	１,４３０	２,９００	長時間ばっ気方式
計			１,８３５	３,９５０	

第３編　合併処理浄化槽設置整備事業

第１章　合併処理浄化槽設置整備事業の概要

本市においては、生活雑排水によって生じる公共用水域の水質汚濁及びこれに伴う生活環境の悪化を防止することを目的として合併処理浄化槽設置者に対して補助金の交付を行っています。

１．事業の変遷

昭和６３年４月	合併処理浄化槽設置者への補助の開始（下水道認可区域外）
平成　５年４月	下水道認可区域内の市単独補助も開始
平成　８年２月	国の生活排水対策重点地域に指定を受ける
平成　９年８月	下水道認可区域内の補助を区域外の半額（市単独）とし、整備予定２年以内を補助対象外
平成１０年８月	市街化調整区域の既存建築物に特別加算措置開始
平成１３年４月	特別加算措置を普及促進加算と改め、対象区域を下水道認可区域外に拡大
平成２４年４月	下水道法一部改正により公共下水道認可区域を公共下水道事業計画区域に変更
平成２５年４月	市単独補助を廃止し、転換補助の対象区域に下水道事業計画区域内で７年以上の区域も追加
令和　３年４月	国の交付金基準額の改定に伴い、補助額を改定。併せて、転換補助に関して、申請者及び同居者全員が 65 歳以上であり、市民税が非課税である場合に加算措置
令和　５年４月	国の交付金基準額の改定に伴い、補助額を改定。

２．合併処理浄化槽設置補助金額（令和７年度）

補助対象区域		下水道事業計画区域外　及び 下水道事業計画区域内で７年以上の区域 （数字は公共下水道施工予定年度までの期間）	
建築物 対象	１０人槽以下	専用住宅・地区集会所・併用住宅（※１）	
	１１～５０人槽	専用住宅・併用住宅	
補助の種類		新築補助金 （新築・改築・増築）	転換補助金 （汲み取り式便所又は 単独処理浄化槽からの転換）
浄化槽の大きさ	５人槽	１８０，０００円	５４０，０００円 （５９４，０００円　※２）
	６～７人槽	２３１，０００円	６４２，０００円 （７０６，０００円　※２）
	８～５０人槽	２９２，０００円	７６５，０００円 （８４１，０００円　※２）

※１　併用住宅：延床面積の 1/2 以上を自己の居住の用に供し、非居住用床面積が 50 ㎡以下の建築物

※２　申請者及び同居している者全員が 65 歳以上であり、市民税が非課税である場合は補助限度額が増額

３．近年の補助基数・補助事業費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
新築補助基数	１０２	９３	１００
転換補助基数	２５	１９	１２
市単独補助基数	１１	9	7
合計（基）	１３８	１２１	１１９
補助事業費（千円）	36,796	30,995	28,052

第２章　保健所政令市移行に伴う業務

平成２０年４月１日、四日市市が保健所政令市に移行したことに伴い、浄化槽に関する次の業務を三重県より権限委譲され、生活排水課で行っています。

１．浄化槽保守点検業者登録業務

平成２０年３月末現在、三重県で登録されていた保守点検業者を３年の有効期限をそのままに四日市市においてみなし登録業者としました。その後、四日市市において、浄化槽の保守点検業者の登録申請・更新事務を行っています。

年度	新規登録	登録更新	登録抹消	年度末現在の登録業者
令和５年度	１	１９	１	８０
令和６年度	１	４０	３	７８
令和７年度	１	１６	１	７８

２．合併処理浄化槽水質浄化促進業務

平成２５年度から、適正な維持管理をしている合併処理浄化槽に対して維持管理費の補助を行っています。

平成３０年度からの下水道使用料改定に伴って補助金額を改定しました。

令和３年度より、下水道事業計画区域の見直し等に伴って、補助金額を改定しました。

令和６年度より、浄化槽維持管理費の精査を行い、補助金額を改定しました。

Ｒ５年度（補助額：5～6 人槽…12,000 円、7～9 人槽…14,000 円、10～50 人槽…17,000 円）

Ｒ６年度より（補助額：5～6 人槽…16,000 円、7～9 人槽…18,000 円、10～50 人槽…22,000 円）

年　度	補助件数	補助金額
令和５年度	４，９７６件	６６，３４６千円
令和６年度	５，００６件	８７，２０６千円
令和７年度	５，０６８件	８８，２１４千円

農　業　集　落　排　水　事　業

はじめに

農業集落排水事業は、

農業集落地域では、農業用水路が生活排水の受け入れ先となっており、食の安全・安心の確保、農業生産の安定のためには、農業基盤と一体的な汚水処理施設の整備が不可欠であり、農業振興地域において、水質汚濁による農業被害の解消等を図るため、農業集落排水設備の整備を実施してきました。

本市では、昭和２９年に旧市に公共下水道事業を着手し、その他生活排水処理対策事業として、昭和５２年に農業集落排水事業に着手して、農業集落地域の生活環境の向上を図ってきました。

農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設の整備により、農業用用排水に水質の汚濁を防止し、農業集落地域の健全な水循環に資するとともに、農業集落の基礎的な環境の向上を図れます。

また、処理水の農業用水への再利用や汚泥の農地還元を行うことにより、農業の特質を生かした環境への負荷の少ない循環型社会の構築に貢献しています。



第１章　農業集落排水事業

１．農業集落排水事業の概要

四日市市の農業集落排水事業は、農業用用排水の水質保全、農業用用排水施設の機能維持又は農村の生活環境の改善を図り、併せて、公共用水域の保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水や汚泥を処理する施設、又は雨水を排水するための整備又は改築を行い、もって生産性の高い農業の実現と活力のある農村社会の形成及び循環型社会の構築に資することを目的として進めてきました。

2．農業集落排水事業のあゆみ 年表

年　　月	農　業　集　落　排　水　事　業　の　あ　ゆ　み
（昭和）	
52 年　　4 月	県地区農村基盤総合整備事業を県地区環境整備組合にて着手
54 年　　7 月	県地区浄化センターが運転開始
（平成）	
1 年　　4 月	小牧南地区を四日市市として農業集落排水事業にて着手
4 年　　4 月	狭間地区に着手
5 年　　4 月	小牧南地区浄化センターが運転開始
5 年　　11 月	県地区農村基盤総合整備事業の施設を帰属する
6 年　　4	水沢野田地区、水沢東地区に着手
7 年　　3 月	県地区機能強化
7 年　　4 月	堂ヶ山地区に着手
8 年　　4 月	狭間地区浄化センターが運転開始
9 年　　4 月	北小松地区に着手
10 年　　4 月	水沢野田地区浄化センターが運転開始
	水沢東地区浄化センターが運転開始
	鹿間地区に着手
11 年　　4 月	堂ヶ山浄化センターが運転開始
12 年　　4	北小松地区浄化センターが運転開始
	水沢中部地区に着手
13 年　　4 月	鹿間地区浄化センターが運転開始
14 年　　4	小西地区に着手
16 年　　3 月	県地区機能強化
19 年　　4 月	水沢中部地区浄化センターが運転開始
	事務の所管は上下水道局へ変更
20 年　　4 月	水沢東部地区に着手
20 年　　6 月	小西地区浄化センターが運転開始
21 年　　4 月	和無田地区に着手
27 年　　4 月	水沢東部地区浄化センターが運転開始
27 年　　9 月	和無田地区浄化センターが運転開始
（令和）	
3 年　　4 月	県地区を公共下水道に接続切替
6 年　　4 月	農業集落排水事業を公営企業会計化する

３．普及状況

年度	処理可能区域		水洗化		水洗化率
	戸数 戸	人口(a) 人	戸数 戸	人口(b) 人	(b)/(a) ％
5	２，１３８	５，６２０	１，９９６	５，２９９	９４．３
6	２，１４０	５，４８６	２，００２	５，１８３	９４．５
7	２，１３３	５，３６３	２，０００	５，０７４	９４．６

※処理可能区域戸数は加入戸数

４．集落排水施設使用料

使用料の額は、次の表に定める基本料金と人数割の合計額とします。

＜税込＞

区　　分	使用料（１ヵ月につき）
基　本　料　金	１戸当たり　　２，２００円
人　　数　　割	１人当たり　　５５０円

５．使用料調定額

（単位：円）

年度	調定額
5	９３，３３０，６００
6	９２，９２６，９００
7	９２，５３９，７００

令和8年3月31日

6. 農業集落排水処理施設

名　　称	所在地	供用開始年度	処理能力(m3/日)	計画処理人口(人)	処理方式
小牧南地区浄化センター	小牧町 3318－2	H5	154	570	嫌気ろ床槽併用 接触ばっき方式
狭間地区浄化センター	西日野町 1786－2	H7	65	240	嫌気ろ床槽併用 接触ばっき方式
水沢東地区浄化センター	水沢町 5296－2	H10	154	570	連続流入 間欠ばっき方式
水沢野田地区浄化センター	水沢野田町 1340－3	H10	73	270	連続流入 間欠ばっき方式
堂ケ山地区浄化センター	堂ケ山町 2280－2	H11	152	560	連続流入 間欠ばっき方式
北小松地区浄化センター	北小松町 168－1	H12	219	810	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
鹿間地区浄化センター	鹿間町 1857	H13	270	1,000	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
水沢中部地区浄化センター	水沢町 5043	H18	716	2,650	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
小西地区浄化センター	小山町 7563	H19	338	1,250	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
水沢東部地区浄化センター	水沢町字足見川 4781－2	H27	222	820	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
和無田地区浄化センター	和無田町 1520－2	H27	108	400	鉄溶液注入連続流入 間欠ばっき方式
計			2,471	9,140	

＜参　考＞

用途廃止済施設

名　　称	所在地	供用開始年度	処理能力(m3/日)	計画処理人口(人)	備考
県地区浄化センター	江村町 870	S54	165	500	令和 2年度末廃止

7. 農業集落排水事業整備状況　　令和7年度末現在

No.	処理区域	集落数	計画戸数（戸）	計画人口（人）	整備区域（ha）	事業費（百万円）	実施期間	供用開始年月
1	県 （北野、黒田、江村町）	3	110	500	11.0	185	S52～S54	S54. 7 R3年度に公共下水道へ切替
2	小牧南	1	142	570	14.0	432	H1～H5	H5. 4
3	狭間	1	60	240	5.0	382	H4～H7	H7. 4
4	水沢野田	1	70	270	11.8	403	H6～H9	H10. 4
5	水沢東	1	120	570	19.7	651	H6～H9	H10. 4
6	堂ケ山	1	120	560	12.0	548	H7～H10	H11. 4
7	北小松	1	194	810	14.1	562	H9～H11	H12. 4
8	鹿間	1	280	1,000	26.0	784	H10～H12	H13. 4
9	水沢中部 （宮妻、谷、三本松、西條、本、中谷、横堀）	7	645	2,650	113.6	1,773	H12～H18	H19. 4
10	小西 （小山、西山一部［東名阪以東地区域］）	2	313	1,250	34.4	1,450	H14～H20	H20. 6
11	水沢東部 （四ツ谷、茶屋、西山一部［東名阪以西区域］、桜町西一部）	4	225	820	31.1	1,062	H20～H26	H27. 4
12	和無田	1	118	400	9.6	521	H21～H27	H27. 9
	12地区	24集落	2,397	9,640	302.3	8,753	—	—

第２章　財務

１．比較損益計算書

科目＼年度		令和6年度 金額(円)	令和6年度 構成比(%)	令和7年度 金額(円)	令和7年度 構成比(%)	対前年度比(%)
収益	**営業収益**	**84,479,000**	**17.40**	**84,127,000**	**17.17**	**99.58**
	農業集落排水使用料	84,479,000	17.40	84,127,000	17.17	99.58
	営業外収益	**400,922,857**	**82.58**	**405,539,396**	**82.77**	**101.15**
	受取利息及び配当金	101,684	0.02	0	0.00	0.00
	他会計補助金	305,133,000	62.85	321,412,000	65.60	105.34
	長期前受金戻入	95,650,767	19.70	83,594,719	17.06	87.40
	貸倒引当金戻入額	0	0.00	200,000	0.04	－
	雑収益	37,406	0.01	332,677	0.07	889.37
	特別利益	**74,000**	**0.02**	**285,000**	**0.06**	**385.14**
	過年度損益修正益	74,000	0.02	285,000	0.06	385.14
	合計	**485,475,857**	**100.00**	**489,951,396**	**100.00**	**100.92**
費用	**営業費用**	**397,034,653**	**92.60**	**389,890,093**	**92.28**	**98.20**
	管渠費	38,380,026	8.95	47,226,456	11.18	123.05
	処理場費	161,639,107	37.70	189,271,546	44.79	117.10
	業務費	165,000	0.04	167,835	0.04	101.72
	総係費	30,414,088	7.09	9,962,915	2.36	32.76
	減価償却費	166,436,432	38.82	143,261,341	33.91	86.08
	営業外費用	**31,711,393**	**7.40**	**32,610,125**	**7.72**	**102.83**
	支払利息及び企業債取扱諸費	20,373,566	4.75	18,253,705	4.32	89.60
	雑支出	11,337,827	2.65	14,356,420	3.40	126.62
	特別損失	**0**	**0.00**	**7,000**	**0.00**	**－**
	過年度損益修正損	0	0.00	7,000	0.00	－
	合計	**428,746,046**	**100.00**	**422,507,218**	**100.00**	**98.54**
当年度純利益		**56,729,811**	**－**	**67,444,178**	**－**	**118.89**

２．比較貸借対照表

科目＼年度	令和６年度		令和７年度		
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	対前年度比(%)
固定資産	**3,649,659,707**	**94.13**	**3,506,398,366**	**93.18**	**96.07**
有形固定資産	3,649,659,707	94.13	3,506,398,366	93.18	96.07
土地	173,837,503	4.48	173,837,503	4.62	100.00
建物	201,559,008	5.20	193,672,239	5.15	96.09
構築物	3,014,638,009	77.75	2,914,122,751	77.44	96.67
機械及び装置	259,625,187	6.70	224,765,873	5.97	86.57
流動資産	**227,497,436**	**5.87**	**256,747,312**	**6.82**	**112.86**
現金預金	210,759,886	5.44	239,776,658	6.37	113.77
未収金	16,937,550	0.43	17,170,654	0.45	101.38
貸倒引当金	△ 200,000		△ 200,000		100.00
資産合計	**3,877,157,143**	**100.00**	**3,763,145,678**	**100.00**	**97.06**
固定負債	**1,008,512,696**	**26.01**	**901,033,627**	**23.94**	**89.34**
企業債	988,870,696	25.51	881,391,627	23.42	89.13
引当金	19,642,000	0.51	19,642,000	0.52	100.00
退職給付引当金	19,642,000	0.51	19,642,000	0.52	100.00
流動負債	**209,608,204**	**5.41**	**219,226,349**	**5.83**	**104.59**
企業債	108,535,163	2.80	107,479,069	2.86	99.03
未払金	98,283,041	2.54	109,807,780	2.92	111.73
引当金	2,268,000	0.06	1,934,000	0.05	85.27
賞与引当金	2,268,000	0.06	1,934,000	0.05	85.27
その他流動負債	522,000	0.01	5,500	0.00	1.05
繰延収益	**2,103,081,527**	**54.24**	**2,019,486,808**	**53.66**	**96.03**
長期前受金	2,103,081,527	54.24	2,019,486,808	53.66	96.03
受贈財産評価額	7,828,940	0.20	7,637,182	0.20	97.55
県補助金	1,854,908,059	47.84	1,779,358,271	47.28	95.93
負担金及び分担金	240,344,528	6.20	232,491,355	6.18	96.73
負債合計	**3,321,202,427**	**85.66**	**3,139,746,784**	**83.43**	**94.54**
資本金	**412,306,154**	**10.63**	**452,552,361**	**12.03**	**109.76**
自己資本金	412,306,154	10.63	452,552,361	12.03	109.76
剰余金	**143,648,562**	**3.71**	**170,846,533**	**4.54**	**118.93**
資本剰余金	86,918,751	2.24	86,918,751	2.31	100.00
県補助金	86,918,751	2.24	86,918,751	2.31	100.00
利益剰余金	56,729,811	1.47	83,927,782	2.23	147.94
当年度未処分利益剰余金	56,729,811	1.47	83,927,782	2.23	147.94
資本合計	**555,954,716**	**14.34**	**623,398,894**	**16.57**	**112.13**
負債資本合計	**3,877,157,143**	**100.00**	**3,763,145,678**	**100.00**	**97.06**

3. 事業費用分析表

（税抜き）

区分＼年度		令和6年度		令和7年度	
		支出額	構成比	支出額	構成比
		円	%	円	%
人件費	給料・手当等	22,951,449	5.35	20,277,075	4.80
	法定福利費	4,154,777	0.97	4,724,759	1.12
	賞与引当金繰入額	2,268,000	0.53	1,934,000	0.46
	退職給付引当金繰入額	19,642,000	4.58	0	0.00
	小計	49,016,226	11.43	26,935,834	6.38
支払利息		20,373,566	4.75	18,253,705	4.32
減価償却費		166,436,432	38.82	143,261,341	33.91
動力費		22,954,653	5.36	22,785,217	5.39
修繕費		6,950,500	1.62	21,539,000	5.10
委託料		144,497,033	33.70	165,678,600	39.21
工事請負費		781,000	0.18	3,273,000	0.77
負担金		1,952,595	0.46	1,724,715	0.41
その他		15,784,041	3.68	19,055,806	4.51
合計		428,746,046	100.00	422,507,218	100.00

4. 比較資本的収支計算書

（税込み）

科目＼年度	令和6年度	令和7年度
	円	円
収入合計	0	0
償還金	111,031,872	108,535,163
支出合計	111,031,872	108,535,163
差引収支	△ 111,031,872	△ 108,535,163

5. 企業債の概況

令和8年3月31日現在

借入先	未償還残高	構成比
	円	%
財務省	363,896,473	36.80
地方公共団体金融機構	624,974,223	63.20
合計	988,870,696	100.00

６．財務分析表

Ａ 資産及び資本構成比率

項目		算出方法		7年度算式（単位：千円）		比率 6年度	比率 7年度
1	固定資産構成比率（％）	固定資産 / 固定資産＋流動資産	×100	3,506,398 / 3,763,146	×１００	94.13	93.18
2	固定負債構成比率（％）	固定負債 / 負債資本合計	×100	901,034 / 3,763,146	×１００	26.01	23.94
3	自己資本構成比率（％）	資本金＋剰余金＋繰延収益 / 負債資本合計	×100	2,642,886 / 3,763,146	×１００	68.58	70.23
4	固定比率（％）	固定資産 / 資本金＋剰余金＋繰延収益	×100	3,506,398 / 2,642,886	×１００	137.26	132.67

Ｂ 回転率

（注）自己資本 ＝ 資本金 ＋ 剰余金 ＋ 繰延収益

項目		算出方法	7年度算式（単位：千円）	比率 6年度	比率 7年度
5	自己資本回転率	営業収益－受託事業収益 / (期首自己資本＋期末自己資本)/2	84,127 / 5,301,922/2	0.03	0.03
6	固定資産回転率	営業収益－受託事業収益 / (期首固定資産＋期末固定資産)/2	84,127 / 7,156,058/2	0.02	0.02

Ｃ 損益に関する比率

（注）総資本 ＝ 負債・資本合計

項目		算出方法		7年度算式（単位：千円）		比率 6年度	比率 7年度
7	総資本利益率（％）	当年度純利益 / (期首総資本＋期末総資本)/2	×100	67,444 / 7,640,303/2	×１００	1.43	1.77
8	総収支比率（％）	総収益 / 総費用	×100	489,951 / 422,507	×１００	113.23	115.96
9	経常収支比率（％）	経常収益 / 経常費用	×100	489,666 / 422,500	×１００	113.21	115.90
10	営業収支比率（％）	営業収益－受託事業収益 / 営業費用－受託事業費用	×100	84,127 / 389,890	×１００	21.28	21.58
11	使用料単価（1㎥当たり円）	料金収入 / 有収水量		84,127,000（円） / 528,520（㎥）		154.23	159.17
12	処理原価（1㎥当たり円）	汚水処理費 / 有収水量		338,905,499（円） / 528,520（㎥）		608.13	641.23

参　考　資　料

四日市市上下水道局協定一覧締結相手先一覧

事業者	所在地	協定名	締結日
（三重県） 大気・水環境課 （水道災害対策本部） 企業庁水道事業課 北勢水道事務所 （北勢ブロック） 四日市市（代表都市） 桑名市（連絡都市） 木曽岬町 いなべ市 東員町 菰野町 朝日町 川越町 鈴鹿市（連絡都市） 亀山町 （中勢ブロック） 津市（代） （南勢志摩ブロック） 松阪市（代） 伊勢市（連） 多気町 明和町 大台町 玉城町 南伊勢町 大紀町 度会町 鳥羽市（連） 志摩市 （東紀州ブロック） 尾鷲市（代） 熊野市（連） 紀北町 御浜町 紀宝町 （伊賀ブロック） 伊賀市（代） 名張市		三重県水道災害広域応援協定書	平成9年10月21日

株式会社野呂石油店	三重郡川越町高松1548	災害時における動力用燃料供給に関する協定書	平成11年9月1日
三重石商事株式会社	白須賀3丁目6-8	災害時における動力用燃料供給に関する協定書	平成11年9月1日
ナカイ石油商事株式会社	京 町 4-8 （油槽所： 楠町吉崎319-1）	災害時における動力用燃料供給に関する協定書	平成11年9月1日
鈴鹿市水道事業管理者		鈴鹿市への行政区域外給水について（協定書）	平成14年5月16日
三重県企業庁	津市広明町13番地	漏水事故等に係る相互協力に関する協定書	平成18年9月4日
日本水道協会 中部地方支部	名古屋市上下水道局総務課	日本水道協会中部地方支部災害時相互応援に関する協定	平成20年2月7日
日本水道協会愛知県支部	豊橋市上下水道局総務課		
日本水道協会三重県支部	津市水道総務課		
日本水道協会静岡県支部	静岡市水道総務課		
日本水道協会岐阜県支部	岐阜市上下水道事業政策室		
日本水道協会福井県支部	福井市経営企画課		
日本水道協会石川県支部	金沢市企業総務課		
日本水道協会富山県支部	富山市経営企画課		
日本水道協会長野県支部	長野市水道局総務課		
日本水道協会新潟県支部	新潟市水道局総務課		
四日市市指定 上下水道工事業者協同組合	四日市市芝田一丁目 2番9号	震災及び風水害等の緊急時における災害調査並びに災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年6月5日
聖建工株式会社	小牧町807番地5	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年7月29日
MHR株式会社	桜花台一丁目35番7 （桜花台1-51-2）	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年7月29日
社団法人 三重県建設業協会 四日市支部	四日市市栄町4番1号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定	平成20年7月29日
三重県公共嘱託登記 土地家屋調査士協会	津市鳥居町19番8号	災害発生時における調査及び支援活動に関する協定	平成20年7月29日
株式会社　上田新工業	河原田町1620-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年8月22日
片岡興建　有限会社	小牧町1177番地の1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年8月22日

有限会社　丸虎	山城町1723番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年8月28日
有限会社　紀州興業	生桑町830番地１	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年9月19日
有限会社　倉建	朝明町213 （朝明町1900番地）	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年9月19日
有限会社　新竜テック	中野町1363-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年9月19日
有限会社　南山工務店	桜町5313	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年9月19日
株式会社　谷総建	川島町3488-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年9月19日
株式会社　川口設備	桜町8483	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成20年12月4日
津市 四日市市 鈴鹿市 名張市 伊賀市 三重県企業庁		震災時等における水質検査機器の相互利用に関する協定	平成20年12月12日
菰野町長	菰野町大字潤田1250番地	菰野町への行政区域外給水について（協定書）	平成21年1月16日
菰野町長	菰野町大字潤田1250番地	四日市市への行政区域外給水について（協定書）	平成21年2月13日
有限会社　西山建設	大字東阿倉川489-2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月25日
センシン興業　株式会社	宮東町三丁目34番の1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月25日
株式会社　リョーケン	富士町5-12	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月25日
ＡＩ－ＣＲＯＳＳ株式会社	川島町6661-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月25日
有限会社　服部建設工業	平尾町2800-2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月26日

株式会社　ホクト	塩浜本町1-68	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月26日
新日本技研　株式会社	清水町4-45	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年5月28日
株式会社　大一興業	市場町1042-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年6月15日
有限会社　加藤道路	南小松町2461-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年6月15日
北三重技建　株式会社	八王子町2380-3	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年6月23日
有限会社　古市建材	青葉町800-116	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年7月13日
有限会社　小杉土木	東坂部町1023 （小杉新町96）	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年7月13日
有限会社　一創重建	水沢町田町1258	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年8月7日
有限会社　荒木建設	日永1-1-9	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年8月7日
株式会社　シンエイテクノ	日永二丁目2-23	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年8月7日
株式会社　五十嵐建設	水沢町3015-2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年8月19日
株式会社　シンカイ工業	八田一丁目12-17	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年8月28日
勢和建設　株式会社	御園町2-41	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年9月11日
河建興業　株式会社	南小松町1213	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年9月11日
有限会社　ヤマコウ	桜台1-26-90	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年9月11日
株式会社　東産業	野田一丁目8-38	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成21年12月25日

株式会社　豊建工	別名二丁目11-4	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年1月27日
株式会社　奥野工業	中川原３丁目5-9 （事務所） 塩浜本町2丁目876－1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年5月28日
株式会社　新田組	川島町5997-2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年6月25日
大東電気株式会社	海山道町1丁目1582-5	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年7月25日
有限会社　古市興業	三重3-25	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年8月26日
株式会社　第一電気工業	笹川3-33	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年8月26日
株式会社　新川組	小古曽一丁目1-20	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年9月6日
株式会社酉島製作所 名古屋支店	名古屋市中区錦一丁目 5番15号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成22年9月22日
川越町長	川越町大字豊田一色 280番地	川越町への行政区域外給水について（協定書）	平成22年11月25日
株式会社服部土建	小杉町1066番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年11月29日
北勢電気株式会社	平町19番8号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年12月2日
林電気工事株式会社	塩浜本町三丁目33番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年12月2日
株式会社横山組	三ツ谷町9番12号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成22年12月16日
株式会社みやび創建	南富田町4番26号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年1月6日
株式会社コーストメイト	高砂町1番6号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年1月6日
四日市市 測量設計技術研究会	四日市市高角町2643	災害発生時における調査及び支援活動に関する協定	平成23年1月24日

有限会社　呉山組	生桑町548番地の1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年3月29日
株式会社石垣　名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目4番3号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成23年3月31日
守成建設株式会社	川北一丁目60番地1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年5月16日
有限会社 エス・ワイサービス	山之一色町1033番地の177	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年6月21日
株式会社　伊勢森建設	楠町北一色227番地の1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年7月5日
株式会社　伊藤興業	西村町3850	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年9月15日
日耕機電株式会社	名古屋市中区新栄一丁目7番7号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成23年11月17日
三重県石油商業組合 北勢支部	四日市市川原町30-3	災害時における石油類燃料の供給に関する協定書	平成23年12月19日
株式会社　清倉商店	西村町3850	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成23年12月26日
幸和産業株式会社	日永西五丁目7番22号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成24年2月8日
有限会社　セフテック	采女町1926番地の2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成24年2月27日
三重県 三重県市長会 三重県町村会		三重県市町災害時応援協定	平成24年8月23日
新潟県・富山県・石川県 長野県・岐阜県・静岡県 愛知県・三重県・福井県 滋賀県・名古屋市・静岡市 浜松市・新潟市		下水道事業災害時中部ブロック支援に関するルール（県内市町の相互応援で対応できない場合）	平成24年8月24日
福井県・滋賀県・京都府 大阪府・兵庫県・奈良県 和歌山県・三重県・徳島県 大阪市・堺市・京都市 神戸市		下水道事業災害時近畿ブロック支援に関する申し合わせ（県内市町の相互応援で対応できない場合）	平成24年11月1日

大豊建設株式会社 三重営業所	海山道町一丁目1453番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成24年12月20日
広伸建設	堀木二丁目17番4号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成25年3月13日
株式会社 エイ・エス・ケイ・クラフト	幸町1番21号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成25年3月28日
大日本土木株式会社 三重営業所	西浦二丁目2番21号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成25年4月4日
三重県下水道課 （下水道対策本部） 津市・四日市市・伊勢市 松阪市・桑名市・鈴鹿市 名張市・亀山市・鳥羽市 いなべ市・志摩市・伊賀市 木曽岬町・東員町・菰野町 朝日町・川越町・多気町 明和町・大台町・玉城町 南伊勢町・御浜町 三重県北勢流域下水道事務所 三重県中勢流域下水道事務所 三重県伊勢建設事務所 宮川下水道室		三重県の下水道事業における災害時相互応援に関するルール （三重県市町災害時応援協定に基づき運用）	平成25年5月30日
株式会社西原環境 中部支店	名古屋市東区葵三丁目15番31号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成25年6月24日
東員町水道事業管理者	東員町大字山田1600番地	東員町への行政区域外給水について（協定書）	平成25年7月4日
有限会社　幸工業	三ツ谷町11番20号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成25年9月26日
三菱化工機株式会社 名古屋支店	名古屋市中村区名駅3丁目21番4号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成25年10月15日
株式会社富洋組	高角町918番地の2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年5月28日
メタウォーター株式会 営業本部　中日本営業部	名古屋市瑞穂区須田町2番56号	災害時における災害対策の協力に関する協定書	平成26年6月2日
株式会社　藤正建設	大矢知町557-7	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年6月26日

株 式 会 社 ワールドスポーツ施設	大矢知町510番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年7月8日
株式会社 音羽コーポレーション	智積町字段田1941-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年7月11日
株式会社丸島 アクアシステム	大阪市中央区谷町5丁目3-17	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年7月11日
株式会社三重水道センター	大字羽津4636番地2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年9月25日
株式会社コウシンテクノ	川島町4937	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年9月26日
ＣＧＣ	東阿倉川524	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年11月14日
株式会社日立製作所 中部支社	名古屋市中区栄三丁目17番12号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成26年12月1日
株式会社フソウ 名古屋支店	名古屋市中村区名駅南2-14-19	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年3月9日
前澤工業株式会社 名古屋支店 株式会社 前澤エンジニアリング サービス 名古屋営業所	名古屋市中区錦二丁目14番21号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年3月10日 （前澤工業・前澤ESとの3者協定）
株式会社新美興業	西富田三丁目6-15	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成28年3月28日
第一環境株式会社中部支部	名古屋市中村区名駅3丁目31-10	災害等発生時における応援に関する協定書	平成28年4月1日
株式会社三扇	笹川三丁目127	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成28年6月20日
三愛物産株式会社 三重支店	津市藤方1165-1	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年6月20日
住友重機械 エンバイロメント株式会社 中部支店	名古屋市東区東桜一丁目10番24号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年7月21日
株式会社 神鋼環境ソリューション 名古屋支店	名古屋市西区名駅二丁目27番8号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年8月25日

株式会社荏原製作所 中部支社	名古屋市西区菊井二丁目22番7号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年8月30日
アクアドック株式会社	四日市市楠町南五味塚831番地	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年9月2日
株式会社 トヨタトータルデザイン	智積町3196番地の1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成28年11月14日
株式会社ＰＲＯＡＤ	楠町本郷154-6-2F	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成28年11月15日
株式会社フジタ 三重営業所	鵜の森一丁目3-2-4階	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成28年11月17日
泗水電機株式会社	四日市市小古曽東二丁目9番40号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年11月17日
株式会社明電舎　中部支社	名古屋市中区錦一丁目17番13号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成28年12月22日
株式会社鴻池組 三重営業所	鵜の森一丁目3-23-8階	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年1月25日
株式会社 カワサキグリーン	小杉町1003	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年2月17日
株式会社奥村組 三重営業所	鵜の森一丁目3-15	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年2月20日
株式会社大林組 名古屋支店	名古屋市東区東桜1-10-19	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年3月6日
株式会社 電業社機械製作所	名古屋市中区栄二丁目4番18号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成29年3月9日
株式会社名阪造園	野田二丁目5-23	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年3月27日
有限会社麗峰園	生桑町55	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年4月11日
有限会社舘造園	小杉町624-4	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年4月18日
有限会社三杉造園	小杉町21	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年4月19日

有限会社三景造園	尾平町2381-2	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年4月20日
株式会社千草園	大字塩浜133-1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年4月25日
藤谷造園株式会社	生桑町718	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年5月1日
有限会社香雅造園	智積町723-6	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年5月18日
クボタ機工株式会社 中部営業所	名古屋市中村区名駅三丁目22番8号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成29年5月30日
有限会社エクステクノ	波木町389-81	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年6月1日
株式会社鶴見製作所 中部支店	名古屋市中村区牛田通二丁目19番地	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成29年7月6日
有限会社福森工業	高花平一丁目1-124	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年10月20日
五洋建設株式会社 三重営業所	安島一丁目7-12 向陽2ビル2階	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成29年12月4日
一般社団法人 三重水門・水環境施設協会	河原田町1620番地1	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年1月4日
公益社団法人 日本下水道管路管理業協会	東京都千代田区岩本町二丁目5番11号	災害時における復旧支援協力に関する協定書	平成30年1月22日
有限会社岩田造園	江村町920-5	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年2月7日
新菱工業株式会社 名古屋支店	名古屋市中区栄3丁目1-1 広小路本町ビルディング2階	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成30年4月12日
株式会社安川電機 名古屋営業所	名古屋市熱田区池内町1-19	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成30年5月18日
株式会社守谷商会 名古屋支店	名古屋市中区栄三丁目1-1 広小路本町ビルディング3階	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成30年5月29日
有限会社ワイエスシー	西富田三丁目2番37号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年6月6日
鹿島建設株式会社 中部支店	名古屋市中区新栄町二丁目14番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年6月25日

吉田工業株式会社	名古屋市港区新茶屋五丁目3011番地	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年6月25日
大成建設株式会社 三重営業所	津市丸之内24番16号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年7月27日
アルクシステム株式会社	羽津中一丁目7番9-6	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年8月2日
東芝インフラシステムズ 株式会社 中部支社	名古屋市中村区名駅一丁目1番3号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	平成30年10月1日
長谷川体育施設株式会社 三重営業所	城東町18番6号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年11月13日
株式会社藤正建設	大矢知町557番地7	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成30年11月13日
日本体育施設株式会社	東京都中野区東中野3-20-10	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成31年2月19日
四日市電機株式会社	蔵町8番13号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成31年3月14日
奥アンツーカ株式会社 近畿支店	大阪市長田東3丁目2番7号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	平成31年3月29日
朝日企業株式会社 名古屋支店	名古屋市中村区名駅南四丁目8番15号 ダイドー名駅南第2ビル	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	令和元年8月29日
四日市郵便局	四日市市沖の島町4番9号	水道管の漏水等の情報提供に関する覚書	令和元年9月30日
四日市西郵便局	四日市市智積町6227番地	水道管の漏水等の情報提供に関する覚書	令和元年9月30日
水道機工株式会社 名古屋支店	名古屋市中区栄二丁目4番12号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	令和3年2月18日
四日市市指定 上下水道工事業者協同組合	四日市市芝田一丁目2番9号	災害発生時における応急給水活動に関する協定書	令和3年3月8日
四日市市水道 サービスグループ マイタウンサービス株式会社	四日市市栄町8番9号203号	見守り活動等に関する協定書締結に伴う覚書	令和4年1月17日
株式会社 日立プラントサービス	名古屋市中区栄三丁目17番15号	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	令和4年3月18日
中日本陸運株式会社	四日市市末広町１８番地３号	災害発生時における物資の輸送等及び応急給水活動の支援に関する協定書	令和4年3月23日
クボタ環境エンジニアリング株式会社　中部支店	名古屋市中村区名駅三丁目22番8号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	令和4年6月1日
株式会社クボタ　中部支社	名古屋市中村区名駅三丁目22番8号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	令和4年6月21日
株式会社正興電機製作所名古屋営業所	愛知県名古屋市中区栄4丁目3番26号	災害発生時における調査、災害応急復旧工事及び資機材等調達に関する協定書	令和4年7月25日
株式会社正興電機製作所 四日市営業所	四日市市安島１丁目７番１２号向陽ビル	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	令和6年4月16日
株式会社アイエス設備工業	四日市市北浜町１５番９－３	災害発生時における調査及び災害応急復旧工事に関する協定書	令和7年12月12日

四日市市上水道施設概要図
（配水エリア図）

位置図



凡例	
行政区域	
上水道給水区域	
既許可（現況）施設	
800 mm 配水本管	
600 mm 〃	
500 mm 〃	
450 mm 〃	
400 mm 〃	
350 mm 〃	
300 mm 〃	
250 mm 配水支管	
200 mm 〃	
150 mm 〃	
100 mm 〃	
導水管	
送水管	
北中勢水道用水	
減圧弁	一次 二次
市街化区域	

配水池施設			
名称	有効容量	LWL	HWL
朝明配水池	17,900㎥	55.50m	61.00m
生桑配水池	18,015㎥	53.45m	60.00m
あがた配水池	18,000㎥	72.00m	77.10m
山ノ手配水池	9,700㎥	55.00m	59.70m
楠配水池	4,500㎥	5.45m	11.45m
笹川団地配水池	1,000㎥	76.00m	82.00m
山村配水池	2,500㎥	80.00m	84.00m
あかつき台配水池	2,800㎥	79.50m	83.60m
みゆき配水池	1,440㎥	60.03m	68.03m
一生吹配水池	12,000㎥	108.00m	113.50m
桜台配水池	1,000㎥	122.00m	126.50m
高岡配水池	12,250㎥	152.00m	157.50m
水沢北谷配水池	10,000㎥	151.00m	157.50m
水沢谷町配水池	520㎥	205.40m	209.40m
水沢配水池	707㎥	282.90m	285.50m

耐震型緊急用貯水槽施設	
①	中央緑地
②	松原公園
③	中里緑地
④	羽津会館
⑤	三滝公園
⑥	河原田小学校
⑦	富田中学校
⑧	磯津公会所
⑨	四日市市民公園
⑩	天ヵ須賀公園
⑪	笹川団地配水池
⑫	楠中央緑地
⑬	新浜町一号公園

応急給水施設	
①	高岡配水池
②	一生吹配水池
③	朝明配水池
④	山ノ手配水池
⑤	あがた配水池
⑥	生桑配水池
⑦	水沢北谷配水池
⑧	楠配水池

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図10,000）」を使用し、調製したものである。（承認番号 三総合地第12号）
本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。

※境界付近は別途確認すること。

令和7年2月作成

四日市市下水道計画図

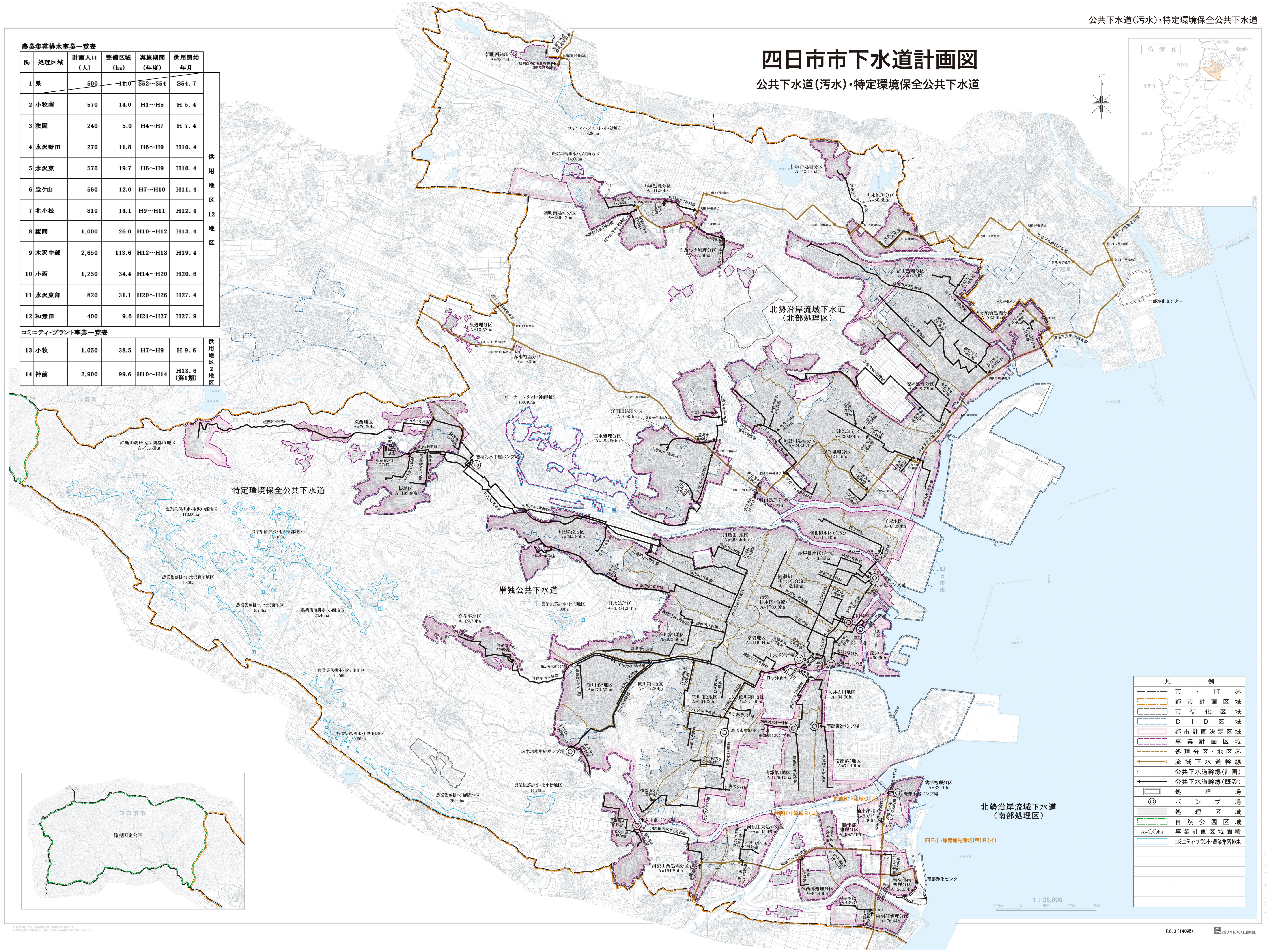
公共下水道（汚水）・特定環境保全公共下水道

農業集落排水事業一覧表

No.	処理区域	計画人口（人）	整備区域（ha）	実施期間（年度）	供用開始年月	
1	県	500	11.0	S52～S54	S54. 7	供用地区12地区
2	小牧南	570	14.0	H1～H5	H 5. 4	
3	狭間	240	5.0	H4～H7	H 7. 4	
4	水沢野田	270	11.8	H6～H9	H10. 4	
5	水沢東	570	19.7	H6～H9	H10. 4	
6	堂ケ山	560	12.0	H7～H10	H11. 4	
7	北小松	810	14.1	H9～H11	H12. 4	
8	鹿間	1,000	26.0	H10～H12	H13. 4	
9	水沢中部	2,650	113.6	H12～H18	H19. 4	
10	小西	1,250	34.4	H14～H20	H20. 6	
11	水沢東部	820	31.1	H20～H26	H27. 4	
12	和無田	400	9.6	H21～H27	H27. 9	

コミニティ・プラント事業一覧表

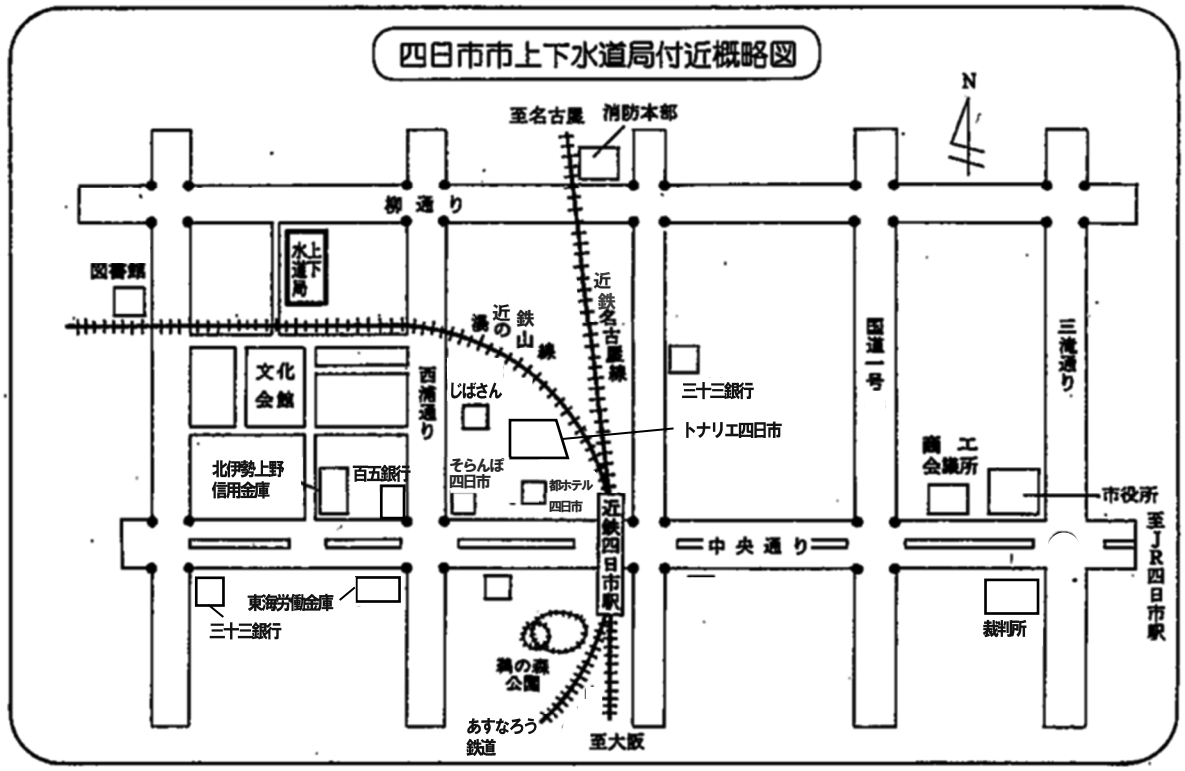
13	小牧	1,050	38.5	H7～H9	H 9. 6	供用地区2地区
14	神前	2,900	99.6	H10～H14	H13. 6（第1期）	



凡例

- 市・町界
- 都市計画区域
- 市街化区域
- DID区域
- 都市計画決定区域
- 事業計画区域
- 処理分区・地区界
- 流域下水道幹線
- 公共下水道幹線（計画）
- 公共下水道幹線（既設）
- 処理場
- ポンプ場
- 処理区域
- 自然公園区域
- A=○○ha 事業計画区域面積
- コミニティ・プラント・農業集落排水

【案　内　図】



四日市市の上下水道
（令和７年度事業概要）

発行日　令和８年 10 月

発　行　〒510-0076
三重県四日市市堀木一丁目３番１８号
四日市市上下水道局
電話：（０５９）３５４－８３５０
FAX ：（０５９）３５４－８２４９
https://www.city.yokkaichi.mie.jp/new_water/